

# 福生市障害者生活実態調査 報告書

令和5年3月

福 生 市



# 目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査基準日	1
4	調査期間	1
5	調査方法	1
6	回収状況	1
7	調査結果の表示方法	2
II	調査結果	3
1	障害者	3
(1)	回答者	3
(2)	回答者属性	4
(3)	日常生活について	14
(4)	健康・医療について	24
(5)	就労について	27
(6)	日頃の活動について	32
(7)	福祉サービスについて	37
(8)	情報の入手やコミュニケーションについて	49
(9)	災害時の対応について	55
2	障害児	63
(1)	回答者	63
(2)	回答者属性	64
(3)	発達障害について	71
(4)	日常生活について	77
(5)	健康・医療について	85
(6)	日頃の活動について	92
(7)	福祉サービスについて	98
(8)	情報の入手やコミュニケーションについて	115
(9)	災害時の対応について	119



# I 調査の概要

## 1 調査の目的

令和5年度に予定している「福生市障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画」を策定するにあたり、基礎資料として活用するため、実態調査を実施しました。

## 2 調査対象

対象者（在宅で生活し次に該当する市民の方）		対象者数
障害者	身体障害者手帳所持者	1,439
	愛の手帳所持者	304
	精神障害者保健福祉手帳所持者	572
	特殊疾病患者福祉手当受給者	429
障害児	身体障害者手帳所持者	28
	愛の手帳所持者	112
	精神障害者保健福祉手帳所持者	15
	特殊疾病患者福祉手当受給者	1

## 3 調査基準日

令和4年10月1日

## 4 調査期間

令和4年12月1日～令和4年12月20日

## 5 調査方法


郵送配付・郵送回収方式

## 6 回収状況

	配布数	有効回収数	有効回収率
障害者	2,499 通	1,311 通	52.5%
障害児	137 通	64 通	46.7%

※配布数は重複して手帳等を所持されている方もいるので、上記対象者数と一致いたしません。

## 7 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回収数の合計と単純集計（全体）の有効回収数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、特徴的なものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

## Ⅱ 調査結果

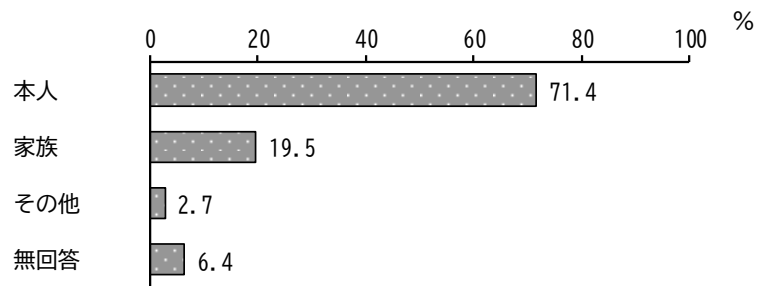
### 1 障害者

#### (1) 回答者

問1 この調査票はどなたが記入されますか。[1つに○]

「本人」の割合が71.4%、「家族」の割合が19.5%となっています。

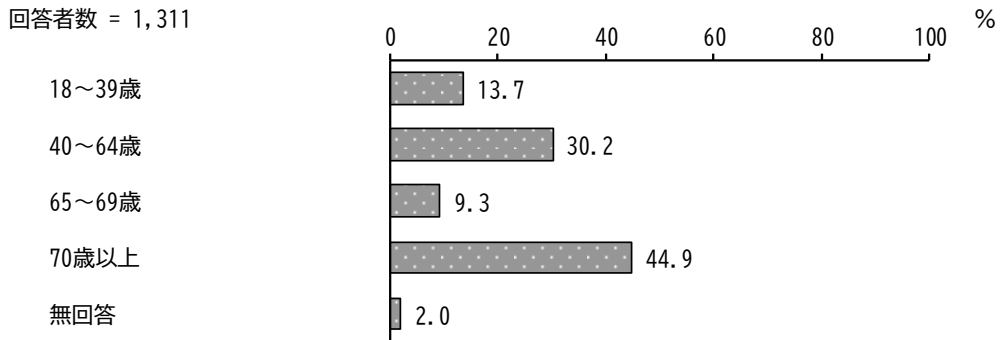
回答者数 = 1,311



## (2) 回答者属性

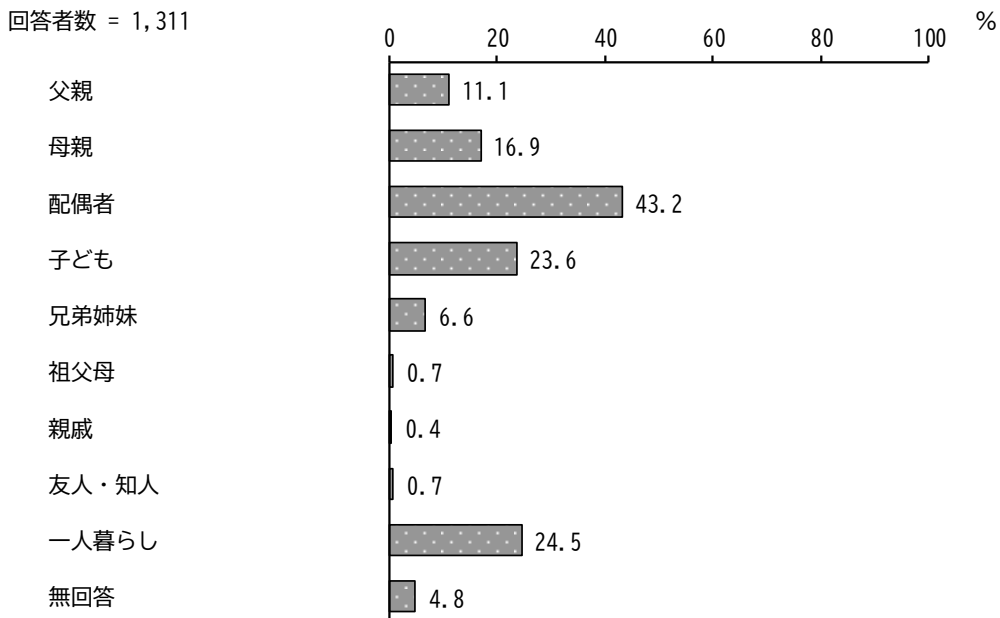
### 問2 年齢は次のうちどれですか。[1つに○]

「70歳以上」の割合が44.9%と最も多く、次いで「40～64歳」の割合が30.2%、「18～39歳」の割合が13.7%となっています。



### 問3 同居されている方はどなたですか。[いくつでも○]

「配偶者」の割合が43.2%と最も多く、次いで「一人暮らし」の割合が24.5%、「子ども」の割合が23.6%となっています。

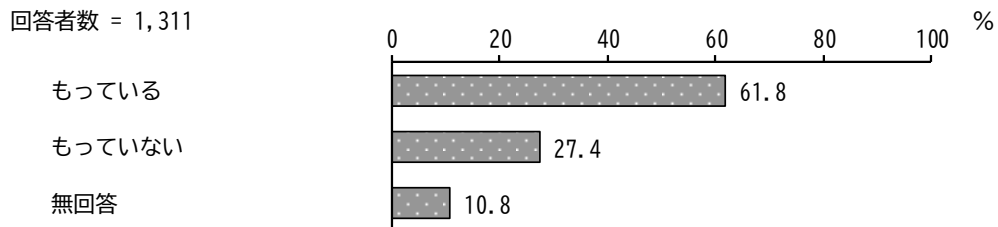




問4 次の手帳又は医療券をお持ちですか。

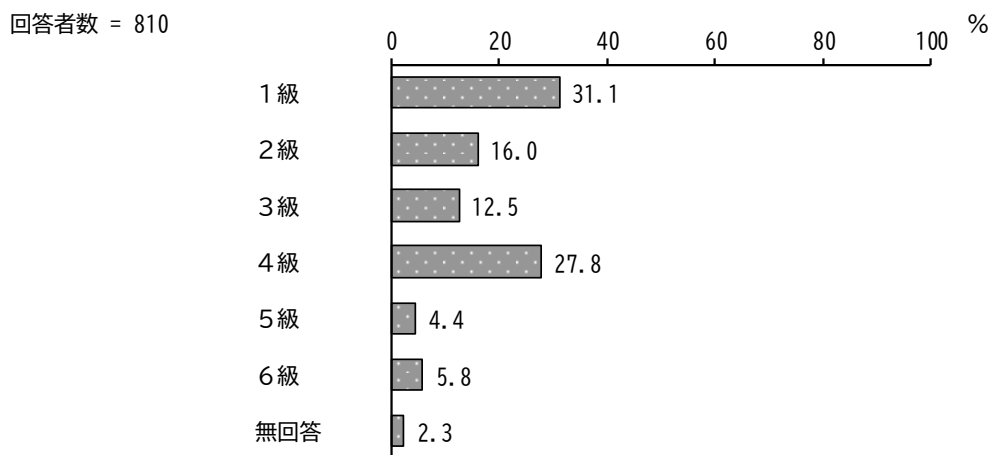
(1) 身体障害者手帳[1つに○]

「もっている」の割合が61.8%、「もっていない」の割合が27.4%となっています。



等級

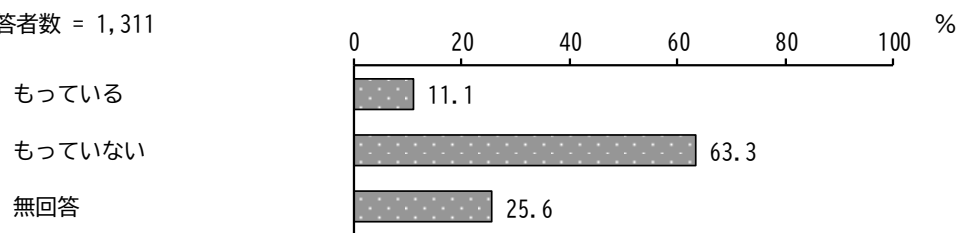
「1級」の割合が31.1%と最も多く、次いで「4級」の割合が27.8%、「2級」の割合が16.0%となっています。



(2) 愛の手帳[1つに○]

「もっている」の割合が11.1%、「もっていない」の割合が63.3%となっています。

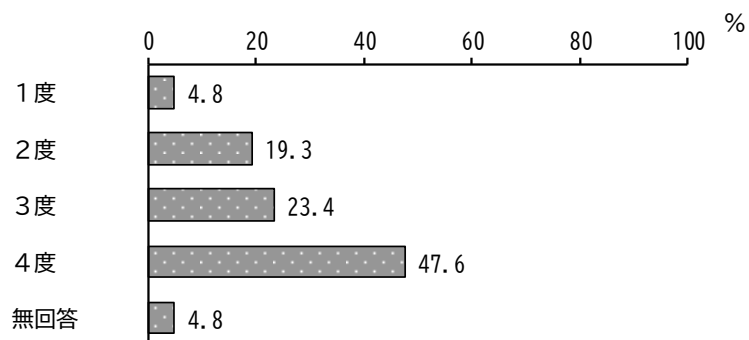
回答者数 = 1,311



等級

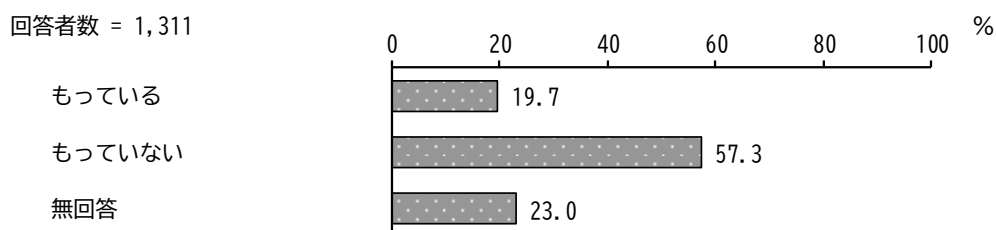
「4度」の割合が47.6%と最も多く、次いで「3度」の割合が23.4%、「2度」の割合が19.3%となっています。

回答者数 = 145



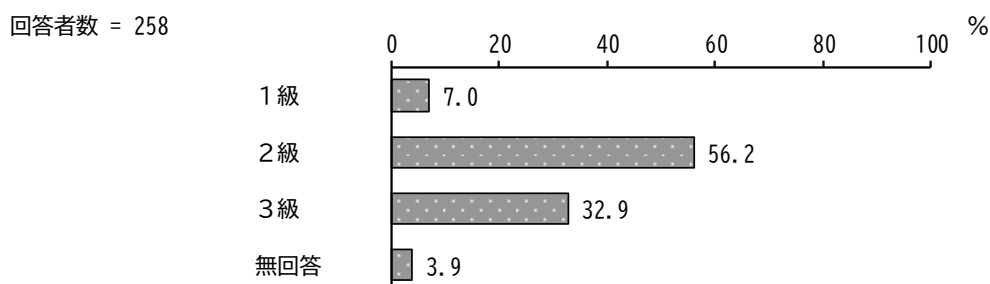
(3)精神障害者保健福祉手帳[1つに○]

「もっている」の割合が19.7%、「もっていない」の割合が57.3%となっています。



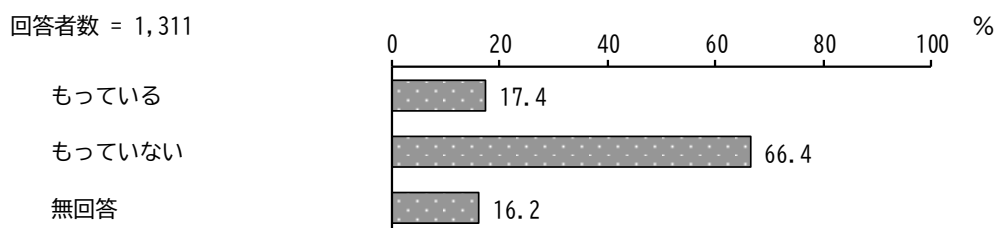
等級

「2級」の割合が56.2%と最も多く、次いで「3級」の割合が32.9%となっています。



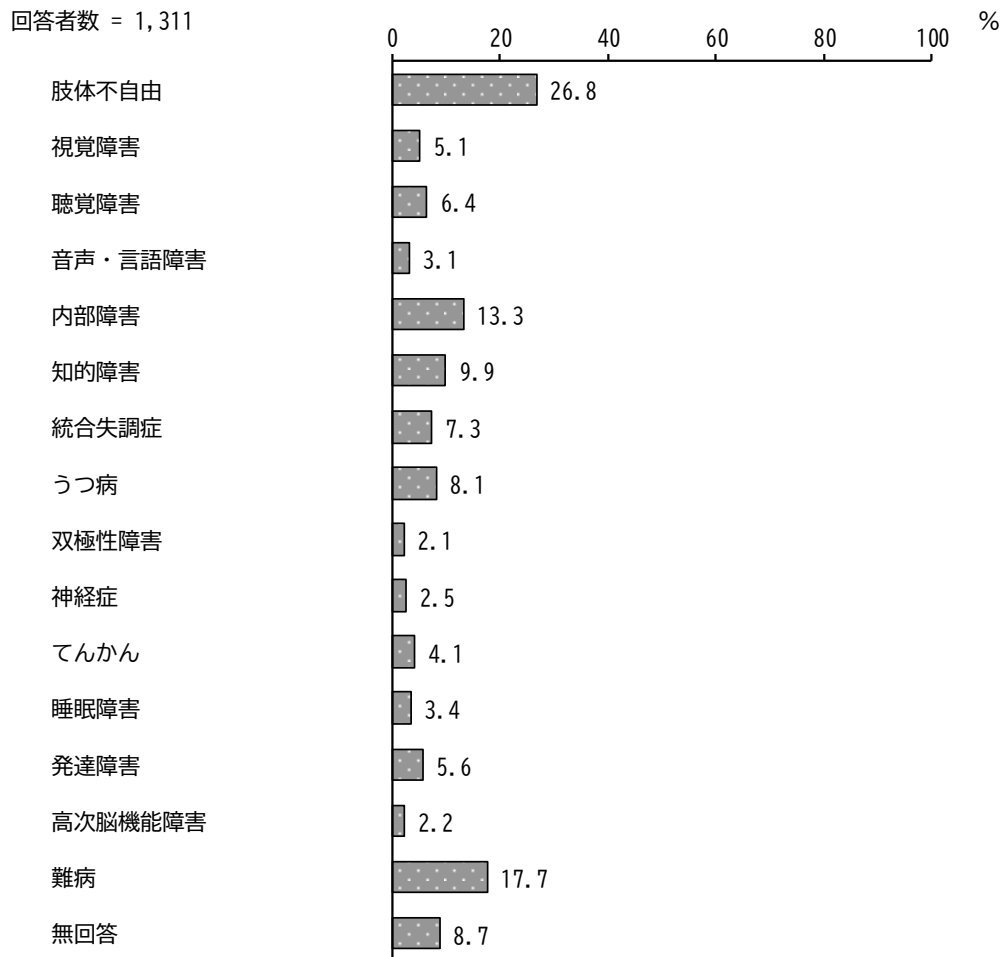
(4)難病及び人工透析にかかる医療券をお持ちですか。[1つに○]

「もっている」の割合が17.4%、「もっていない」の割合が66.4%となっています。



問5 障害の種類又は病名についておたずねします。[いくつでも○]

「肢体不自由」の割合が26.8%と最も多く、次いで「難病」の割合が17.7%、「内部障害」の割合が13.3%となっています。



【障害種別】

障害の種類については、身体障害者は「肢体不自由」(42.3%)、精神障害者は「うつ病」(37.2%)が最も多くなっています。

単位：%

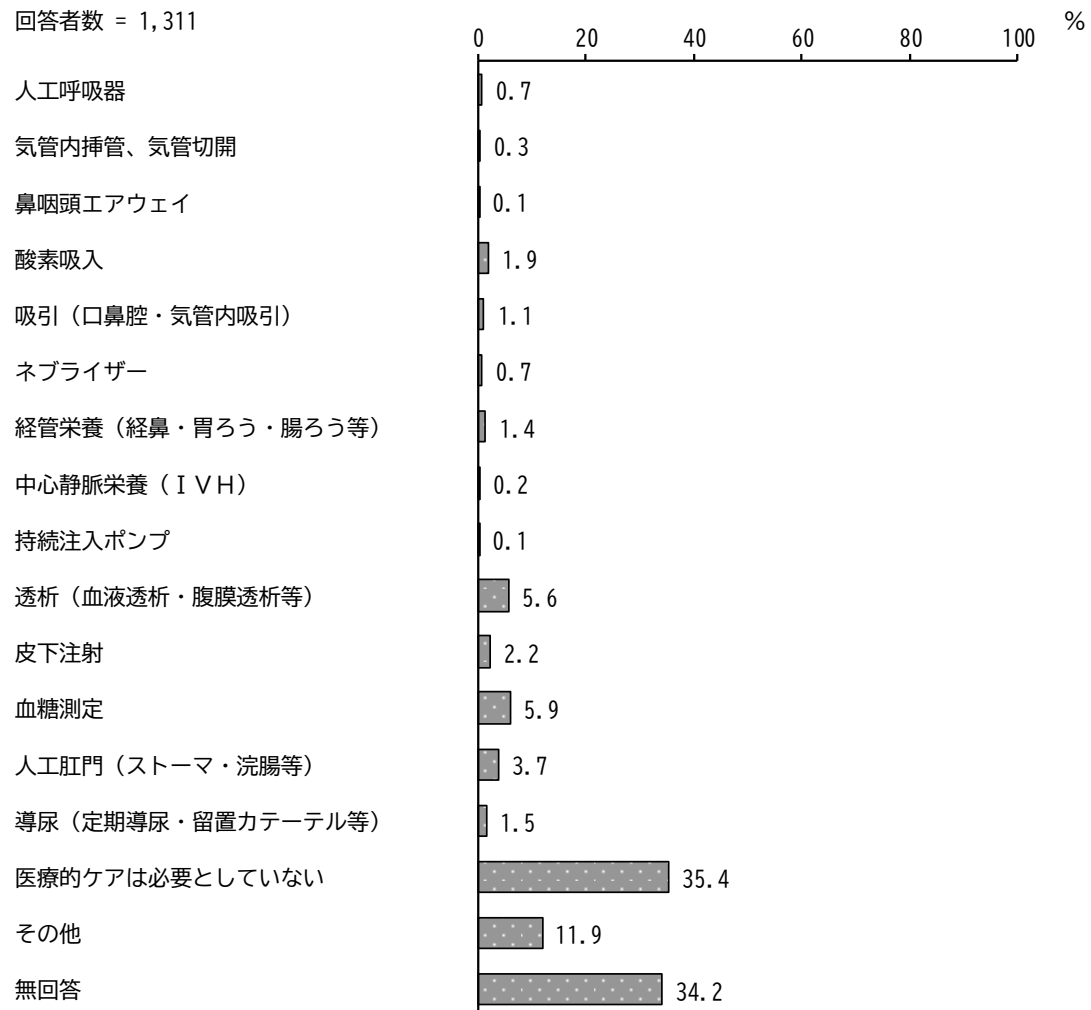
区分	回答者数(人)	肢体不自由	視覚障害	聴覚障害	音声・言語障害	内部障害	知的障害	統合失調症	うつ病
全体	1,311	26.8	5.1	6.4	3.1	13.3	9.9	7.3	8.1
身体障害者	810	42.3	7.7	10.1	4.0	21.1	3.3	1.4	2.5
知的障害者	145	10.3	1.4	1.4	3.4	1.4	83.4	1.4	5.5
精神障害者	258	2.3	1.9	1.2	1.6	1.9	5.4	33.3	37.2
難病患者	228	9.6	5.7	2.6	0.9	14.9	2.2	0.9	0.4

区分	双極性障害	神経症	てんかん	睡眠障害	発達障害	高次脳機能障害	難病	無回答
全体	2.1	2.5	4.1	3.4	5.6	2.2	17.7	8.7
身体障害者	0.1	1.5	2.7	1.9	1.2	2.6	12.2	9.5
知的障害者	1.4	0.7	17.9	2.8	21.4	—	4.1	3.4
精神障害者	9.7	8.1	8.9	11.2	17.4	3.5	3.1	3.9
難病患者	—	1.3	—	0.4	0.4	1.3	69.3	6.6

問6 あなたは、次のような医療的ケアを必要としていますか。[いくつでも○]

「医療的ケアは必要としていない」の割合が35.4%と最も多くなっています。

回答者数 = 1,311



【障害種別】

医療的ケアの必要性については、身体障害者、知的障害者、精神障害者は「医療的ケアは必要としていない」（順に 28.0%、50.3%、46.9%）、難病患者は「透析（血液透析・腹膜透析等）」（29.4）が最も多くなっています。

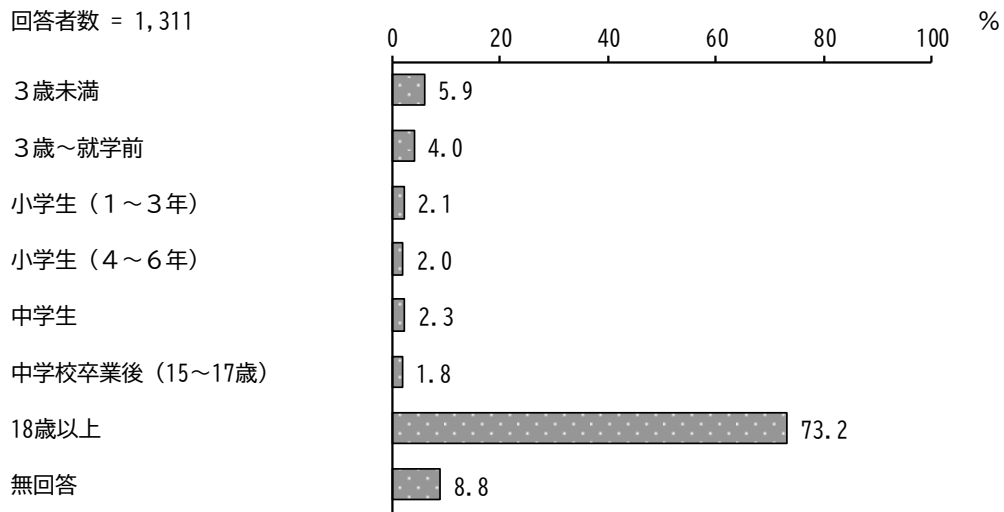
単位：%

区分	回答者数（人）	人工呼吸器	気管内挿管、気管切開	鼻咽頭エアウェイ	酸素吸入	吸引（口鼻腔・気管内吸引）	ネプライザー	経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう等）	H）中心静脈栄養（I V）
全体	1,311	0.7	0.3	0.1	1.9	1.1	0.7	1.4	0.2
身体障害者	810	1.0	0.4	0.1	2.7	1.1	0.7	1.4	0.2
知的障害者	145	0.7	—	—	0.7	—	—	0.7	—
精神障害者	258	0.4	—	—	—	0.8	1.6	0.4	—
難病患者	228	0.9	0.9	—	2.2	3.1	0.9	3.1	0.9

区分	持続注入ポンプ	透析（血液透析・腹膜透析等）	皮下注射	血糖測定	人工肛門（ストーマ・洗腸等）	導尿（定期導尿・留置カテーテル等）	医療的ケアは必要としていない	その他	無回答
全体	0.1	5.6	2.2	5.9	3.7	1.5	35.4	11.9	34.2
身体障害者	—	9.0	2.2	6.3	5.9	2.1	28.0	13.2	34.0
知的障害者	—	2.1	1.4	2.8	0.7	0.7	50.3	9.0	34.5
精神障害者	—	0.8	0.8	6.6	—	—	46.9	11.2	33.7
難病患者	0.4	29.4	4.4	7.9	4.4	0.9	28.1	11.4	18.4

問7 最初に診断を受けたのは何歳の頃ですか。[1つに○]

「18歳以上」の割合が73.2%と最も多くなっています。





【障害の種類又は病名別】

最初に診断を受けた年齢については、知的障害を除き、「18歳以上」が最も多くなっています。

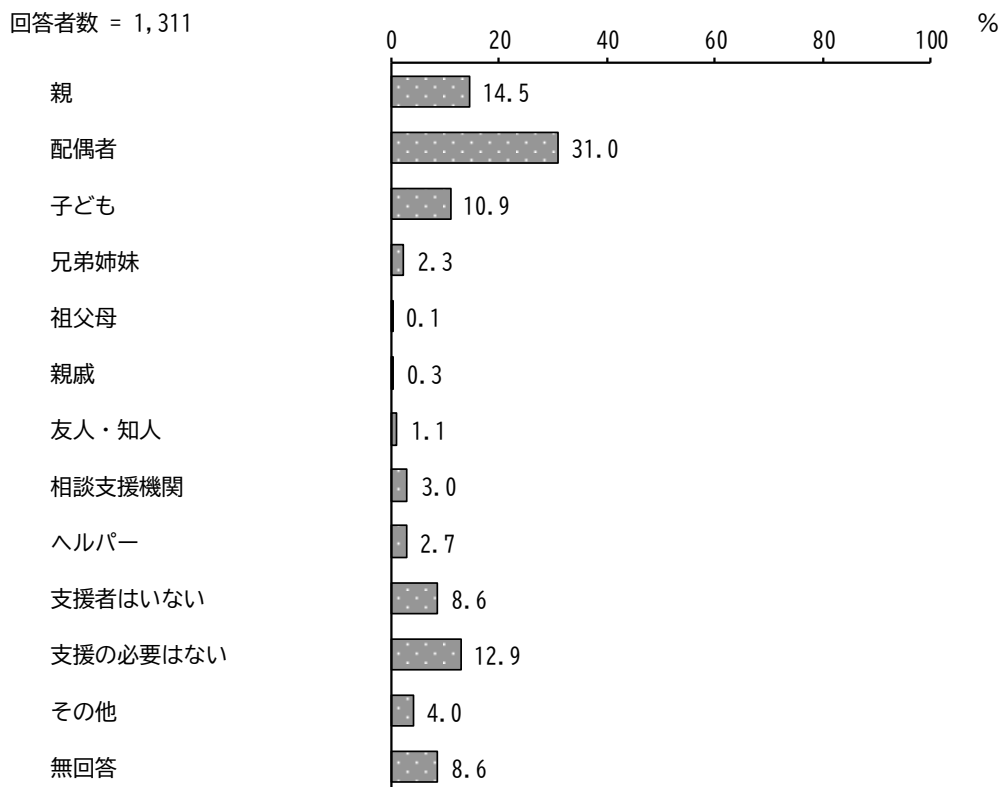
単位：％

区分	回答者数 (人)	3歳未満	3歳～就学前	小学生 (1～3年)	小学生 (4～6年)	中学生	17歳) 中学校卒業後 (15～	18歳以上	無回答
全体	1,311	5.9	4.0	2.1	2.0	2.3	1.8	73.2	8.8
肢体不自由	352	9.9	1.7	1.7	2.0	2.0	1.4	74.7	6.5
視覚障害	67	6.0	1.5	4.5	3.0	1.5	—	79.1	4.5
聴覚障害	84	14.3	2.4	4.8	4.8	1.2	1.2	59.5	11.9
音声・言語障害	40	7.5	2.5	—	—	—	—	80.0	10.0
内部障害	175	3.4	0.6	1.7	—	—	0.6	88.6	5.1
知的障害	130	21.5	26.2	6.9	4.6	7.7	5.4	18.5	9.2
統合失調症	96	2.1	1.0	2.1	1.0	7.3	1.0	85.4	—
うつ病	106	0.9	0.9	1.9	2.8	3.8	5.7	80.2	3.8
双極性障害	27	—	3.7	3.7	—	—	—	92.6	—
神経症	33	3.0	—	—	6.1	—	6.1	84.8	—
てんかん	54	22.2	16.7	5.6	13.0	3.7	—	33.3	5.6
睡眠障害	44	4.5	—	2.3	6.8	4.5	2.3	75.0	4.5
発達障害	73	12.3	16.4	2.7	9.6	6.8	4.1	45.2	2.7
高次脳機能障害	29	—	—	—	3.4	—	—	89.7	6.9
難病	232	1.7	0.9	0.9	0.4	0.4	0.4	89.7	5.6

### (3) 日常生活について

#### 問8 主な支援者は誰ですか。[1つに〇]

「配偶者」の割合が31.0%と最も多く、次いで「親」の割合が14.5%、「支援の必要はない」の割合が12.9%となっています。



#### 【障害種別】

主な支援者については、身体障害者、難病患者は「配偶者」（順に35.3%、39.5%）、知的障害者、精神障害者は「親」（順に50.3%、29.8%）が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (人)	親	配偶者	子ども	兄弟姉妹	祖父母	親戚	友人・知人	相談支援機関	ヘルパー	支援者はいない	支援の必要はない	その他	無回答
全体	1,311	14.5	31.0	10.9	2.3	0.1	0.3	1.1	3.0	2.7	8.6	12.9	4.0	8.6
身体障害者	810	5.7	35.3	14.6	2.3	0.1	0.4	1.1	1.2	2.5	10.0	15.2	3.0	8.6
知的障害者	145	50.3	6.2	1.4	3.4	—	—	0.7	4.8	5.5	0.7	—	13.8	13.1
精神障害者	258	29.8	22.1	3.5	2.7	—	0.4	1.6	8.9	3.5	10.1	3.9	4.3	9.3
難病患者	228	6.1	39.5	11.8	1.8	—	—	0.4	0.4	3.5	7.9	16.7	2.2	9.6

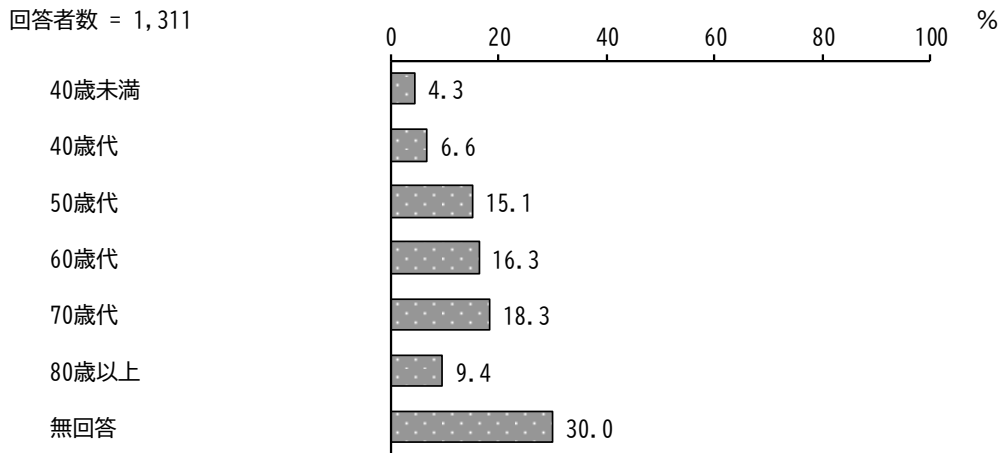
【障害の種類又は病名別】

単位：％

区分	回答者数(人)	親	配偶者	子ども	兄弟姉妹	祖父母	親戚	友人・知人	相談支援機関	ヘルパー	支援者はいない	支援の必要はない	その他	無回答
全体	1,311	14.5	31.0	10.9	2.3	0.1	0.3	1.1	3.0	2.7	8.6	12.9	4.0	8.6
肢体不自由	352	6.5	35.2	12.8	3.1	—	0.3	0.9	0.9	2.0	9.1	15.6	2.8	10.8
視覚障害	67	7.5	43.3	13.4	1.5	—	—	—	1.5	9.0	9.0	7.5	3.0	4.5
聴覚障害	84	4.8	25.0	22.6	2.4	—	1.2	1.2	1.2	3.6	13.1	14.3	1.2	9.5
音声・言語障害	40	2.5	52.5	10.0	2.5	—	—	2.5	—	—	7.5	2.5	5.0	15.0
内部障害	175	2.3	42.3	14.3	1.1	—	0.6	1.7	0.6	—	10.3	17.7	2.3	6.9
知的障害	130	51.5	3.1	2.3	3.1	—	—	0.8	5.4	5.4	1.5	1.5	13.8	11.5
統合失調症	96	39.6	12.5	2.1	5.2	—	1.0	3.1	10.4	4.2	8.3	1.0	4.2	8.3
うつ病	106	30.2	17.9	4.7	0.9	—	—	2.8	6.6	4.7	13.2	1.9	3.8	13.2
双極性障害	27	22.2	33.3	—	3.7	—	—	3.7	7.4	—	11.1	—	3.7	14.8
神経症	33	15.2	30.3	6.1	—	—	—	—	9.1	—	24.2	3.0	—	12.1
てんかん	54	46.3	16.7	1.9	—	—	—	1.9	1.9	5.6	1.9	7.4	5.6	11.1
睡眠障害	44	25.0	22.7	11.4	—	—	—	—	4.5	4.5	15.9	2.3	2.3	11.4
発達障害	73	52.1	6.8	1.4	—	—	—	—	12.3	4.1	4.1	5.5	2.7	11.0
高次脳機能障害	29	10.3	44.8	13.8	—	—	—	—	6.9	—	3.4	6.9	—	13.8
難病	232	7.3	38.4	11.6	0.9	0.4	—	—	0.4	3.9	8.2	19.0	3.9	6.0

問9 支援者がいる場合、主な支援者の年齢はどれですか。[1つに○]

「70歳代」の割合が18.3%と最も多く、次いで「60歳代」の割合が16.3%、「50歳代」の割合が15.1%となっています。



【障害種別】

主な支援者の年齢については、身体障害者、難病患者は「70歳台」（順に20.4%、20.2%）、知的障害者、精神障害者は「50歳代」（順に23.4%、19.4%）が多くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (人)	40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
全体	1,311	4.3	6.6	15.1	16.3	18.3	9.4	30.0
身体障害者	810	3.2	5.2	12.3	14.9	20.4	10.0	34.0
知的障害者	145	7.6	13.8	23.4	22.8	11.0	6.2	15.2
精神障害者	258	8.9	8.5	19.4	15.1	15.9	8.1	24.0
難病患者	228	1.3	5.3	15.4	17.1	20.2	8.8	32.0

【年齢別】

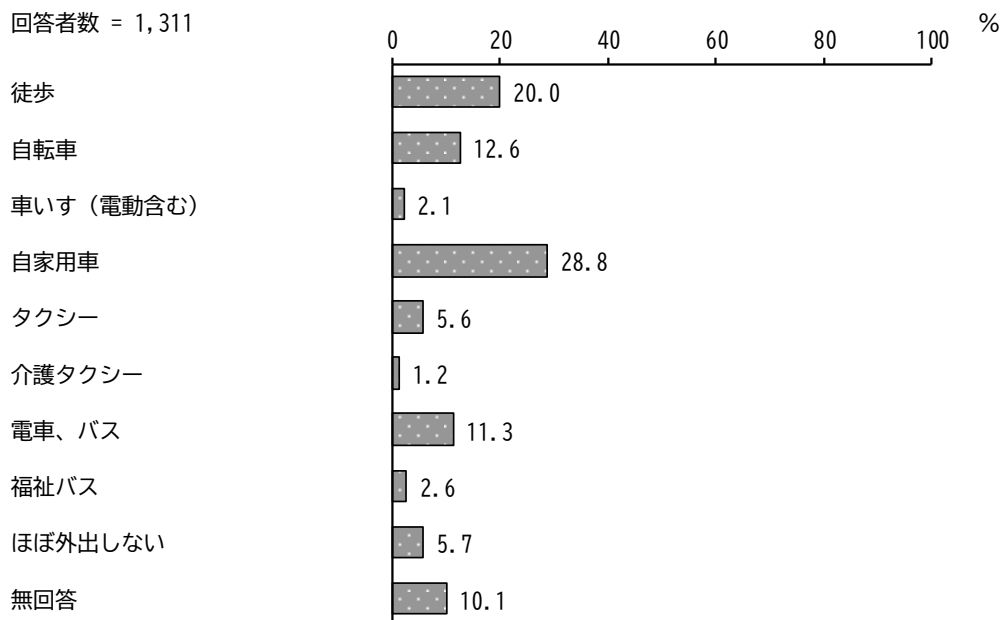
主な支援者の年齢について、障害者年齢別にみると、18～39歳、65～69歳は「60歳代」（順に、30.2%、36.1%）、40～64歳は「50歳代」（16.4%）、70歳以上で「70歳代」（27.4%）が最も多くなっています。

単位：%

障害者年齢 \ 支援者年齢	回答者数（人）	40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
全体	1,311	4.3	6.6	15.1	16.3	18.3	9.4	30.0
18～39歳	179	11.2	8.4	23.5	30.2	7.8	—	19.0
40～64歳	396	5.8	10.6	16.4	10.4	11.6	9.8	35.4
65～69歳	122	3.3	2.5	11.5	36.1	12.3	0.8	33.6
70歳以上	588	1.4	4.3	12.4	11.6	27.4	13.8	29.3

問 10 外出する際の最も多い手段は何ですか。[1つに○]

「自家用車」の割合が 28.8%と最も多く、次いで「徒歩」の割合が 20.0%、「自転車」の割合が 12.6%となっています。



【障害種別】

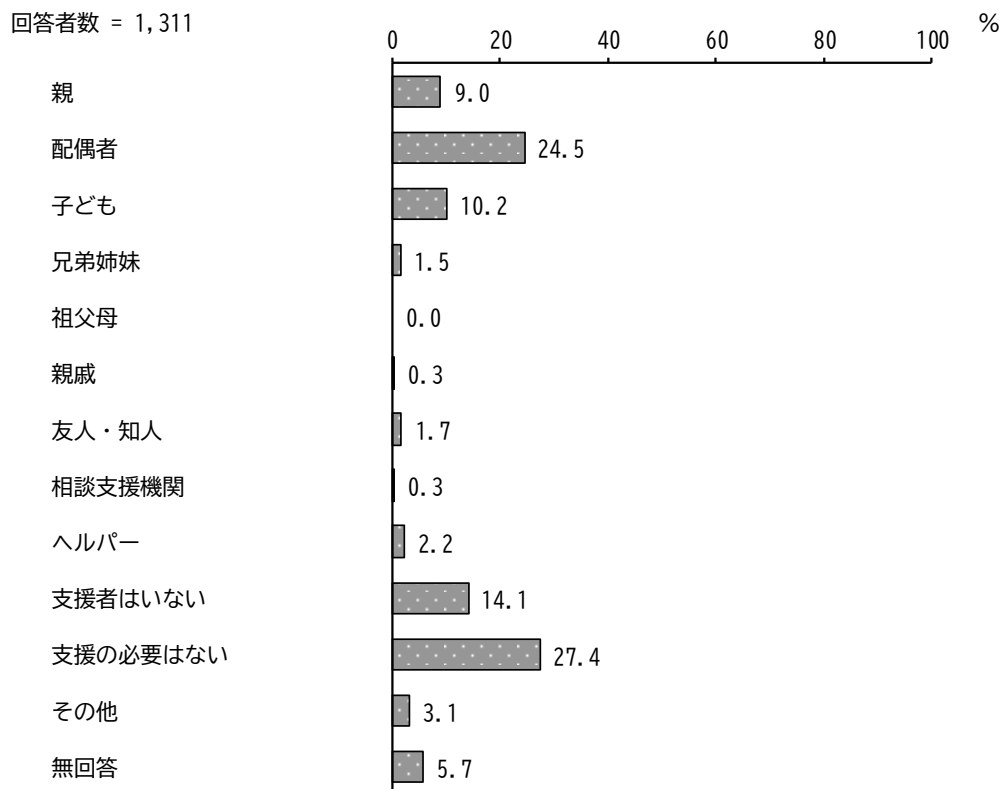
外出の手段については、身体障害者、難病患者は「自家用車」(順に 33.6%、36.4%) 知的障害者、精神障害者は「徒歩」(順に 23.4%、26.7%) が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (人)	徒歩	自転車	車いす (電動含む)	自家用車	タクシー	介護タクシー	電車、バス	福祉バス	ほぼ外出しない	無回答
全体	1,311	20.0	12.6	2.1	28.8	5.6	1.2	11.3	2.6	5.7	10.1
身体障害者	810	17.0	9.6	2.7	33.6	7.7	1.4	8.1	2.7	6.4	10.7
知的障害者	145	23.4	14.5	1.4	21.4	1.4	1.4	22.1	2.8	—	11.7
精神障害者	258	26.7	21.7	0.8	14.3	1.6	0.8	15.1	2.3	6.6	10.1
難病患者	228	17.1	7.5	2.6	36.4	7.0	1.3	8.3	1.3	7.0	11.4

問 11 外出するときの主な支援者は誰ですか。[1つに○]

「支援の必要はない」の割合が27.4%と最も多く、次いで「配偶者」の割合が24.5%、「支援者はいない」の割合が14.1%となっています。



【障害種別】

外出するときの主な支援者については、身体障害者、難病患者は「配偶者」(順に28.0%、29.8%)、知的障害者は「親」(40.0%)、精神障害者は「支援の必要はない」(28.7%)が最も多くなっています。

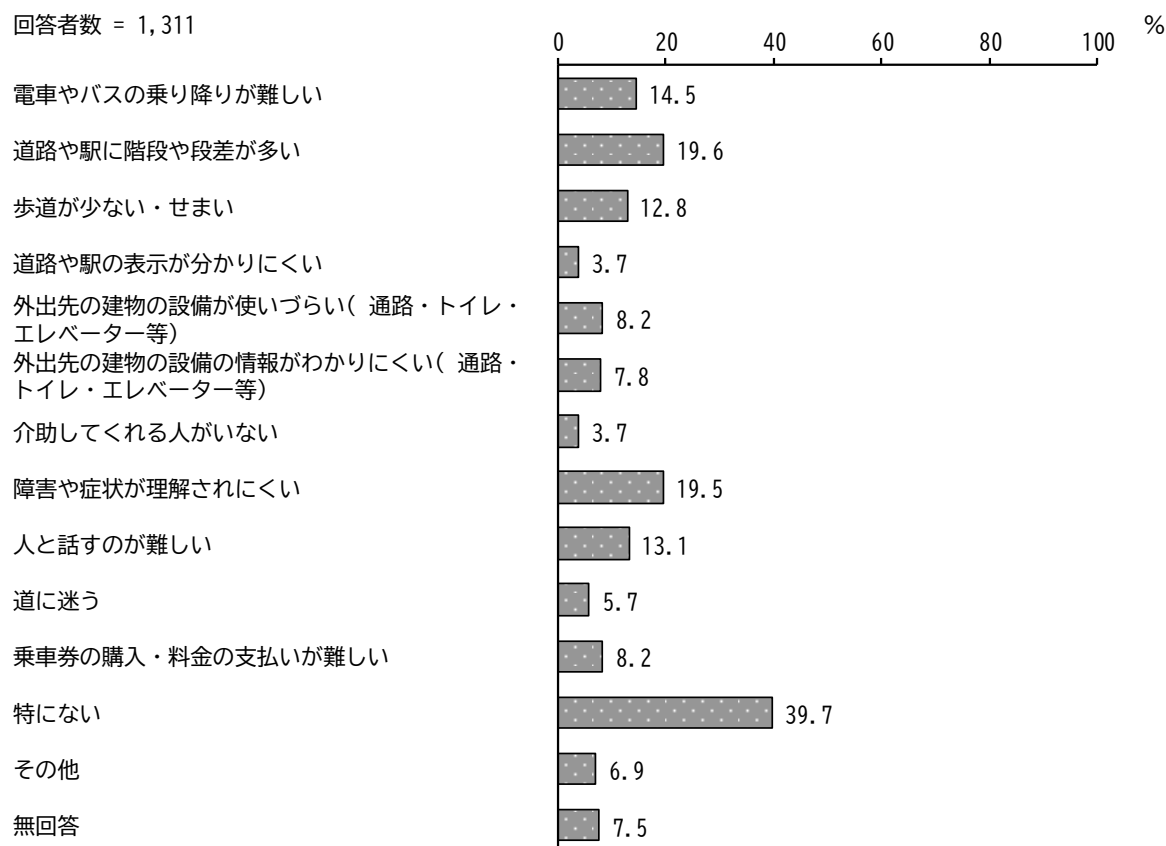
単位：%

区分	回答者数(人)	親	配偶者	子ども	兄弟姉妹	祖父母	親戚	友人・知人	相談支援機関	ヘルパー	支援者はいない	支援の必要はない	その他	無回答
全体	1,311	9.0	24.5	10.2	1.5	—	0.3	1.7	0.3	2.2	14.1	27.4	3.1	5.7
身体障害者	810	4.3	28.0	13.5	1.4	—	0.5	1.7	0.1	2.3	13.0	25.8	2.8	6.5
知的障害者	145	40.0	5.5	1.4	2.8	—	—	0.7	1.4	6.2	4.1	23.4	8.3	6.2
精神障害者	258	15.9	18.6	1.6	1.9	—	—	3.5	0.4	0.8	22.1	28.7	2.3	4.3
難病患者	228	3.1	29.8	10.1	1.8	—	—	0.9	—	2.6	10.1	28.9	2.2	10.5

問 12 外出のときに、困ることはありますか(特に市内で) 。[いくつでも○]

「特にない」の割合が 39.7%と最も多く、次いで「道路や駅に階段や段差が多い」の割合が 19.6%、「障害や症状が理解されにくい」の割合が 19.5%となっています。

回答者数 = 1,311





【障害種別】

外出のときに困ることについては、身体障害者、精神障害者、難病患者は「特にない」（順に38.8%、36.0%、40.8%）、知的障害者は「障害や症状が理解されにくい」（40.0%）が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数（人）	電車やバスの乗り降りが難しい	道路や駅に階段や段差が多い	歩道が少ない・せま	道路や駅の表示が分かりにくい	トイレ・エレベーター等）	外出先の建物の設備の情報がわかりにくい（通路・トイレ・エレベーター等）	外出先の建物の設備の情報がわかりにくい（通路・トイレ・エレベーター等）	介助してくれる人がいない
全体	1,311	14.5	19.6	12.8	3.7	8.2	7.8	3.7	
身体障害者	810	17.8	25.1	14.7	3.5	10.0	9.1	4.1	
知的障害者	145	15.9	11.7	10.3	9.0	5.5	11.0	3.4	
精神障害者	258	9.7	10.5	12.0	3.5	6.6	5.4	4.3	
難病患者	228	11.4	21.1	9.2	2.2	6.1	5.7	2.2	

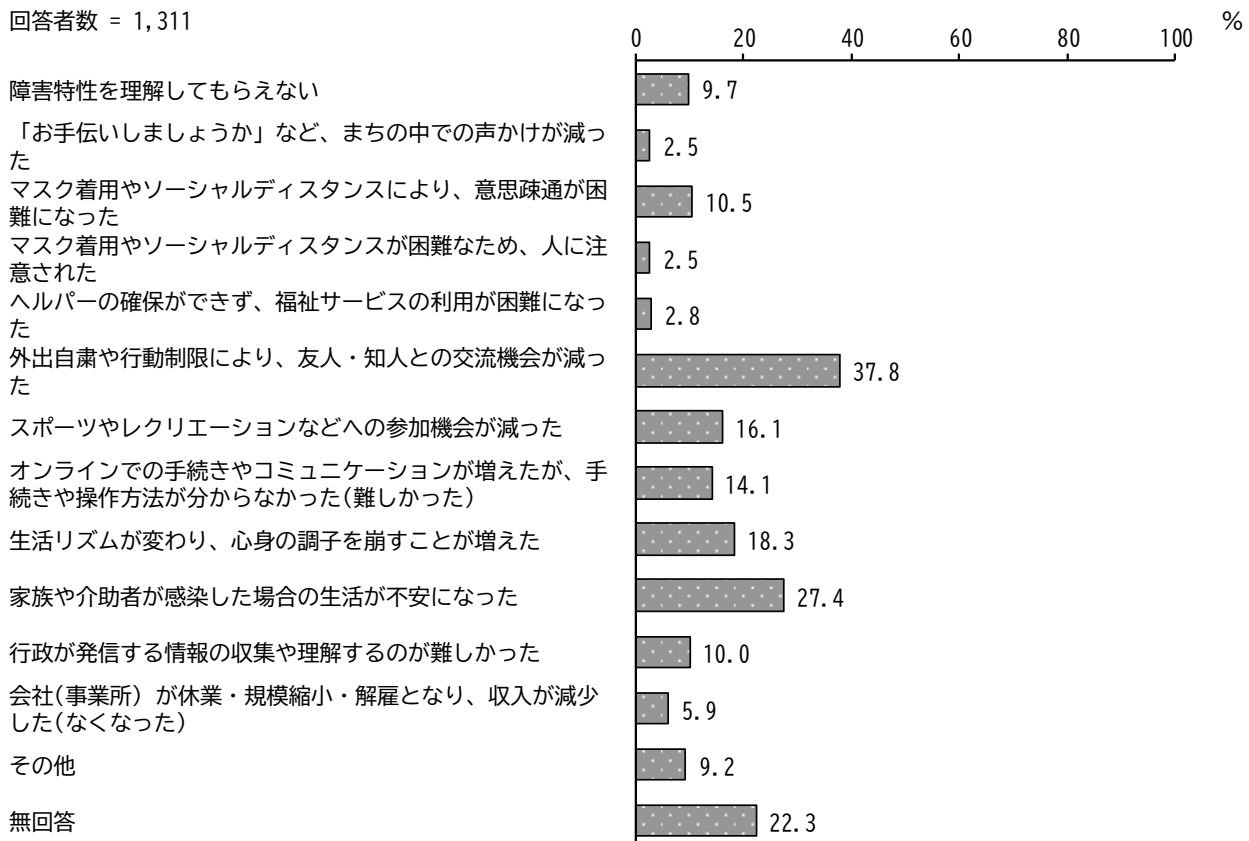
区分	障害や症状が理解されにくい	人と話すのが難しい	道に迷う	乗車券の購入・料金の支払いが難しい	特にない	その他	無回答
全体	19.5	13.1	5.7	8.2	39.7	6.9	7.5
身体障害者	15.1	8.9	3.2	7.4	38.8	7.3	7.8
知的障害者	40.0	30.3	15.9	20.0	30.3	4.8	6.2
精神障害者	34.5	24.8	13.6	8.5	36.0	9.7	5.4
難病患者	13.6	5.7	3.1	6.1	40.8	9.6	7.9

問 13 新型コロナウイルス感染症の影響で、日常生活で困ったことは何ですか。

[いくつでも○]

「外出自粛や行動制限により、友人・知人との交流機会が減った」の割合が 37.8%と最も多く、次いで「家族や介護者が感染した場合の生活が不安になった」の割合が 27.4%、「生活リズムが変わり、心身の調子を崩すことが増えた」の割合が 18.3%となっています。

回答者数 = 1,311



【障害種別】

新型コロナウイルス感染症の影響については、身体障害者、精神障害者、難病患者は「外出自粛や行動制限により、友人・知人との交流機会が減った」（順に40.9%、34.1%、37.7%）、知的障害者は「家族や介助者が感染した場合の生活が不安になった」（34.5%）が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数（人）	障害特性を理解してもらえない	「お手伝いしましょうか」など、まちの中での声かけが減った	マスク着用やソーシャルディスタンスにより、意思疎通が困難になった	マスク着用やソーシャルディスタンスが困難なため、人に注意された	ヘルパーの確保ができず、福祉サービスの利用が困難になった	外出自粛や行動制限により、友人・知人との交流機会が減った	スポーツやレクリエーションなどへの参加機会が減った
全体	1,311	9.7	2.5	10.5	2.5	2.8	37.8	16.1
身体障害者	810	7.9	2.7	11.4	1.9	2.7	40.9	18.4
知的障害者	145	20.7	4.8	11.0	6.2	11.0	33.1	23.4
精神障害者	258	16.7	1.6	11.6	4.7	2.3	34.1	11.2
難病患者	228	7.5	2.2	9.2	1.8	1.3	37.7	16.7

区分	オンラインでの手続きやコミュニケーションが増えたが、手続きや操作方法が分からなかった（難しかった）	生活リズムが変わり、心身の調子を崩すことが増えた	家族や介助者が感染した場合の生活が不安になった	行政が発信する情報の収集や理解するのが難しかった	会社（事業所）が休業・規模縮小・解雇となり、収入が減少した（なくなった）	その他	無回答
全体	14.1	18.3	27.4	10.0	5.9	9.2	22.3
身体障害者	15.1	15.8	27.2	9.4	5.7	8.9	22.2
知的障害者	11.0	19.3	34.5	14.5	6.9	11.7	20.0
精神障害者	15.5	29.1	28.3	12.8	7.8	10.9	19.0
難病患者	12.3	16.2	29.8	7.0	6.1	8.8	21.1

## (4) 健康・医療について

問 14 あなたは、かかりつけ医はいますか。[1つに〇]

「かかりつけ医がいる」の割合が83.8%と最も多くなっています。

回答者数 = 1,311

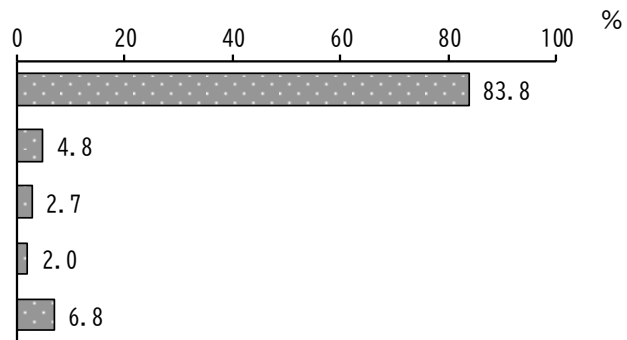
かかりつけ医がいる

かかりつけ医は不要

かかりつけ医を探しているが見つからない

その他

無回答



### 【障害種別】

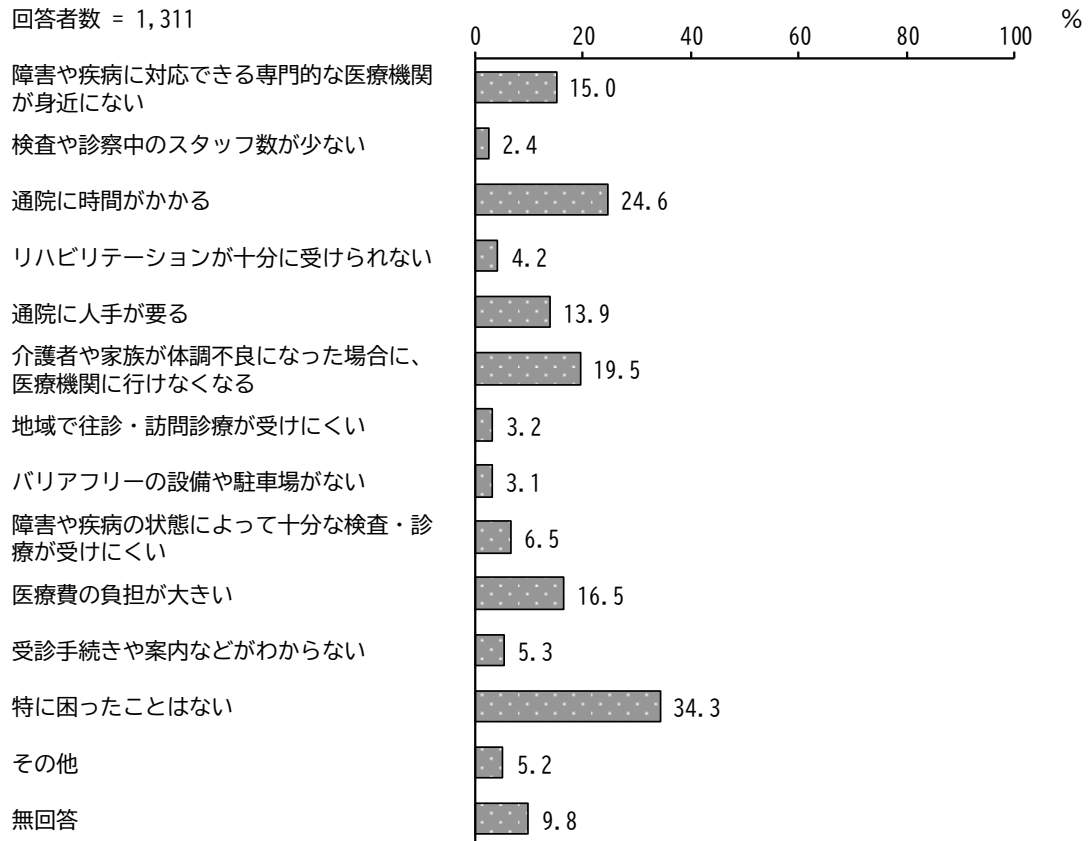
単位：%

区分	回答者数(人)	る か か り つ け 医 が い	要 か か り つ け 医 は 不	ら し て い る が 見 つ か な い	か か り つ け 医 を 探	そ の 他	無 回 答
全体	1,311	83.8	4.8	2.7	2.0	6.8	
身体障害者	810	84.4	4.3	2.0	1.9	7.4	
知的障害者	145	76.6	9.7	4.8	2.1	6.9	
精神障害者	258	85.7	4.3	3.9	1.9	4.3	
難病患者	228	89.5	—	1.8	3.5	5.3	

問 15 あなたは、健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。  
 [いくつでも○]

「特に困ったことはない」の割合が 34.3%と最も多く、次いで「通院に時間がかかる」の割合が 24.6%、「介護者や家族が体調不良になった場合に、医療機関に行けなくなる」の割合が 19.5%となっています。

回答者数 = 1,311



【障害種別】

健康管理や医療で困ったことについては、身体障害者、難病患者は「特に困ったことはない」（順に 35.8%、32.0%）、知的障害者は「介護者や家族が体調不良になった場合に、医療機関に行けなくなる」（30.3%）、精神障害者で「通院に時間がかかる」（38.4%）が最も多くなっています

単位：%

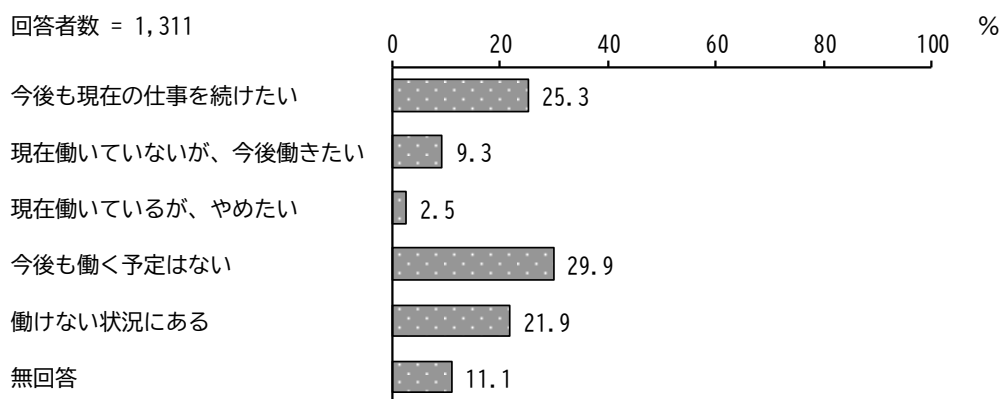
区分	回答者数（人）	障害や疾病に対応できる専門的な医療機関が身近にない	検査や診察中のスタッフ数が少ない	通院に時間がかかる	リハビリテーションが十分に受けられない	通院に人手が要る	介護者や家族が体調不良になった場合に、医療機関に行けなくなる	地域で往診・訪問診療が受けにくい
全体	1,311	15.0	2.4	24.6	4.2	13.9	19.5	3.2
身体障害者	810	13.3	1.6	18.8	4.8	14.6	20.7	2.8
知的障害者	145	17.2	4.8	27.6	2.8	26.9	30.3	3.4
精神障害者	258	18.2	5.0	38.4	3.1	8.5	16.3	5.0
難病患者	228	18.9	0.9	25.9	4.4	14.5	21.5	2.6

区分	バリアフリーの設備や駐車場がない	障害や疾病の状態によって十分な検査・診療が受けにくい	医療費の負担が大きい	受診手続きや案内などがわからない	特に困ったことはない	その他	無回答
全体	3.1	6.5	16.5	5.3	34.3	5.2	9.8
身体障害者	4.0	6.2	15.7	4.1	35.8	5.1	10.7
知的障害者	2.1	15.9	11.7	16.6	29.0	3.4	9.0
精神障害者	1.9	7.4	17.8	7.0	29.5	7.4	6.2
難病患者	2.2	4.4	14.9	1.8	32.0	6.6	11.4

## (5) 就労について

### 問 16 現在の就労状況について教えてください。[1つに〇]

「今後も働く予定はない」の割合が 29.9%と最も多く、次いで「今後も現在の仕事を続けたい」の割合が 25.3%、「働けない状況にある」の割合が 21.9%となっています。



#### 【障害種別】

現在の就労状況については、身体障害者、難病患者は「今後も働く予定はない」(順に 36.9%、31.1%)、知的障害者で「今後も現在の仕事を続けたい」(51.0%)、精神障害者で「働けない状況にある」(32.2%) が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数(人)	今後も現在の仕事を続けたい	現在働いていないが、今後働きたい	現在働いているが、やめたい	今後も働く予定はない	働けない状況にある	無回答
全体	1,311	25.3	9.3	2.5	29.9	21.9	11.1
身体障害者	810	19.9	6.5	2.1	36.9	21.2	13.3
知的障害者	145	51.0	9.7	2.8	11.0	17.2	8.3
精神障害者	258	24.4	21.7	4.7	11.2	32.2	5.8
難病患者	228	29.4	4.4	2.6	31.1	22.8	9.6

【年齢別】

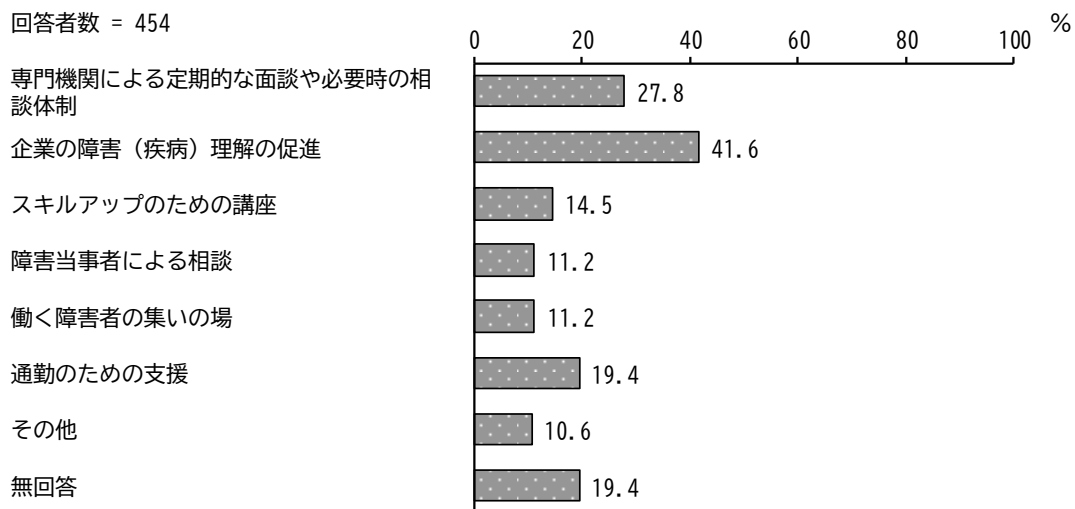
年齢別にみると、18～39歳、40～64歳で「今後も現在の仕事を続けたい」(順に41.3%、44.4%)、65～69歳、70歳以上で「今後も働く予定はない」(順に34.4%、50.5%)が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数(人)	今後も現在の仕事を続けたい	現在働いていないが、今後働きたい	現在働いているが、やめたい	今後も働く予定はない	働けない状況にある	無回答
全体	1,311	25.3	9.3	2.5	29.9	21.9	11.1
18～39歳	179	41.3	25.7	4.5	4.5	17.9	6.1
40～64歳	396	44.4	13.9	3.3	9.6	22.5	6.3
65～69歳	122	23.0	6.6	0.8	34.4	32.0	3.3
70歳以上	588	7.8	2.0	1.7	50.5	21.1	16.8

問17 問16で1又は2を選択した方は就労継続のために必要と思う支援は何ですか。  
[いくつでも○]

「企業の障害(疾病)理解の促進」の割合が41.6%と最も多く、次いで「専門機関による定期的な面談や必要時の相談体制」の割合が27.8%、「通勤のための支援」の割合が19.4%となっています。





### 【障害種別】

就労継続のための必要な支援について、身体障害者、精神障害者、難病患者は「企業の障害（疾病）理解の促進」（順に 36.4%、53.8%、53.2%）、知的障害者は「専門機関による定期的な面談や必要時の相談体制」（40.9%）が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数（人）	専門機関による定期的な面談や必要時の相談体制	企業の障害（疾病）理解の促進	スキルアップのための講座	障害当事者による相談	働く障害者の集いの場	通勤のための支援	その他	無回答
全体	454	27.8	41.6	14.5	11.2	11.2	19.4	10.6	19.4
身体障害者	214	15.9	36.4	11.7	8.4	8.9	17.8	13.1	26.6
知的障害者	88	40.9	36.4	11.4	20.5	15.9	22.7	5.7	15.9
精神障害者	119	48.7	53.8	28.6	14.3	18.5	16.8	9.2	10.9
難病患者	77	13.0	53.2	9.1	5.2	5.2	18.2	10.4	14.3

### 【年齢別】

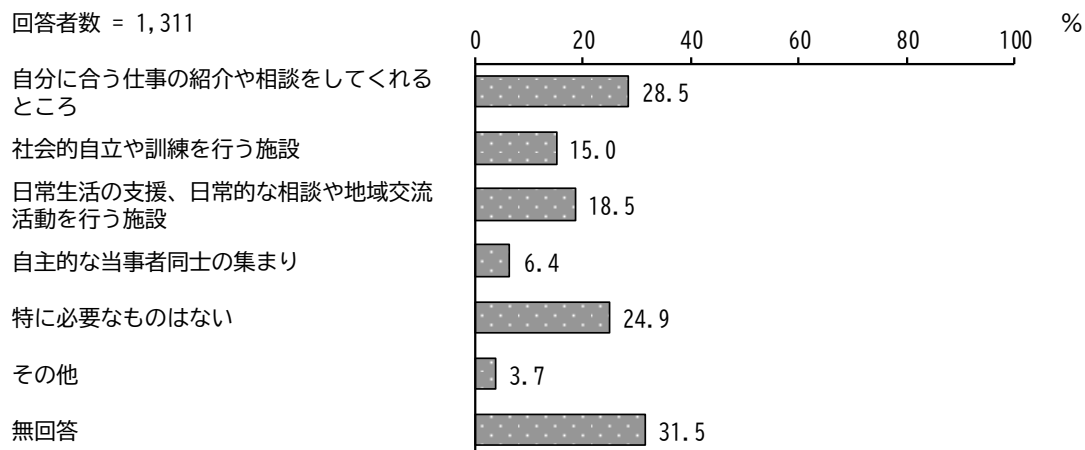
年齢別にみると、18～39歳、40～64歳、65～69歳は「企業の障害（疾病）理解の促進」（順に 51.7%、45.9%、30.6%）が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数（人）	専門機関による定期的な面談や必要時の相談体制	企業の障害（疾病）理解の促進	スキルアップのための講座	障害当事者による相談	働く障害者の集いの場	通勤のための支援	その他	無回答
全体	454	27.8	41.6	14.5	11.2	11.2	19.4	10.6	19.4
18～39歳	120	43.3	51.7	25.0	15.8	10.8	24.2	10.8	10.0
40～64歳	231	25.5	45.9	14.3	10.4	13.9	18.6	9.5	16.5
65～69歳	36	22.2	30.6	5.6	8.3	2.8	19.4	13.9	19.4
70歳以上	58	10.3	10.3	1.7	3.4	5.2	12.1	13.8	50.0

問 18 働く場や活動の場を充実させるため、必要と思うものは何ですか。[3つ以内に○]

「自分に合う仕事の紹介や相談をしてくれるところ」の割合が 28.5%と最も多く、次いで「特に必要なものはない」の割合が 24.9%、「日常生活の支援、日常的な相談や地域交流活動を行う施設」の割合が 18.5%となっています。



【障害種別】

働く場や活動の場を充実させるため必要と思うものについては、知的障害者、精神障害者は「自分に合う仕事の紹介や相談をしてくれるところ」（順に 41.4%、50.0%）が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数（人）	自分に合う仕事の紹介や相談をしてくれるところ	社会的自立や訓練を行う施設	日常生活の支援、日常的な相談や地域交流活動を行う施設	自主的な当事者同士の集まり	特に必要なものはない	その他	無回答
全体	1,311	28.5	15.0	18.5	6.4	24.9	3.7	31.5
身体障害者	810	21.2	9.6	14.4	5.1	26.2	3.2	39.4
知的障害者	145	41.4	26.9	31.7	9.0	13.8	4.1	18.6
精神障害者	258	50.0	29.5	29.1	9.7	15.5	5.4	16.7
難病患者	228	24.1	10.1	14.9	5.7	29.8	3.9	30.3

【年齢別】

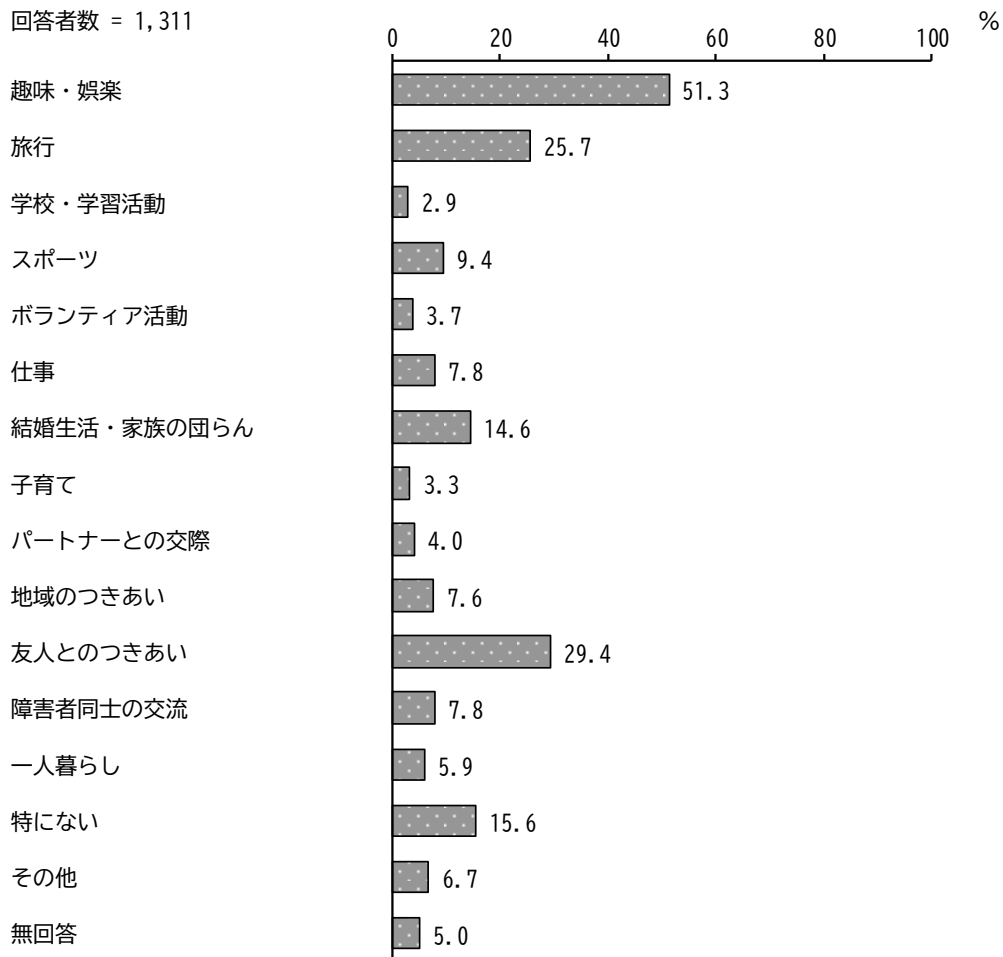
単位：％

区分	回答者数（人）	自分に合う仕事の紹介や相談をしてくれるところ	社会的自立や訓練を行う施設	設 常的な相談や地域交流活動を行う施設	日常生活の支援、日常的な相談や地域交流活動を行う施設	自主的な当事者同士の集まり	特に必要なものはない	その他	無回答
全体	1,311	28.5	15.0	18.5	6.4	24.9	3.7	31.5	
18～39 歳	179	54.7	34.6	25.7	7.8	12.8	4.5	12.3	
40～64 歳	396	44.7	21.7	26.0	8.3	22.7	4.3	16.2	
65～69 歳	122	27.0	13.1	13.9	3.3	38.5	5.7	21.3	
70 歳以上	588	10.0	5.1	11.2	4.9	26.9	2.9	50.2	

## (6) 日頃の活動について

### 問 19 楽しみや生きがいは何ですか。[いくつでも○]

「趣味・娯楽」の割合が 51.3%と最も多く、次いで「友人とのつきあい」の割合が 29.4%、「旅行」の割合が 25.7%となっています。



【障害種別】

楽しみや生きがいについては、全ての障害で「趣味・娯楽」が最も多くなっています。

単位：％

区分	回答者数(人)	趣味・娯楽	旅行	学校・学習活動	スポーツ	ボランティア活動	仕事	らん	結婚生活・家族の団	子育て	際	パートナーとの交	地域のつきあい	友人とのつきあい	障害者同士の交流	一人暮らし	特にな	その他	無回答
全体	1,311	51.3	25.7	2.9	9.4	3.7	7.8	14.6	3.3	4.0	7.6	29.4	7.8	5.9	15.6	6.7	5.0		
身体障害者	810	46.2	25.2	1.9	8.5	4.0	6.9	13.7	2.0	3.1	8.9	31.2	6.7	5.1	16.8	6.2	5.8		
知的障害者	145	62.8	36.6	4.1	9.0	2.8	10.3	6.9	2.1	7.6	4.8	19.3	22.8	6.9	10.3	6.9	4.8		
精神障害者	258	58.9	14.3	6.6	8.1	3.5	7.8	16.3	6.6	5.8	3.9	23.6	8.9	8.5	15.5	10.9	4.3		
難病患者	228	46.5	23.7	1.3	9.6	1.8	7.0	19.7	4.4	3.9	6.1	27.2	3.1	5.3	17.5	4.4	8.3		

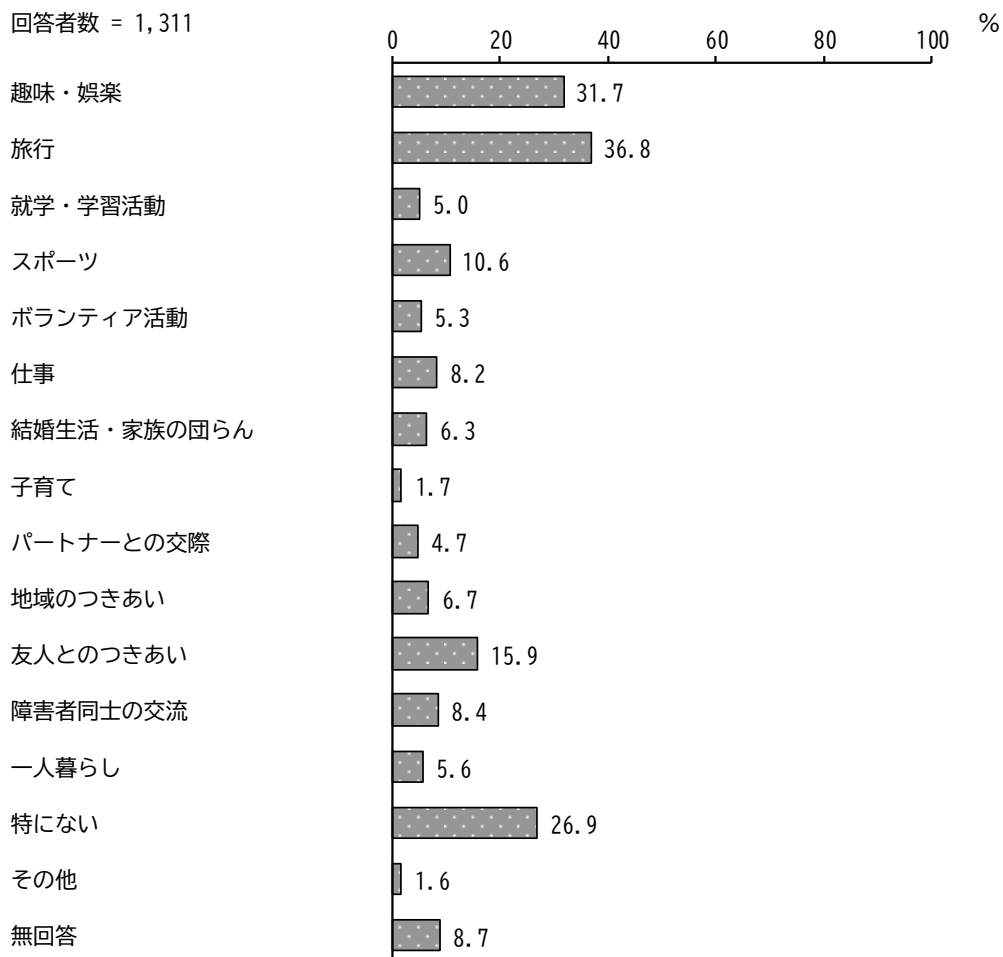
【年齢別】

単位：％

区分	回答者数(人)	趣味・娯楽	旅行	学校・学習活動	スポーツ	ボランティア活動	仕事	らん	結婚生活・家族の団	子育て	際	パートナーとの交	地域のつきあい	友人とのつきあい	障害者同士の交流	一人暮らし	特にな	その他	無回答
全体	1,311	51.3	25.7	2.9	9.4	3.7	7.8	14.6	3.3	4.0	7.6	29.4	7.8	5.9	15.6	6.7	5.0		
18～39歳	179	74.9	29.6	6.7	8.9	3.9	10.6	12.3	6.7	9.5	2.2	28.5	14.5	5.0	8.4	6.1	2.8		
40～64歳	396	55.6	27.0	4.3	12.6	3.5	12.1	21.2	7.3	5.8	6.3	25.5	10.4	6.3	14.4	5.8	3.0		
65～69歳	122	54.9	32.0	2.5	7.4	4.1	7.4	20.5	0.8	3.3	7.4	33.6	8.2	5.7	14.8	4.1	4.9		
70歳以上	588	39.6	21.8	1.0	7.5	3.7	4.1	9.7	0.2	1.2	9.9	31.0	3.6	5.8	19.2	8.2	7.1		

問 20 今後やってみたいことはありますか。[いくつでも○]

「旅行」の割合が 36.8%と最も多く、次いで「趣味・娯楽」の割合が 31.7%、「特にない」の割合が 26.9%となっています。



【障害種別】

今後やってみたいことについては、全ての障害で「旅行」が最も多くなっています。

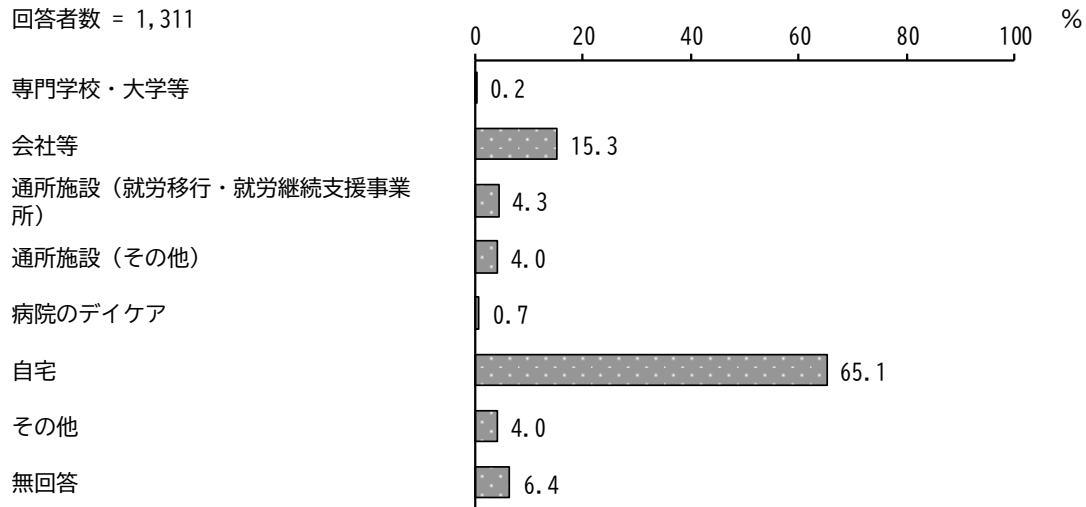
単位：％

区分	回答者数(人)	趣味・娯楽	旅行	就学・学習活動	スポーツ	ボランティア活動	仕事	結婚生活・家族の団らん	子育て	パートナーとの交際	地域のつきあい	友人とのつきあい	障害者同士の交流	一人暮らし	特にない	その他	無回答
全体	1,311	31.7	36.8	5.0	10.6	5.3	8.2	6.3	1.7	4.7	6.7	15.9	8.4	5.6	26.9	1.6	8.7
身体障害者	810	27.7	33.1	2.8	9.0	4.3	6.4	4.0	0.4	2.6	6.7	14.4	6.9	3.6	30.7	1.7	10.5
知的障害者	145	40.0	42.1	2.8	15.2	3.4	10.3	5.5	—	7.6	6.2	13.8	17.2	15.9	14.5	2.1	9.0
精神障害者	258	37.6	42.2	13.6	12.8	9.7	17.1	13.2	7.0	12.8	7.0	20.5	12.4	8.1	19.4	1.9	5.0
難病患者	228	27.2	34.6	3.1	11.0	3.9	3.1	5.3	0.4	3.1	5.3	11.8	6.1	0.9	33.3	0.9	9.2

問 21 日中は主にどこで過ごしていますか。[1つに〇]

「自宅」の割合が 65.1%と最も多く、次いで「会社等」の割合が 15.3%となっています。

回答者数 = 1,311



【障害種別】

日中は主にどこで過ごしているかについては、全ての障害で「自宅」が最も多くなっています。

単位：%

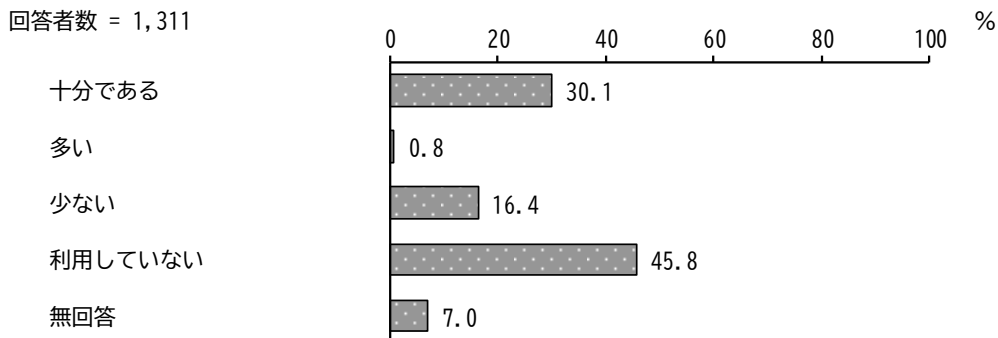
区分	回答者数 (人)	専門学校・大学等	会社等	通所施設 (就労移行・就労継続支援事業所)	通所施設 (その他)	病院のデイケア	自宅	その他	無回答
全体	1,311	0.2	15.3	4.3	4.0	0.7	65.1	4.0	6.4
身体障害者	810	—	11.6	1.2	2.6	0.9	72.5	4.2	7.0
知的障害者	145	1.4	22.8	19.3	19.3	—	24.8	4.8	7.6
精神障害者	258	0.8	17.1	8.5	0.8	0.4	62.0	5.0	5.4
難病患者	228	—	21.1	1.3	3.9	1.3	62.3	2.2	7.9



## (7) 福祉サービスについて

問 22 現在、利用しているサービス量は十分だと思いますか。[1つに○]

「利用していない」の割合が45.8%と最も多く、次いで「十分である」の割合が30.1%、「少ない」の割合が16.4%となっています。



### 【障害種別】

現在利用しているサービス量について、身体障害者、精神障害者、難病患者は「利用していない」(順に48.5%、38.8%、43.9%)、知的障害者は「十分である」(44.1%)が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数(人)	十分である	多い	少ない	利用していない	無回答
全体	1,311	30.1	0.8	16.4	45.8	7.0
身体障害者	810	27.2	0.9	14.6	48.5	8.9
知的障害者	145	44.1	0.7	21.4	27.6	6.2
精神障害者	258	36.4	1.2	20.9	38.8	2.7
難病患者	228	27.6	1.3	15.8	43.9	11.4

【障害の種類又は病名別】

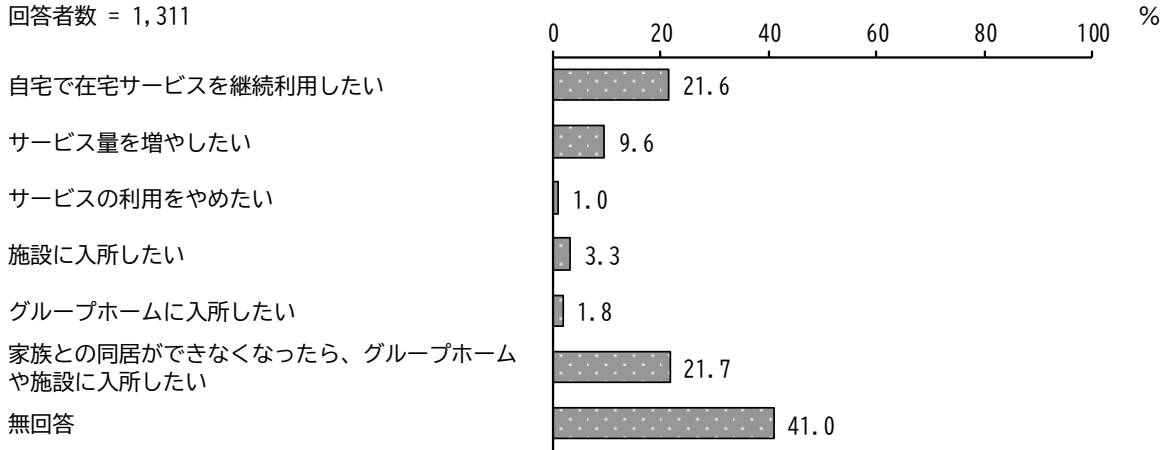
単位：％

区分	回答者数 (人)	十分である	多い	少ない	利用していない	無回答
全体	1,311	30.1	0.8	16.4	45.8	7.0
肢体不自由	352	25.3	1.1	13.4	52.8	7.4
視覚障害	67	35.8	—	14.9	37.3	11.9
聴覚障害	84	34.5	—	10.7	44.0	10.7
音声・言語障害	40	25.0	—	20.0	40.0	15.0
内部障害	175	25.1	0.6	15.4	50.9	8.0
知的障害	130	46.2	0.8	20.8	29.2	3.1
統合失調症	96	45.8	1.0	17.7	34.4	1.0
うつ病	106	34.0	1.9	27.4	35.8	0.9
双極性障害	27	25.9	—	25.9	48.1	—
神経症	33	30.3	—	33.3	33.3	3.0
てんかん	54	42.6	—	31.5	22.2	3.7
睡眠障害	44	27.3	2.3	38.6	29.5	2.3
発達障害	73	42.5	2.7	20.5	32.9	1.4
高次脳機能障害	29	27.6	—	31.0	24.1	17.2
難病	232	27.6	0.9	14.2	44.8	12.5

問 23 今後、サービスをどのように利用したいですか。[1つに○]

「家族との同居ができなくなったら、グループホームや施設に入所したい」の割合が 21.7%と最も多く、次いで「自宅で在宅サービスを継続利用したい」の割合が 21.6%となっています。

回答者数 = 1,311



【障害種別】

今後のサービス利用について、身体障害者、知的障害者は「家族との同居ができなくなったら、グループホームや施設に入所したい」（順に 22.6%、23.4%）、精神障害者、難病患者は「自宅で在宅サービスを継続利用したい」（24.0%、27.2%）が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (人)	自宅で在宅サービスを継続利用したい	サービス量を増やしたい	サービスの利用をやめたい	施設に入所したい	グループホームに入所したい	家族との同居ができなくなったら、グループホームや施設に入所したい	無回答
全体	1,311	21.6	9.6	1.0	3.3	1.8	21.7	41.0
身体障害者	810	21.4	7.8	0.7	3.3	1.5	22.6	42.7
知的障害者	145	13.1	15.9	0.7	6.9	6.9	23.4	33.1
精神障害者	258	24.0	14.3	3.1	3.1	1.9	15.5	38.0
難病患者	228	27.2	7.5	—	3.9	2.2	19.3	39.9

問 24 障害又は難病が原因で人権を損なう扱いを受けた経験がありますか。[いくつでも○]

「特にない」の割合が 67.2%と最も多くなっています。

回答者数 = 1,311



【障害種別】

単位：%

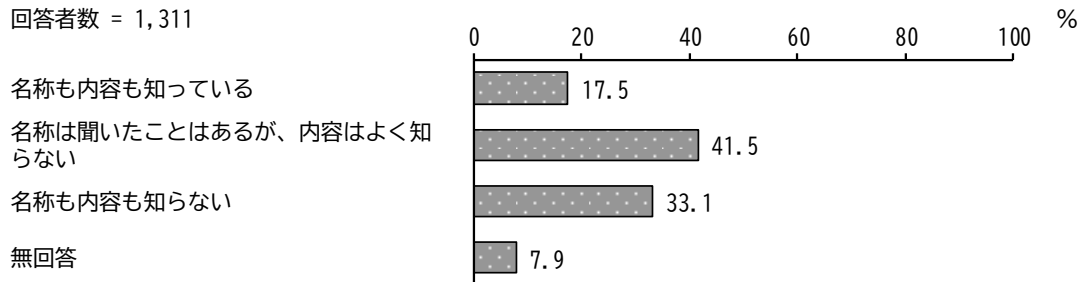
区分	回答者数（人）	希望した学校に入学できなかった	希望した仕事に就職できなかった	職場での労働条件や給料が、周囲の人と比べて不当である	障害を理由に退職を迫られた	差別用語が使われた	電車や施設の利用を断られた	親族の冠婚葬祭への出席を断られた、開催を知らされなかった	暴言・暴力による虐待を受けた
全体	1,311	2.0	6.6	4.9	4.5	8.0	1.2	1.5	6.9
身体障害者	810	2.0	5.2	3.7	3.2	5.8	1.1	1.6	4.2
知的障害者	145	6.2	11.0	8.3	6.2	15.2	2.8	2.8	13.1
精神障害者	258	1.9	14.0	11.2	12.8	17.8	2.3	2.3	19.8
難病患者	228	0.4	3.5	3.5	3.9	2.2	—	0.4	1.3

区分	性的な嫌がらせを受けた	給料や年金が本人のために使われなかったり、知らない間に預金が引き出された	賃貸物人への入居や移転の際、障害を理由に断られた	食堂やホテルなどで利用を断られた	受診や治療を断られた	特にない	その他	無回答
全体	1.7	1.1	1.8	0.5	3.4	67.2	4.4	9.8
身体障害者	1.0	0.7	1.7	0.7	2.8	70.2	3.3	11.7
知的障害者	4.1	1.4	—	—	7.6	47.6	9.7	12.4
精神障害者	4.7	2.7	5.0	0.4	5.0	50.0	7.8	7.4
難病患者	0.9	0.4	—	—	4.8	75.9	2.6	9.2

問 25 判断能力が十分でない方の権利を守る事業として、「地域福祉権利擁護事業」や「成年後見制度」がありますが、ご存知でしたか。[1つに○]

「名称は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」の割合が41.5%と最も多く、次いで「名称も内容も知らない」の割合が33.1%、「名称も内容も知っている」の割合が17.5%となっています。

回答者数 = 1,311



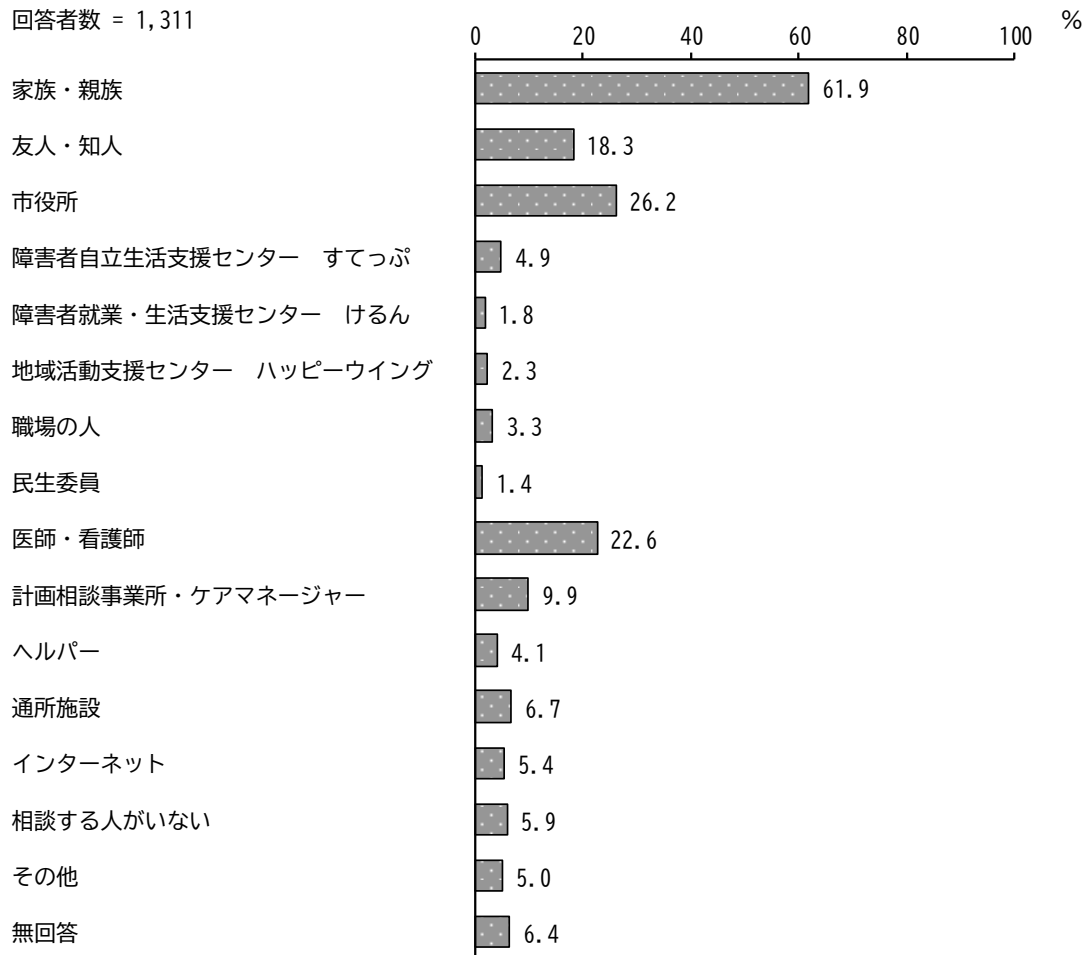
【障害種別】

単位：%

区分	回答者数(人)	名称も内容も知っている	名称は聞いたことはあるが、内容はよく知らない	名称も内容も知らない	無回答
全体	1,311	17.5	41.5	33.1	7.9
身体障害者	810	17.9	39.6	32.8	9.6
知的障害者	145	17.9	32.4	40.0	9.7
精神障害者	258	16.7	44.6	33.3	5.4
難病患者	228	15.8	49.6	28.5	6.1

問 26 あなたや支援者が、生活上の悩みや困ったことを相談するのはだれ（どこ）ですか。[いくつでも○]

「家族・親族」の割合が 61.9%と最も多く、次いで「市役所」の割合が 26.2%、「医師・看護師」の割合が 22.6%となっています。



【障害種別】

単位：％

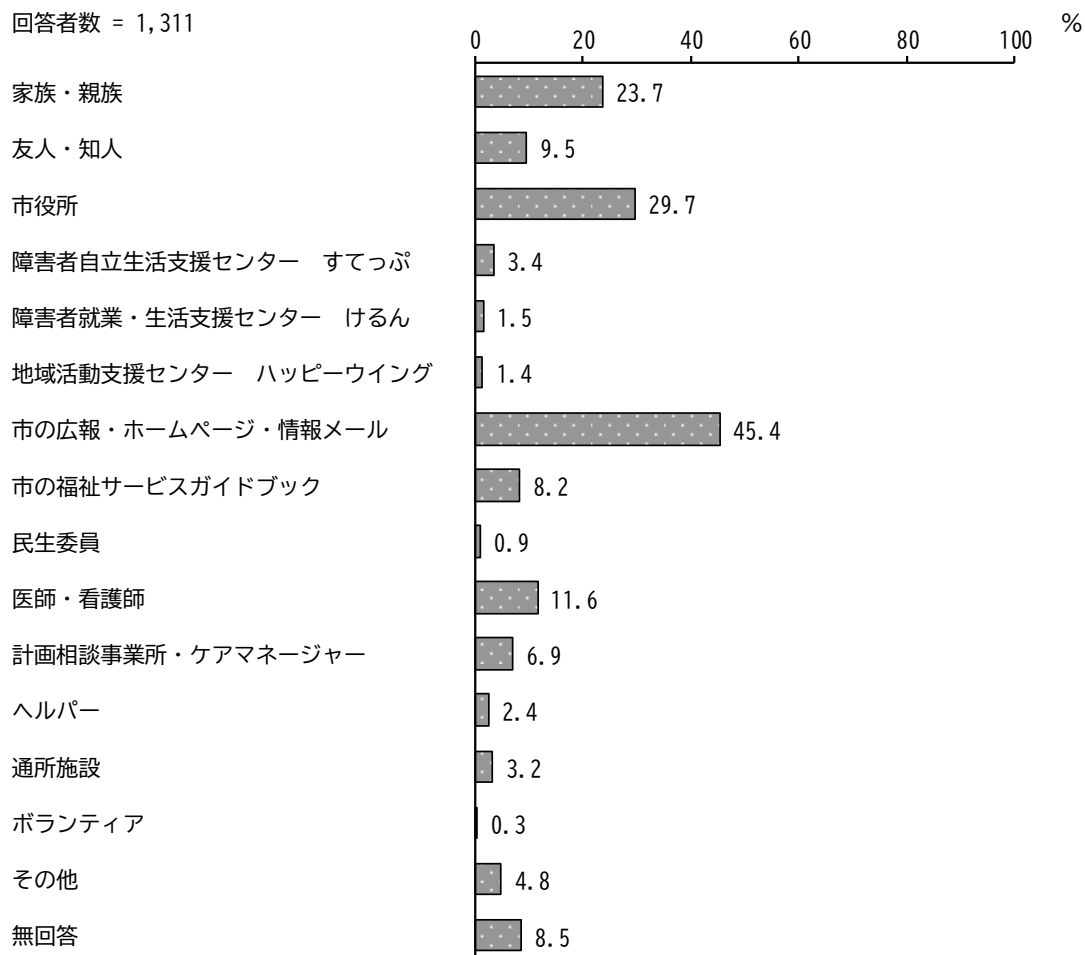
区分	回答者数(人)	家族・親族	友人・知人	市役所	障害者自立生活支援センター つば	障害者就業・生活支援センター ん	地域活動支援センター インター ハッピー ウ イング	職場の人	民生委員
全体	1,311	61.9	18.3	26.2	4.9	1.8	2.3	3.3	1.4
身体障害者	810	62.8	18.4	26.8	2.6	0.7	1.4	2.0	1.9
知的障害者	145	58.6	13.8	22.1	22.1	3.4	1.4	11.0	—
精神障害者	258	53.1	19.0	28.7	7.4	4.7	7.4	3.5	0.8
難病患者	228	64.0	18.4	25.9	1.8	0.4	0.4	3.5	0.4

区分	医師・看護師	計画相談事業所・ケアマネージャー	ヘルパー	通所施設	インターネット	相談する人がいない	その他	無回答
全体	22.6	9.9	4.1	6.7	5.4	5.9	5.0	6.4
身体障害者	19.5	10.1	3.8	3.6	4.7	5.8	3.5	7.9
知的障害者	15.2	20.0	8.3	23.4	4.1	2.8	9.0	4.8
精神障害者	39.5	5.4	5.0	8.1	9.3	8.9	8.5	4.3
難病患者	27.6	10.5	3.9	3.1	6.1	7.9	2.6	7.0



問 27 市の行事、福祉、保健に関することは、主に何で知りましたか。[いくつでも○]

「市の広報・ホームページ・情報メール」の割合が45.4%と最も多く、次いで「市役所」の割合が29.7%、「家族・親族」の割合が23.7%となっています。



【障害種別】

市の行事等の情報源については、身体障害者、難病患者は「市の広報・ホームページ・情報メール」（順に 50.2%、46.5%）、知的障害者は「家族・親族」（36.6%）、精神障害者は「市役所」（36.4%）が最も多くなっています。

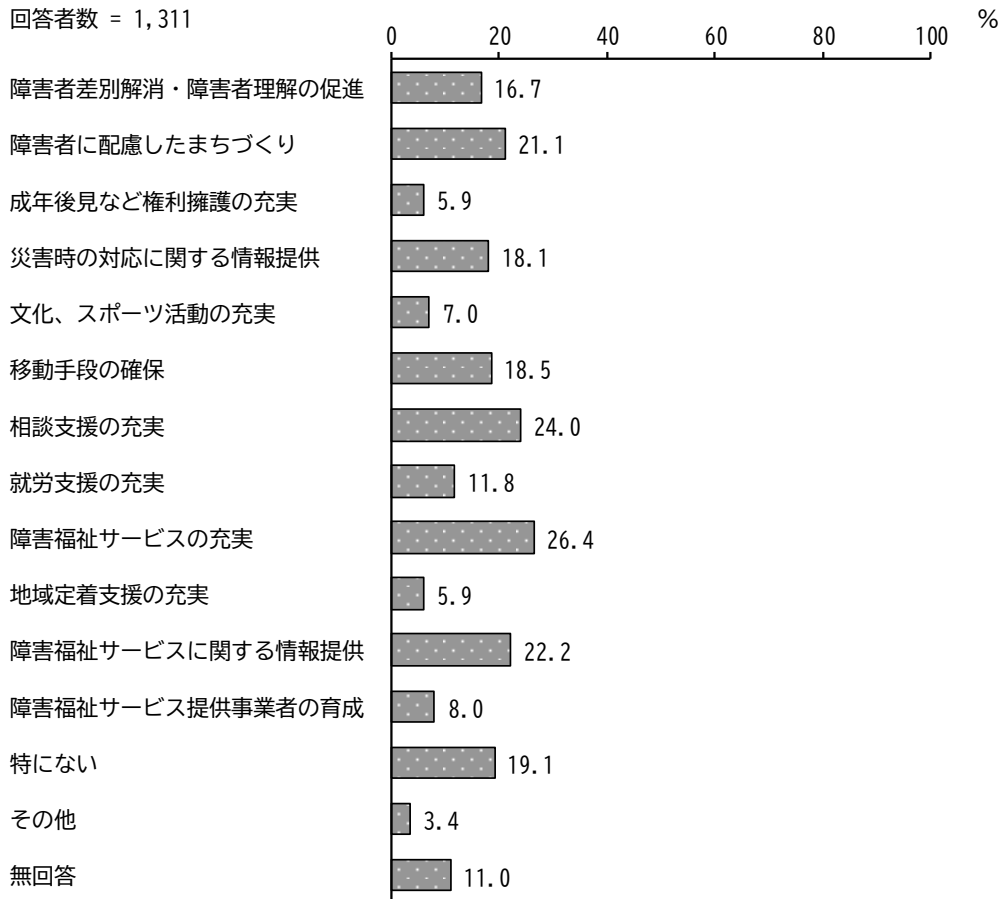
単位：%

区分	回答者数（人）	家族・親族	友人・知人	市役所	障害者自立生活支援センター つづ	障害者就業・生活支援センター	地域活動支援センター ハッピーウイング	市の広報・ホームページ・情報メール	市の福祉サービスガイドブック
全体	1,311	23.7	9.5	29.7	3.4	1.5	1.4	45.4	8.2
身体障害者	810	21.9	9.0	27.0	1.4	0.9	0.9	50.2	9.9
知的障害者	145	36.6	9.7	29.0	14.5	4.1	—	29.0	8.3
精神障害者	258	23.6	10.9	36.4	5.4	3.9	4.3	32.9	3.9
難病患者	228	20.2	8.8	31.6	1.3	0.4	0.4	46.5	7.5

区分	民生委員	医師・看護師	計画相談事業所・ケアマネージャー	ヘルパー	通所施設	ボランティア	その他	無回答
全体	0.9	11.6	6.9	2.4	3.2	0.3	4.8	8.5
身体障害者	1.2	10.4	7.8	2.6	1.6	0.5	3.7	9.9
知的障害者	—	4.1	13.1	3.4	13.1	—	7.6	12.4
精神障害者	0.4	16.3	1.9	3.1	3.5	—	7.8	7.0
難病患者	0.4	20.6	7.0	1.8	2.2	—	2.2	7.9

問 28 今後、市に何を期待しますか。[5つ以内に○]

「障害福祉サービスの充実」の割合が 26.4%と最も多く、次いで「相談支援の充実」の割合が 24.0%、「障害福祉サービスに関する情報提供」の割合が 22.2%となっています。



【障害種別】

今後、市に期待することについては、身体障害者、知的障害者、難病患者は「障害福祉サービスの充実」（順に 25.8%、31.0%、26.8%）、精神障害者は「相談支援の充実」（34.5%）が最も多くなっています。

単位：%

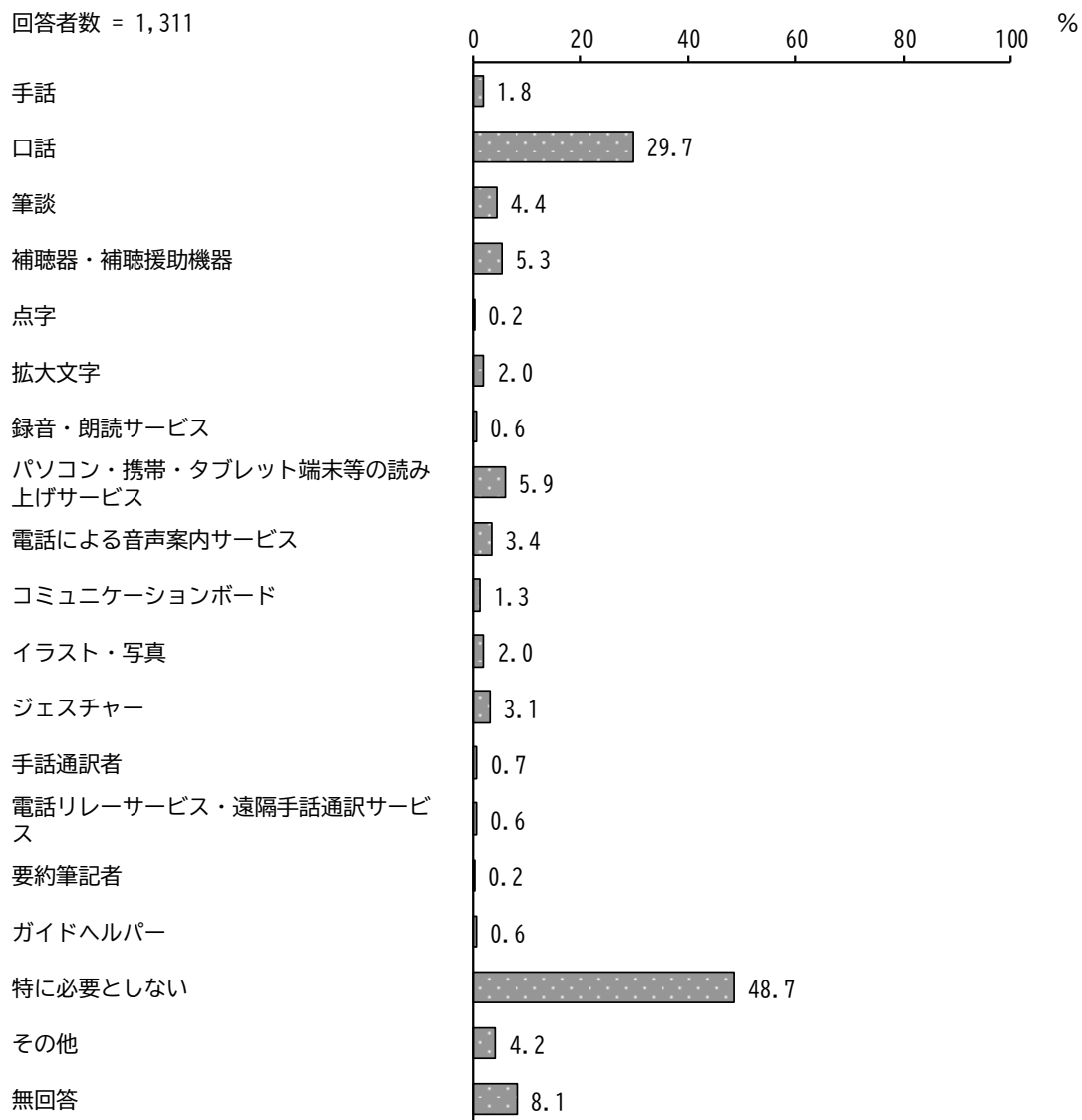
区分	回答者数（人）	障害者差別解消・障害者理解の促進	障害者に配慮したまちづくり	成年後見など権利擁護の充実	災害時の対応に関する情報提供	文化、スポーツ活動の充実	移動手段の確保	相談支援の充実
全体	1,311	16.7	21.1	5.9	18.1	7.0	18.5	24.0
身体障害者	810	13.1	23.5	3.5	19.9	4.9	21.2	20.2
知的障害者	145	24.8	22.1	15.9	17.9	9.7	6.2	29.0
精神障害者	258	31.4	18.6	8.1	10.9	9.3	12.4	34.5
難病患者	228	11.0	11.8	4.8	21.9	7.5	16.2	25.0

区分	就労支援の充実	障害福祉サービスの充実	地域定着支援の充実	障害福祉サービスに関する情報提供	障害福祉サービス提供事業者の育成	特になし	その他	無回答
全体	11.8	26.4	5.9	22.2	8.0	19.1	3.4	11.0
身体障害者	6.3	25.8	4.7	22.6	7.3	19.9	2.5	13.2
知的障害者	17.9	31.0	8.3	21.4	12.4	17.9	6.2	11.7
精神障害者	28.3	31.0	6.6	21.7	12.0	13.6	6.6	8.1
難病患者	9.2	26.8	7.0	25.0	5.7	18.4	3.1	11.4

## (8) 情報の入手やコミュニケーションについて

問 29 あなたは、家族、親族、知人、支援者とコミュニケーションをとるときに、どのような意思疎通手段、支援を利用していますか。[いくつでも○]

「特に必要としない」の割合が 48.7%と最も多く、次いで「口話」の割合が 29.7%となっています。



【障害種別】

必要とするコミュニケーションの支援については、全ての障害で「特に必要としない」が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数(人)	手話	口話	筆談	補聴器・補聴援助機器	点字	拡大文字	録音・朗読サービス	パソコン・携帯・タブレット端末等の読み上げサービス	電話による音声案内サービス
全体	1,311	1.8	29.7	4.4	5.3	0.2	2.0	0.6	5.9	3.4
身体障害者	810	2.3	28.1	5.4	7.9	0.2	2.6	0.7	6.7	4.6
知的障害者	145	2.1	37.2	5.5	—	—	—	0.7	3.4	0.7
精神障害者	258	1.9	31.8	1.9	0.8	—	0.8	0.4	3.5	1.9
難病患者	228	0.4	29.8	1.3	5.3	—	2.6	0.4	7.0	3.9

区分	コミュニケーションボード	イラスト・写真	ジェスチャー	手話通訳者	電話リレーサービス・遠隔手話通訳サービス	要約筆記者	ガイドヘルパー	特に必要としない	その他	無回答
全体	1.3	2.0	3.1	0.7	0.6	0.2	0.6	48.7	4.2	8.1
身体障害者	1.1	1.7	2.8	1.1	0.9	0.2	0.9	46.0	3.2	10.2
知的障害者	3.4	7.6	9.0	—	0.7	—	0.7	40.0	8.3	10.3
精神障害者	1.2	1.2	3.5	0.4	0.4	—	—	51.9	6.2	6.2
難病患者	0.9	—	1.3	0.4	—	0.4	0.4	50.0	2.2	8.3

【障害の種類又は病名別】

単位：％

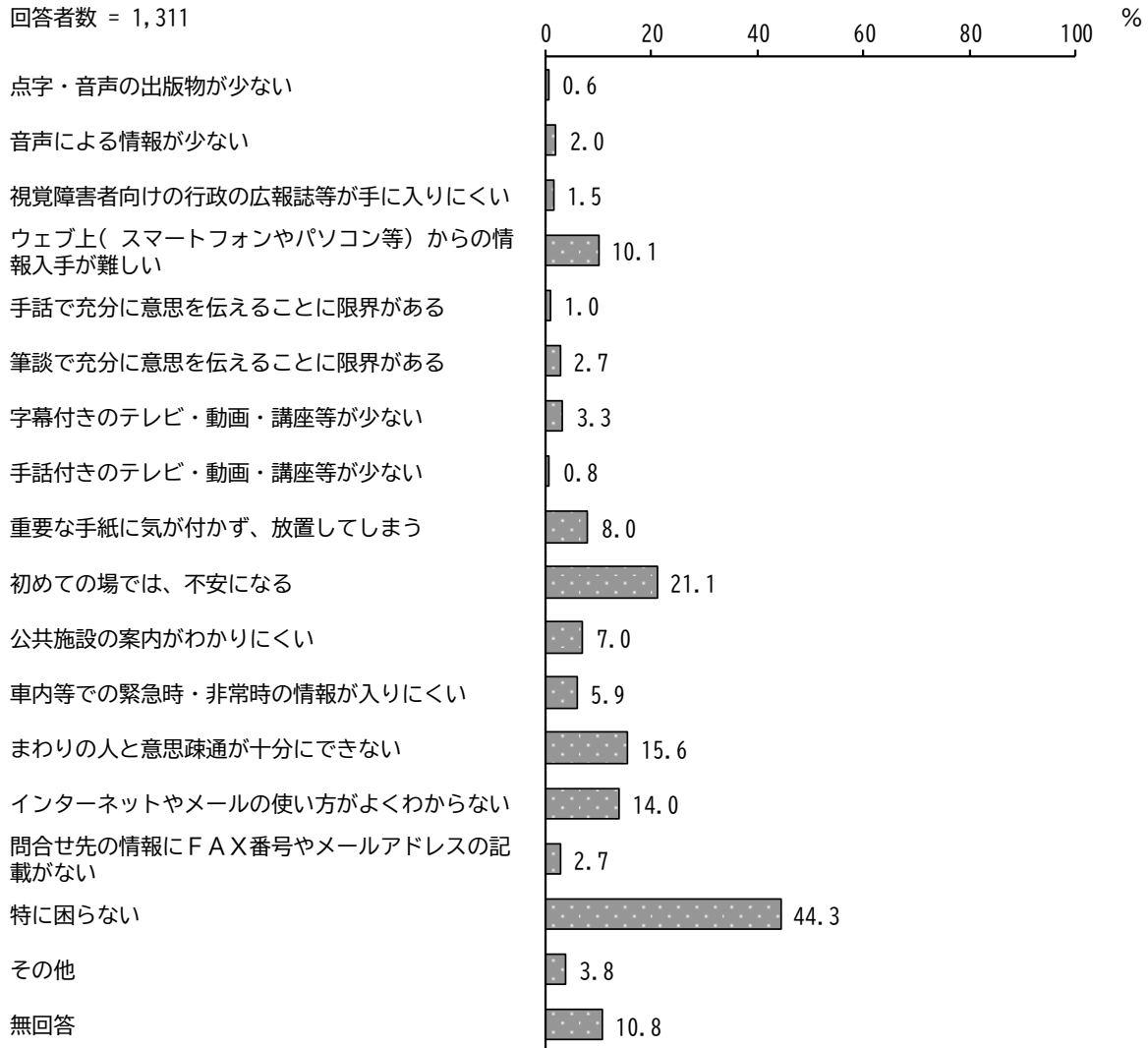
区分	回答者数 (人)	手話	口話	筆談	補聴器・補聴援助機 器	点字	拡大文字	録音・朗読サービス	パソコン・携帯・タ ブレット端末等 の読み上げサービス	電話による音声案 内サービス
全体	1,311	1.8	29.7	4.4	5.3	0.2	2.0	0.6	5.9	3.4
肢体不自由	352	0.9	28.7	2.0	1.7	—	1.7	0.6	4.5	4.0
視覚障害	67	—	43.3	—	3.0	3.0	19.4	6.0	11.9	9.0
聴覚障害	84	16.7	35.7	40.5	52.4	1.2	3.6	1.2	10.7	4.8
音声・言語障害	40	12.5	32.5	22.5	5.0	—	5.0	—	10.0	5.0
内部障害	175	—	21.7	0.6	5.1	—	1.1	—	5.7	5.1
知的障害	130	0.8	38.5	6.9	—	—	—	0.8	3.1	0.8
統合失調症	96	3.1	41.7	2.1	2.1	—	1.0	—	5.2	3.1
うつ病	106	1.9	30.2	3.8	0.9	—	0.9	1.9	4.7	1.9
双極性障害	27	3.7	37.0	3.7	—	—	—	—	3.7	3.7
神経症	33	—	36.4	3.0	3.0	—	3.0	—	12.1	—
てんかん	54	3.7	29.6	11.1	—	—	1.9	1.9	7.4	1.9
睡眠障害	44	2.3	34.1	9.1	2.3	—	2.3	4.5	11.4	4.5
発達障害	73	2.7	30.1	4.1	—	—	—	—	2.7	1.4
高次脳機能障害	29	—	48.3	3.4	3.4	—	3.4	—	10.3	3.4
難病	232	0.4	31.5	1.7	4.7	—	1.7	0.4	6.9	2.2

区分	コミュニケーション ボード	イラスト・写真	ジェスチャー	手話通訳者	電話リレーサービ ス・遠隔手話通訳サ ービス	要約筆記者	ガイドヘルパー	特に必要としない	その他	無回答
全体	1.3	2.0	3.1	0.7	0.6	0.2	0.6	48.7	4.2	8.1
肢体不自由	0.9	1.4	2.3	—	0.3	—	0.3	49.1	4.3	11.1
視覚障害	—	4.5	1.5	—	—	—	9.0	26.9	—	9.0
聴覚障害	4.8	4.8	9.5	10.7	7.1	1.2	1.2	14.3	6.0	4.8
音声・言語障害	15.0	10.0	27.5	2.5	2.5	2.5	—	17.5	7.5	12.5
内部障害	—	1.7	0.6	—	—	—	0.6	57.1	3.4	10.3
知的障害	3.1	7.7	10.0	—	0.8	—	0.8	38.5	8.5	9.2
統合失調症	2.1	2.1	3.1	1.0	1.0	—	—	41.7	5.2	6.3
うつ病	0.9	2.8	2.8	—	—	—	—	50.9	7.5	5.7
双極性障害	7.4	—	3.7	—	—	—	—	55.6	3.7	3.7
神経症	—	—	—	—	—	—	—	42.4	12.1	9.1
てんかん	7.4	9.3	13.0	—	—	—	—	42.6	11.1	11.1
睡眠障害	—	4.5	2.3	—	—	—	—	40.9	13.6	6.8
発達障害	2.7	4.1	5.5	—	—	—	—	53.4	9.6	1.4
高次脳機能障害	—	3.4	3.4	—	—	—	—	27.6	3.4	13.8
難病	0.9	—	2.2	—	—	0.4	—	49.6	3.9	7.3

問 30 あなたが情報入手する際や、コミュニケーションをとる際に困ったり不便に思うことはありますか。[いくつでも○]

「特に困らない」の割合が 44.3%と最も多く、次いで「初めての場では、不安になる」の割合が 21.1%、「まわりの人と意思疎通が十分にできない」の割合が 15.6%となっています。

回答者数 = 1,311





【障害種別】

情報を入手する際や、コミュニケーションをとる際に不便に思うことについては、身体障害者、難病患者は「特に困らない」（順に 48.3%、52.2%）、知的障害者は「まわりの人と意思疎通が十分にできない」（39.3%）、精神障害者は「初めての場では、不安になる」（44.6%）が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数（人）	点字・音声の出版物が少ない	音声による情報が少ない	視覚障害者向けの行政の広報誌等が手に入りにくい	ウェブ上（スマートフォンやパソコン等）からの情報入手が難しい	手話で十分に意思を伝えることに限界がある	筆談で十分に意思を伝えることに限界がある	字幕付きのテレビ・動画・講座等が少ない	手話付きのテレビ・動画・講座等が少ない	重要な手紙に気が付かず、放置してしまう
全体	1,311	0.6	2.0	1.5	10.1	1.0	2.7	3.3	0.8	8.0
身体障害者	810	0.6	2.5	1.9	9.6	1.4	3.1	4.6	1.2	6.9
知的障害者	145	0.7	2.8	2.1	12.4	—	4.1	—	0.7	10.3
精神障害者	258	0.8	1.2	1.6	9.3	1.2	0.8	2.7	—	15.1
難病患者	228	—	1.8	1.8	9.6	0.4	0.4	0.9	—	6.1

区分	初めての場では、不安になる	公共施設の案内がわかりにくい	車内等での緊急時・非常時の情報が入りにくい	まわりの人と意思疎通が十分にできない	インターネットやメールの使い方がよくわからない	問合せ先の情報にFAX番号やメールアドレスの記載がない	特に困らない	その他	無回答
全体	21.1	7.0	5.9	15.6	14.0	2.7	44.3	3.8	10.8
身体障害者	13.3	6.3	5.8	11.2	15.4	2.0	48.3	3.3	12.1
知的障害者	35.9	11.0	11.7	39.3	12.4	4.1	27.6	4.8	15.2
精神障害者	44.6	9.7	3.1	25.2	11.6	4.7	30.2	6.6	6.2
難病患者	13.2	3.9	4.8	8.8	12.3	0.9	52.2	3.5	12.7

【障害の種類又は病名別】

単位：％

区分	回答者数(人)	点字・音声の出版物が少ない	音声による情報が少ない	視覚障害者向けの行政の広報誌等が手に入りにくい	ウェブ上(スマートフォンやパソコン等)からの情報入手が難しい	手話で十分に意思を伝えることに限界がある	筆談で十分に意思を伝えることに限界がある	字幕付きのテレビ・動画・講座等が少ない	手話付きのテレビ・動画・講座等が少ない	重要な手紙に気が付かず、放置してしまう
全体	1,311	0.6	2.0	1.5	10.1	1.0	2.7	3.3	0.8	8.0
肢体不自由	352	0.3	1.4	0.3	11.1	0.3	1.1	2.3	0.9	5.4
視覚障害	67	7.5	13.4	16.4	17.9	1.5	3.0	3.0	1.5	19.4
聴覚障害	84	1.2	3.6	2.4	10.7	10.7	20.2	29.8	7.1	8.3
音声・言語障害	40	—	7.5	—	10.0	2.5	22.5	7.5	7.5	12.5
内部障害	175	0.6	0.6	—	7.4	—	0.6	1.1	—	6.9
知的障害	130	0.8	3.1	2.3	14.6	—	5.4	—	0.8	11.5
統合失調症	96	—	2.1	1.0	9.4	3.1	2.1	1.0	—	9.4
うつ病	106	1.9	1.9	0.9	10.4	0.9	1.9	4.7	—	17.9
双極性障害	27	3.7	—	3.7	—	—	—	—	—	25.9
神経症	33	—	—	—	9.1	—	—	—	—	9.1
てんかん	54	—	5.6	1.9	11.1	1.9	3.7	1.9	—	9.3
睡眠障害	44	—	4.5	—	20.5	—	4.5	4.5	—	15.9
発達障害	73	1.4	1.4	1.4	6.8	—	1.4	—	—	21.9
高次脳機能障害	29	—	—	—	20.7	—	—	—	—	17.2
難病	232	—	1.3	0.9	9.5	0.4	0.9	1.3	0.4	4.7

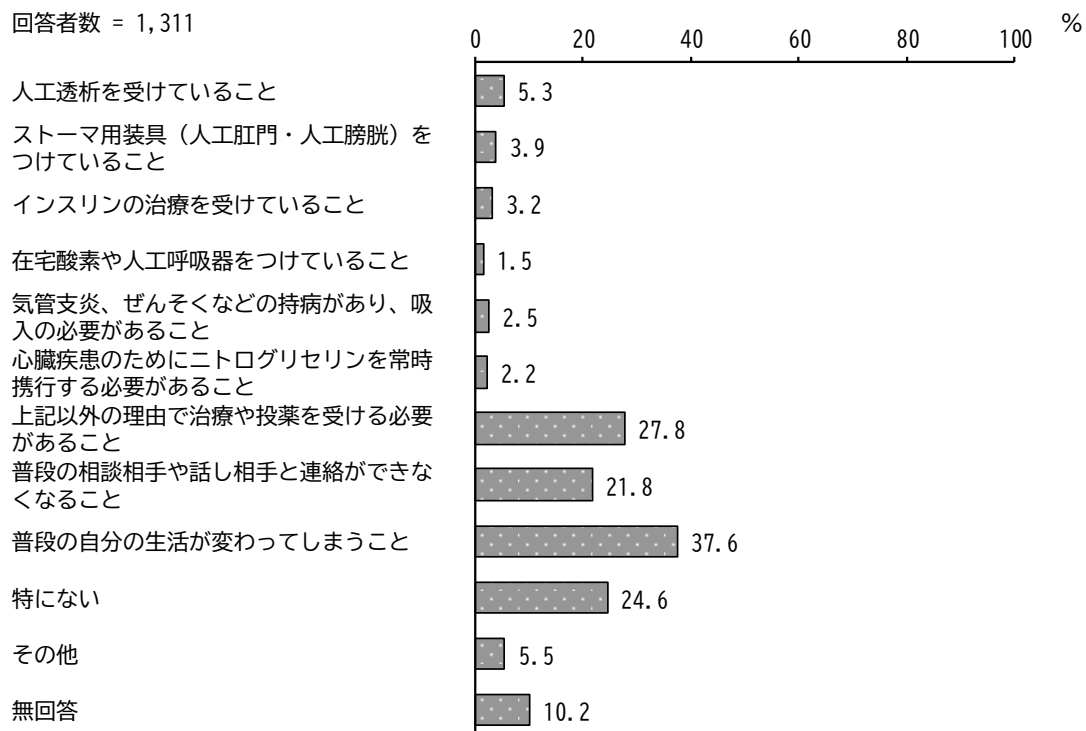
区分	初めての場では、不安になる	公共施設の案内がわかりにくい	車内等での緊急時・非常時の情報が入りにくい	まわりの人と意思疎通が十分にできない	インターネットやメールの使い方がよくわからない	問合せ先の情報にFAX番号やメールアドレスの記載がない	特に困らない	その他	無回答
全体	21.1	7.0	5.9	15.6	14.0	2.7	44.3	3.8	10.8
肢体不自由	12.5	6.5	6.3	13.1	16.5	1.4	49.7	3.4	11.4
視覚障害	25.4	11.9	7.5	11.9	29.9	1.5	28.4	4.5	10.4
聴覚障害	17.9	6.0	17.9	27.4	14.3	8.3	20.2	8.3	13.1
音声・言語障害	22.5	15.0	10.0	52.5	27.5	7.5	20.0	7.5	7.5
内部障害	8.6	4.0	4.0	4.6	14.9	1.7	58.3	2.9	11.4
知的障害	41.5	13.8	12.3	43.8	15.4	4.6	25.4	5.4	11.5
統合失調症	45.8	7.3	3.1	25.0	9.4	4.2	30.2	5.2	7.3
うつ病	49.1	17.0	4.7	29.2	15.1	8.5	29.2	9.4	4.7
双極性障害	48.1	18.5	3.7	25.9	3.7	7.4	29.6	3.7	3.7
神経症	54.5	15.2	6.1	36.4	15.2	3.0	21.2	6.1	6.1
てんかん	37.0	3.7	11.1	37.0	13.0	5.6	35.2	3.7	7.4
睡眠障害	47.7	15.9	4.5	29.5	15.9	6.8	27.3	6.8	6.8
発達障害	47.9	13.7	5.5	35.6	5.5	4.1	31.5	9.6	2.7
高次脳機能障害	17.2	3.4	10.3	31.0	17.2	3.4	17.2	6.9	13.8
難病	13.8	4.3	4.3	9.5	11.2	1.3	53.0	4.3	11.2

## (9) 災害時の対応について

問 31 災害発生時、数日間医療機関や福祉サービス等を利用できないことが想定されますが、心身の健康面や生活面で困ることについて、どのようなことがありますか。  
[いくつでも○]

「普段の自分の生活が変わってしまうこと」の割合が 37.6%と最も多く、次いで「上記以外の理由で治療や投薬を受ける必要があること」の割合が 27.8%、「特にない」の割合が 24.6%となっています。

回答者数 = 1,311



【障害種別】

災害発生時、困ることについては、全ての障害で「普段の自分の生活が変わってしまうこと」が最も多くなっています。

単位：％

区分	回答者数（人）	人工透析を受けていること	ストーマ用装具（人工肛門・人工膀胱）をつけていること	インスリンの治療を受けていること	在宅酸素や人工呼吸器をつけていること	吸入の必要があること	気管支炎、ぜんそくなどの持病があり、吸入の必要があること	心臓疾患のためにニトログリセリンを常時携帯する必要があること
全体	1,311	5.3	3.9	3.2	1.5	2.5	2.2	
身体障害者	810	8.3	6.2	3.8	1.9	2.2	3.1	
知的障害者	145	0.7	0.7	0.7	—	—	0.7	
精神障害者	258	0.4	—	2.7	0.4	5.4	1.9	
難病患者	228	28.1	4.4	5.7	1.8	0.9	0.9	

区分	上記以外の理由で治療や投薬を受ける必要があること	普通の相談相手や話し相手と連絡ができなくなること	普段の自分の生活が変わってしまうこと	特にない	その他	無回答
全体	27.8	21.8	37.6	24.6	5.5	10.2
身体障害者	25.2	17.7	31.9	24.7	5.2	11.6
知的障害者	16.6	33.8	50.3	27.6	3.4	13.8
精神障害者	38.8	33.7	54.7	17.8	7.8	6.6
難病患者	26.8	16.7	31.1	18.0	6.1	10.1

【障害の種類又は病名別】

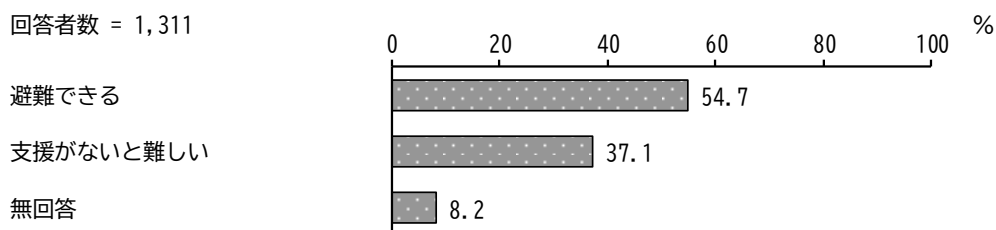
単位：％

区分	回答者数（人）	人工透析を受けていること	ストーマ用装具（人工肛門・人工膀胱）をつけていること	インスリンの治療を受けていること	在宅酸素や人工呼吸器をつけていること	気管支炎、ぜんそくなどの持病があり、吸入の必要があること	心臓疾患のために二トログリセリンを常時携帯する必要があること
全体	1,311	5.3	3.9	3.2	1.5	2.5	2.2
肢体不自由	352	2.0	3.1	3.1	2.3	1.7	2.3
視覚障害	67	6.0	—	9.0	4.5	1.5	6.0
聴覚障害	84	1.2	1.2	2.4	1.2	4.8	3.6
音声・言語障害	40	2.5	—	2.5	—	—	—
内部障害	175	17.1	13.7	6.9	1.7	1.1	5.7
知的障害	130	0.8	—	1.5	—	—	0.8
統合失調症	96	—	—	3.1	1.0	3.1	—
うつ病	106	—	—	4.7	0.9	6.6	3.8
双極性障害	27	—	—	3.7	—	14.8	—
神経症	33	—	—	3.0	3.0	3.0	—
てんかん	54	—	—	—	—	—	1.9
睡眠障害	44	—	—	6.8	2.3	6.8	6.8
発達障害	73	—	—	1.4	—	5.5	—
高次脳機能障害	29	6.9	—	6.9	—	3.4	—
難病	232	8.2	4.3	3.9	2.2	2.6	2.6

区分	上記以外の理由で治療や投薬を受ける必要があること	普段の相談相手や話し相手と連絡がでなくなること	普段の自分の生活が変わってしまうこと	特にない	その他	無回答
全体	27.8	21.8	37.6	24.6	5.5	10.2
肢体不自由	26.7	19.3	36.1	26.1	4.8	11.4
視覚障害	28.4	26.9	44.8	19.4	7.5	10.4
聴覚障害	15.5	26.2	28.6	35.7	10.7	13.1
音声・言語障害	32.5	17.5	30.0	25.0	5.0	20.0
内部障害	38.9	13.7	29.1	13.7	4.6	7.4
知的障害	18.5	36.9	56.2	25.4	4.6	10.8
統合失調症	36.5	32.3	56.3	14.6	8.3	7.3
うつ病	42.5	38.7	57.5	16.0	8.5	7.5
双極性障害	44.4	44.4	55.6	18.5	7.4	3.7
神経症	45.5	48.5	66.7	9.1	12.1	9.1
てんかん	50.0	35.2	55.6	20.4	3.7	5.6
睡眠障害	50.0	40.9	68.2	11.4	11.4	4.5
発達障害	23.3	28.8	52.1	30.1	8.2	5.5
高次脳機能障害	27.6	10.3	34.5	20.7	3.4	17.2
難病	34.1	19.0	31.5	22.0	8.6	9.5

問 32 災害発生時に自力で避難することができますか。[1つに〇]

「避難できる」の割合が 54.7%、「支援がないと難しい」の割合が 37.1%となっています。



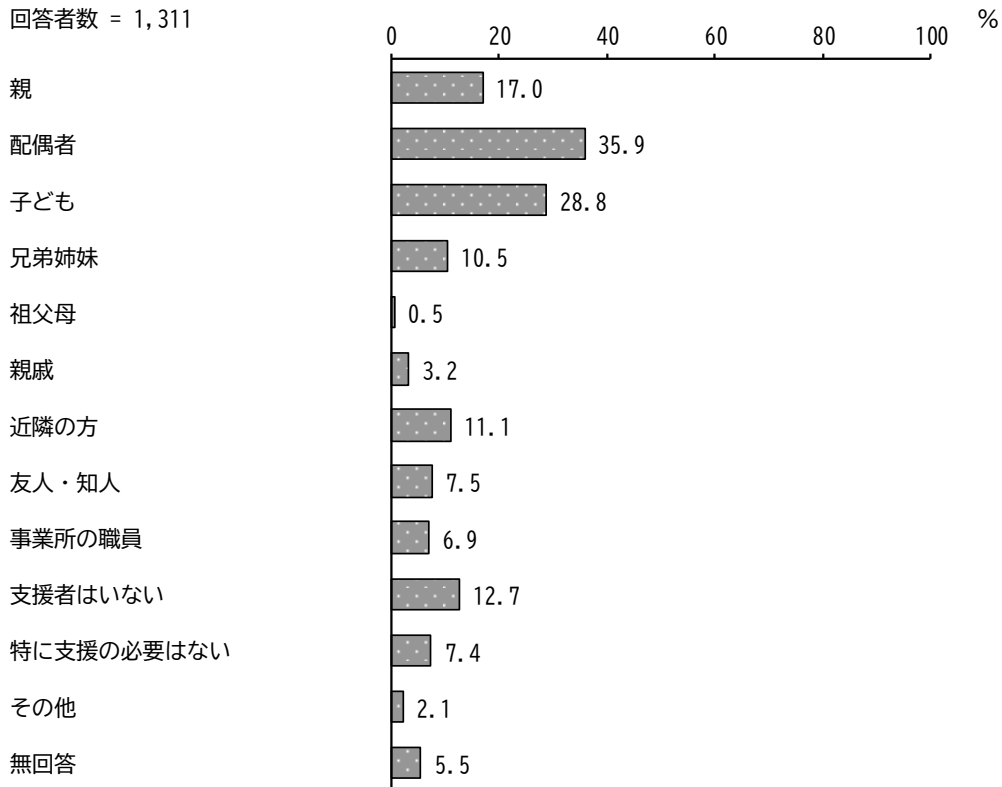
【障害種別】

単位：%

区分	回答者数 (人)	避難 できる	い 支援 がない と難 し	無 回 答
全体	1,311	54.7	37.1	8.2
身体障害者	810	51.9	39.3	8.9
知的障害者	145	30.3	57.9	11.7
精神障害者	258	60.9	31.4	7.8
難病患者	228	59.6	30.3	10.1

問 33 災害発生に伴う避難時に、支援してくれる人は誰ですか。[いくつでも○]

「配偶者」の割合が 35.9%と最も多く、次いで「子ども」の割合が 28.8%、「親」の割合が 17.0%となっています。



【障害種別】

災害発生に伴う避難時に、支援してくれる人について、身体障害者、難病患者は「配偶者」(順に 41.6%、43.9%)、知的障害者、精神障害者「親」(順に 59.3%、34.9%) が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数(人)	親	配偶者	子ども	兄弟姉妹	祖父母	親戚	近隣の方	友人・知人	事業所の職員	支援者はいない	特に支援の必要はない	その他	無回答
全体	1,311	17.0	35.9	28.8	10.5	0.5	3.2	11.1	7.5	6.9	12.7	7.4	2.1	5.5
身体障害者	810	7.3	41.6	35.9	7.2	0.1	2.8	12.7	7.0	4.2	13.0	6.5	2.0	6.2
知的障害者	145	59.3	6.2	2.1	25.5	3.4	2.1	6.2	3.4	31.7	0.7	3.4	4.1	6.9
精神障害者	258	34.9	22.1	10.1	16.3	—	2.7	6.6	9.3	6.6	19.4	8.1	2.3	5.0
難病患者	228	7.0	43.9	35.1	12.3	—	4.4	11.4	6.6	3.5	9.6	10.1	0.9	6.6





自由意見

現在作成中のため、地域福祉推進委員会当日資料として提出させていただきます。

自由意見

現在作成中のため、地域福祉推進委員会当日資料として提出させていただきます。

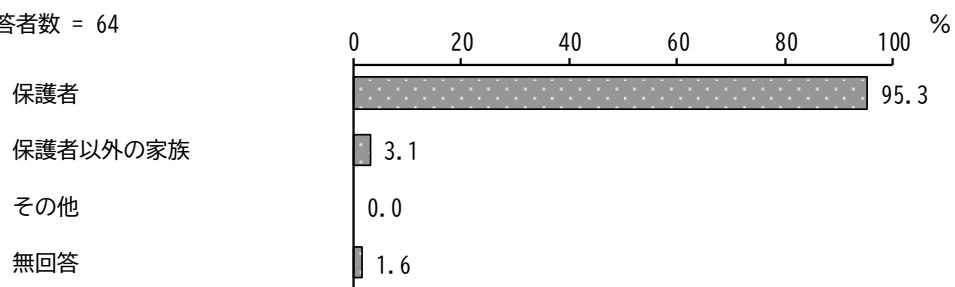
## 2 障害児

### (1) 回答者

問1 この調査票はどなたが記入されますか。[1つに○]

「保護者」の割合が95.3%、「保護者以外の家族」の割合が3.1%となっています。

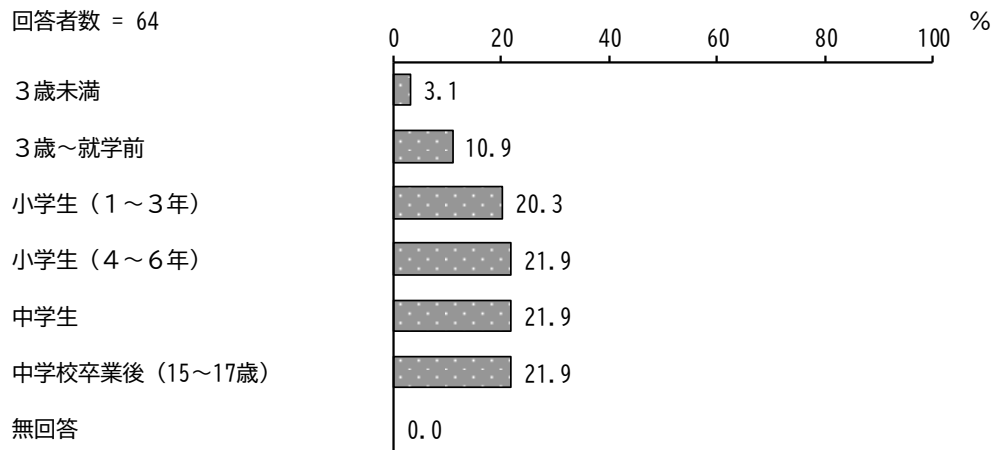
回答者数 = 64



## (2) 回答者属性

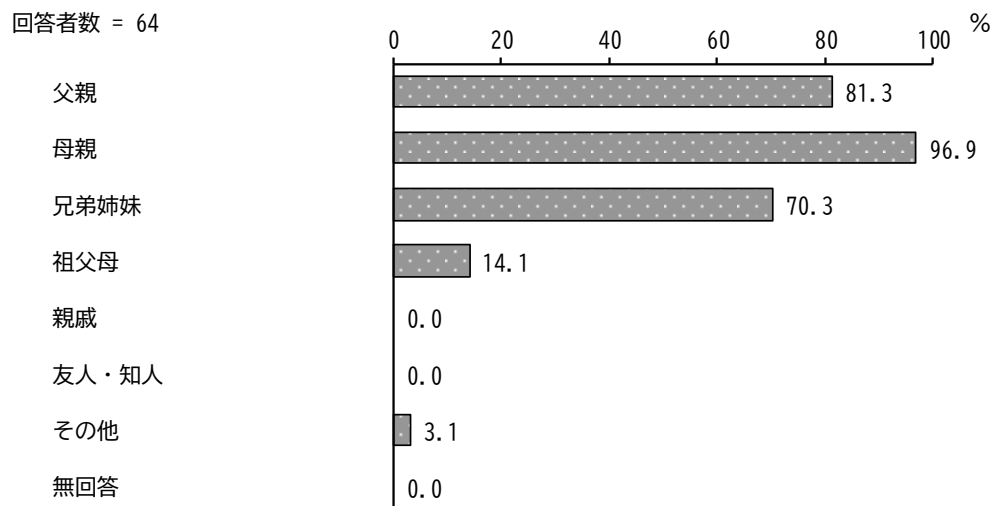
### 問2 お子さんの年齢区分は次のうちどれですか。[1つに〇]

「小学生（4～6年）」、「中学生」、「中学校卒業後（15～17歳）」の割合が21.9%と最も多くなっています。



### 問3 お子さんと一緒に暮らしている方は、どなたですか[いくつでも〇]

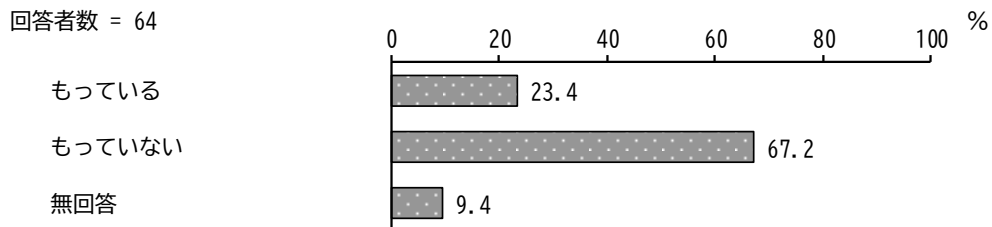
「母親」の割合が96.9%と最も多く、次いで「父親」の割合が81.3%、「兄弟姉妹」の割合が70.3%となっています。



問4 お子さんは次の手帳又は医療券をお持ちですか。

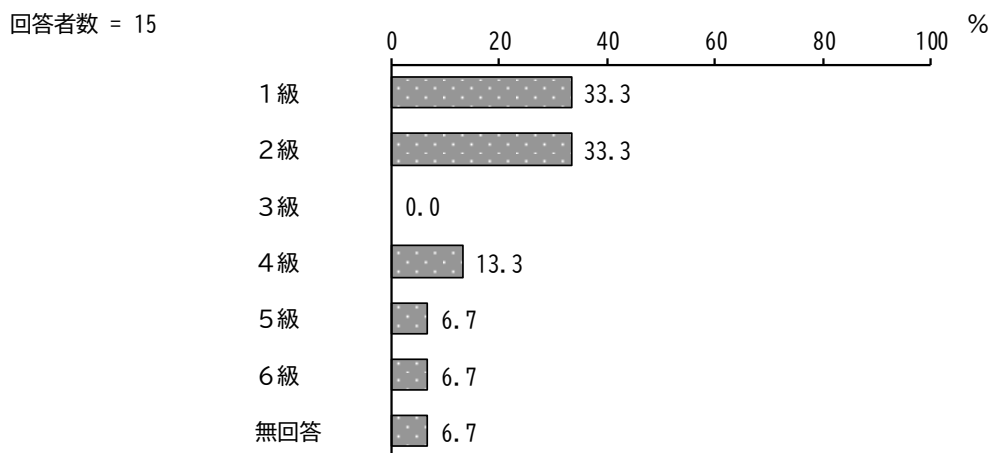
(1) 身体障害者手帳[1つに○]

「もっている」の割合が23.4%、「もっていない」の割合が67.2%となっています。



等級

「1級」、「2級」の割合が33.3%と最も多く、次いで「4級」の割合が13.3%となっています。



(2)愛の手帳[1つに○]

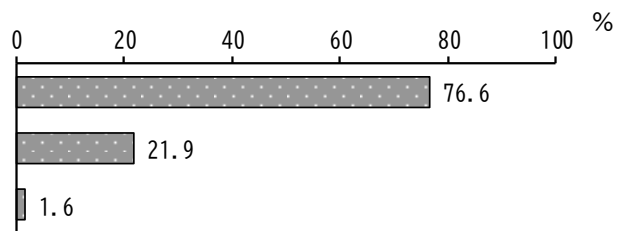
「もっている」の割合が76.6%、「もっていない」の割合が21.9%となっています。

回答者数 = 64

もっている

もっていない

無回答



等級

「4度」の割合が57.1%と最も多く、次いで「2度」の割合が22.4%、「3度」の割合が18.4%となっています。

回答者数 = 49

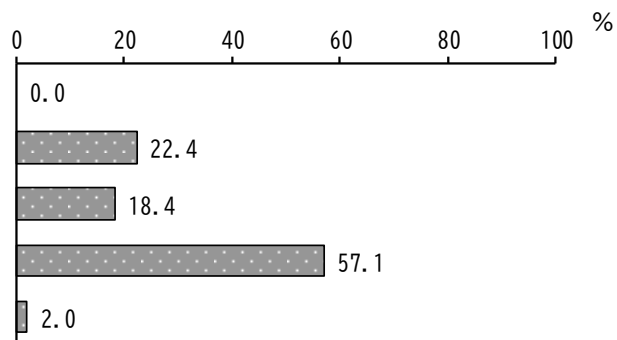
1度

2度

3度

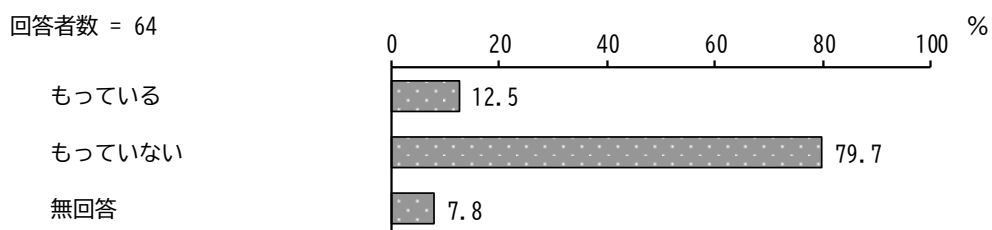
4度

無回答



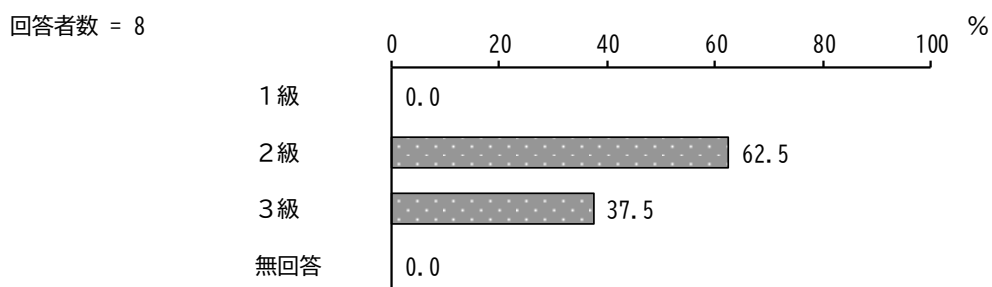
(3)精神障害者保健福祉手帳[1つに○]

「もっている」の割合が12.5%、「もっていない」の割合が79.7%となっています。



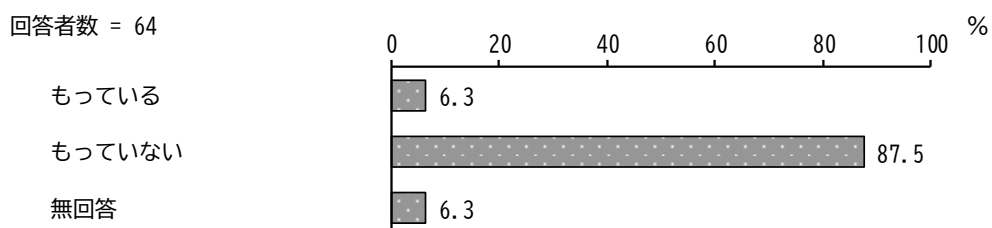
等級

「2級」の割合が62.5%、「3級」の割合が37.5%となっています。



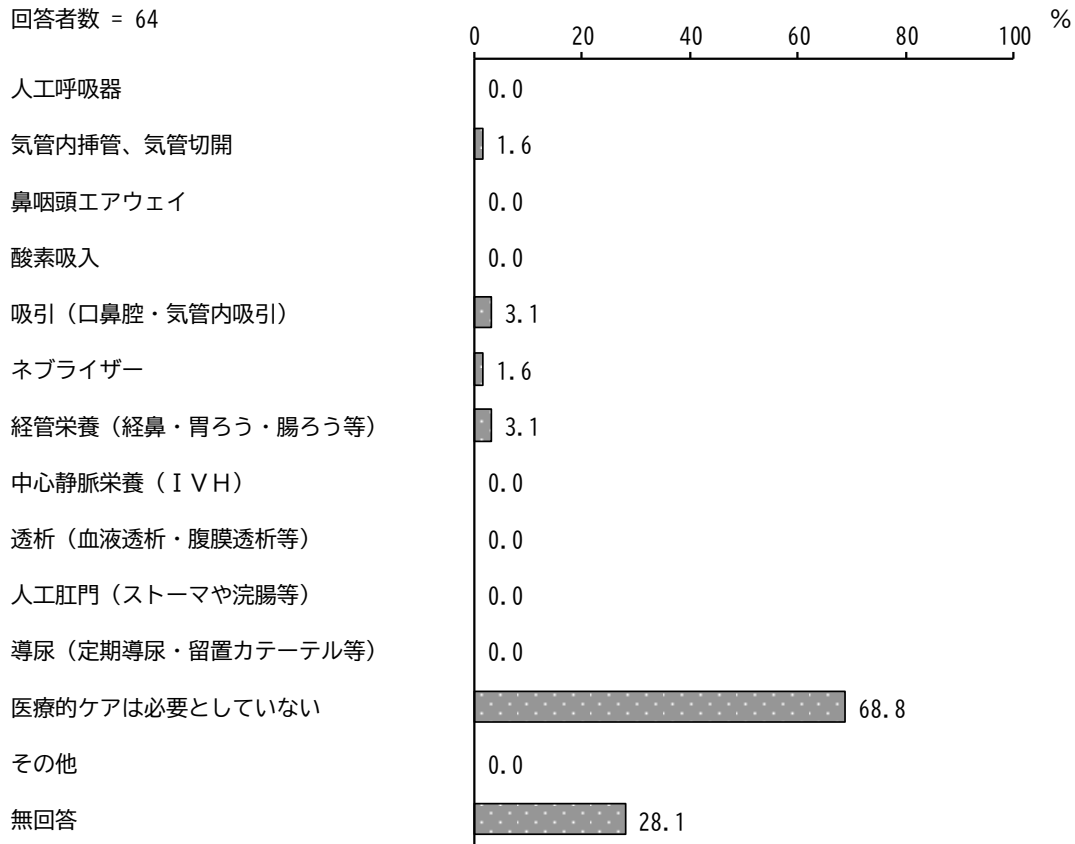
(4)難病及び人工透析にかかる医療券をお持ちですか。[1つに○]

「もっている」の割合が6.3%、「もっていない」の割合が87.5%となっています。



問5 お子さんは、次のような医療的ケアを必要としていますか。[いくつでも○]

「医療的ケアは必要としない」の割合が 68.8%と最も多くなっています。



【障害種別】

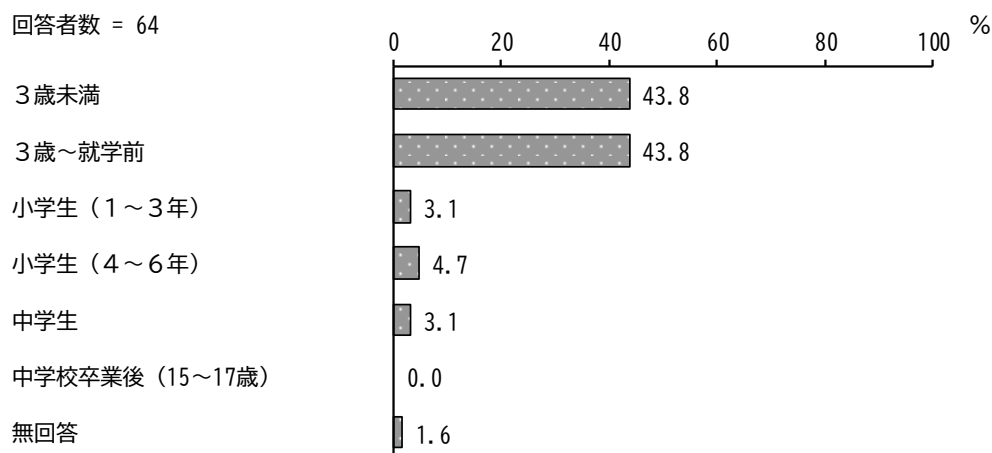
単位：%

区分	回答者数(人)	人工呼吸器	気管内挿管、気管切開	鼻咽頭エアウェイ	酸素吸入	吸引（口鼻腔・気管内吸引）	ネブライザー	経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう等）	H）中心静脈栄養（IVH）	透析（血液透析・腹膜透析等）	人工肛門（ストーマや浣腸等）	導尿（定期導尿・留置カテーテル等）	医療的ケアは必要としない	その他	無回答
全体	64	—	1.6	—	—	3.1	1.6	3.1	—	—	—	—	68.8	—	28.1
身体障害者	15	—	6.7	—	—	13.3	6.7	13.3	—	—	—	—	53.3	—	33.3
知的障害者	49	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	67.3	—	32.7
精神障害者	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—
難病患者	4	—	25.0	—	—	25.0	—	25.0	—	—	—	—	25.0	—	50.0



問6 お子さんが、最初に診断を受けたのは何歳のころですか。[1つに○]

「3歳未満」、「3歳～就学前」の割合が43.8%と最も多くなっています。



【障害種別】

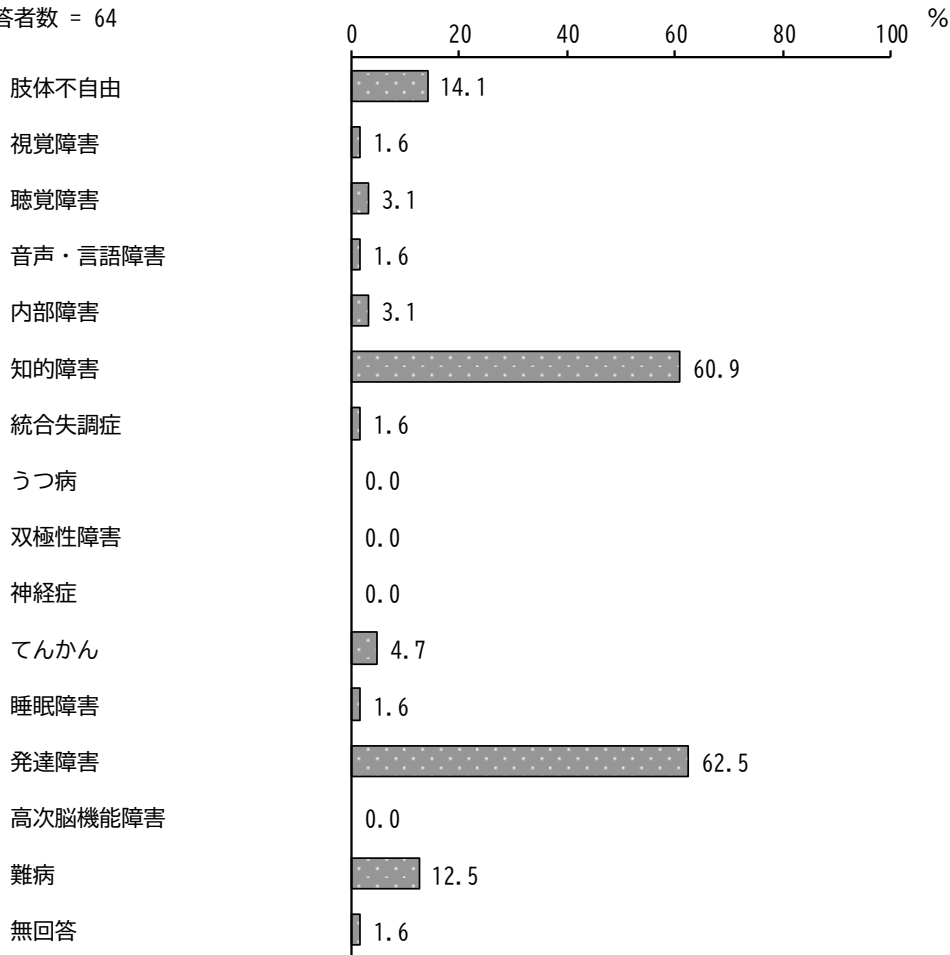
単位：%

区分	回答者数(人)	3歳未満	3歳～就学前	小学生(1～3年)	小学生(4～6年)	中学生	17歳) 中学校卒業後(15～)	無回答
全体	64	43.8	43.8	3.1	4.7	3.1	—	1.6
身体障害者	15	86.7	6.7	—	6.7	—	—	—
知的障害者	49	38.8	44.9	4.1	6.1	4.1	—	2.0
精神障害者	8	37.5	62.5	—	—	—	—	—
難病患者	4	75.0	—	—	25.0	—	—	—

問7 お子さんの障害の種類又は病名についておたずねします。[いくつでも○]

「発達障害」の割合が62.5%と最も多く、次いで「知的障害」の割合が60.9%、「肢体不自由」の割合が14.1%となっています。

回答者数 = 64



【障害種別】

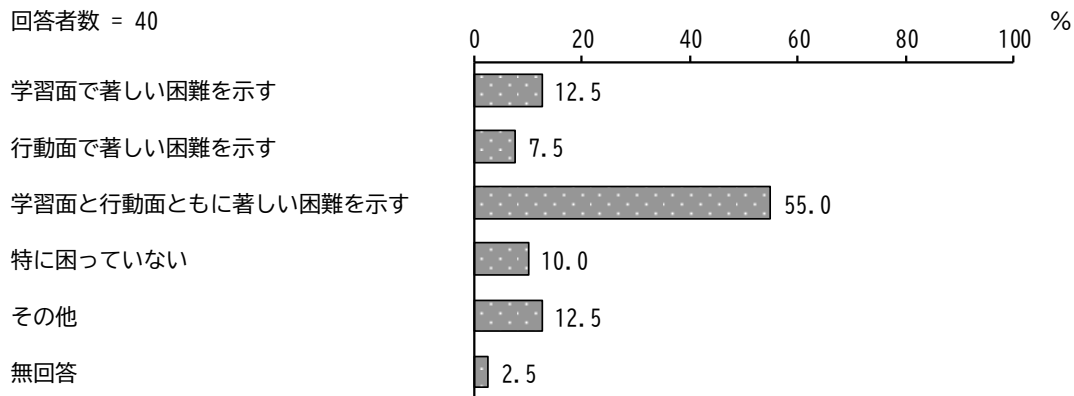
単位：%

区分	回答者数(人)	肢体不自由	視覚障害	聴覚障害	音声・言語障害	内部障害	知的障害	統合失調症	うつ病	双極性障害	神経症	てんかん	睡眠障害	発達障害	高次脳機能障害	難病	無回答
全体	64	14.1	1.6	3.1	1.6	3.1	60.9	1.6	-	-	-	4.7	1.6	62.5	-	12.5	1.6
身体障害者	15	60.0	6.7	13.3	-	13.3	46.7	-	-	-	-	13.3	-	6.7	-	40.0	-
知的障害者	49	6.1	-	-	2.0	4.1	79.6	-	-	-	-	4.1	2.0	69.4	-	8.2	-
精神障害者	8	-	-	-	-	-	37.5	12.5	-	-	-	12.5	12.5	100.0	-	-	-
難病患者	4	50.0	25.0	25.0	-	25.0	50.0	-	-	-	-	25.0	-	25.0	-	75.0	-

### (3) 発達障害について

#### 問8 お子さんが発達障害でお困りのことはありますか。[1つに〇]

「学習面と行動面ともに著しい困難を示す」の割合が55.0%と最も多く、次いで「学習面で著しい困難を示す」の割合が12.5%、「特に困っていない」の割合が10.0%となっています。



#### 【年齢区分別】

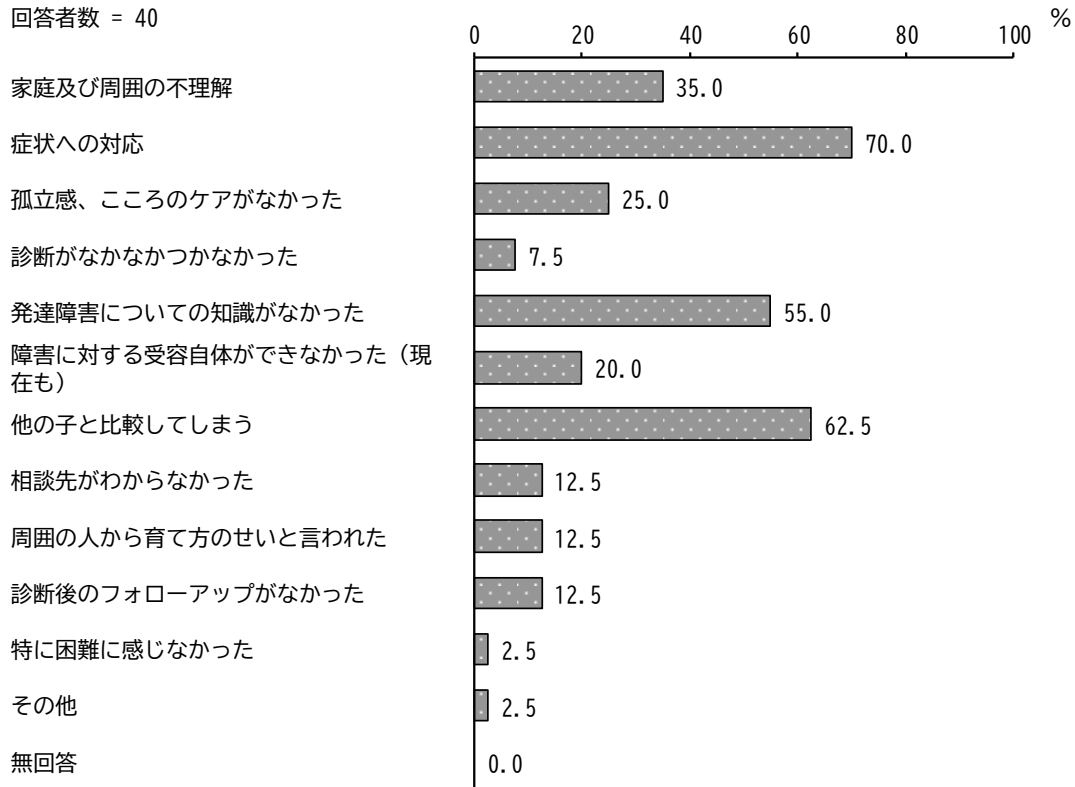
単位：%

区分	回答者数 (人)	学習面で著しい困難を示す	行動面で著しい困難を示す	学習面と行動面ともに著しい困難を示す	特に困っていない	その他	無回答
全体	40	12.5	7.5	55.0	10.0	12.5	2.5
3歳未満	—	—	—	—	—	—	—
3歳～就学前	4	—	25.0	75.0	—	—	—
小学生 (1～3年)	8	12.5	25.0	50.0	12.5	—	—
小学生 (4～6年)	9	—	—	66.7	11.1	22.2	—
中学生	10	30.0	—	50.0	10.0	—	10.0
中学校卒業後 (15～17歳)	9	11.1	—	44.4	11.1	33.3	—

問9 子どもの障害に気づいてから診断を受けて、障害を受け入れる過程で、どのようなことが困難に感じましたか。[いくつでも○]

「症状への対応」の割合が 70.0%と最も多く、次いで「他の子と比較してしまう」の割合が 62.5%、「発達障害についての知識がなかった」の割合が 55.0%となっています。

回答者数 = 40



【年齢区分別】

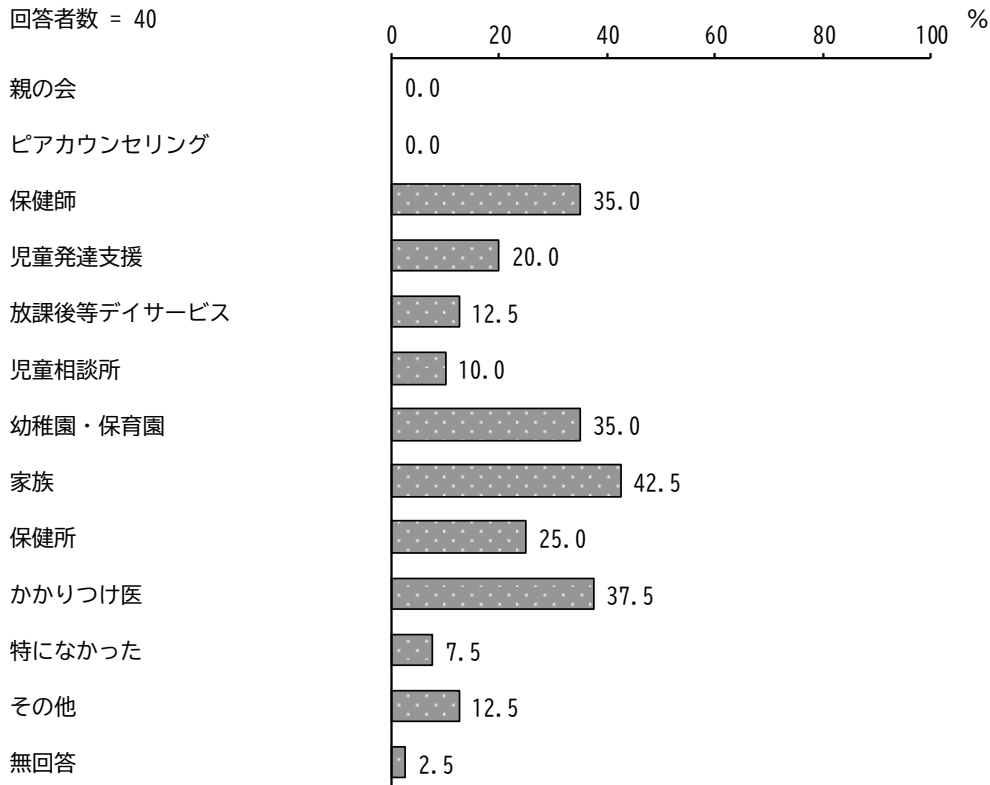
子どもの障害に気づいてから診断を受けて、どのようなことが困難に感じたかについて、3歳～就学前、中学生は「発達障害についての知識がなかった」（順に75.0%、80.0%）、小学生（1～3年）は「他の子と比較してしまう」（87.5%）、小学生（4～6年）、中学校卒業後（15～17歳）は「症状への対応」（共に77.8%）が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数（人）	家庭及び周囲の不理解	症状への対応	孤立感、こころのケアがなかった	診断がなかなかつかなかった	発達障害についての知識がなかった	障害に対する受容自体ができなかった（現在も）	他の子と比較してしまう	相談先がわからなかった	周囲の人から育て方のせいと言われた	診断後のフォローアップがなかった	特に困難に感じなかった	その他	無回答
全体	40	35.0	70.0	25.0	7.5	55.0	20.0	62.5	12.5	12.5	12.5	2.5	2.5	—
3歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3歳～就学前	4	—	50.0	50.0	25.0	75.0	25.0	50.0	50.0	—	25.0	—	—	—
小学生（1～3年）	8	37.5	62.5	25.0	—	62.5	25.0	87.5	25.0	—	12.5	—	—	—
小学生（4～6年）	9	22.2	77.8	22.2	11.1	33.3	11.1	55.6	—	11.1	11.1	—	—	—
中学生	10	30.0	70.0	30.0	10.0	80.0	40.0	70.0	10.0	20.0	10.0	—	10.0	—
中学校卒業後（15～17歳）	9	66.7	77.8	11.1	—	33.3	—	44.4	—	22.2	11.1	11.1	—	—

問 10 気づきから診断に至る過程で、どのような支援（者）が助けとなりましたか。

「家族」の割合が 42.5%と最も多く、次いで「かかりつけ医」の割合が 37.5%、「保健師」、  
「幼稚園・保育園」の割合が 35.0%となっています。



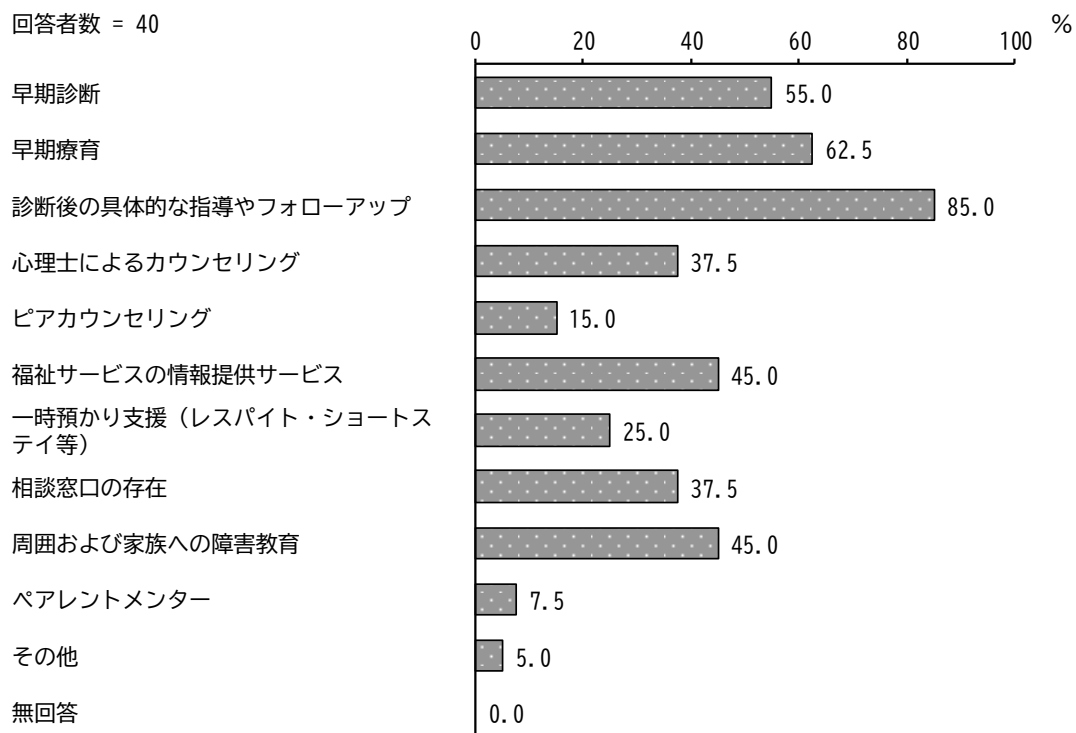
【年齢区分別】

単位：%

区分	回答者数（人）	親の会	ピアカウンセリング	保健師	児童発達支援	放課後等デイサービス	児童相談所	幼稚園・保育園	家族	保健所	かかりつけ医	特になかった	その他	無回答
全体	40	—	—	35.0	20.0	12.5	10.0	35.0	42.5	25.0	37.5	7.5	12.5	2.5
3歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3歳～就学前	4	—	—	50.0	25.0	—	—	25.0	—	25.0	50.0	25.0	—	—
小学生（1～3年）	8	—	—	37.5	25.0	—	—	37.5	75.0	37.5	12.5	12.5	—	—
小学生（4～6年）	9	—	—	55.6	33.3	11.1	11.1	44.4	44.4	33.3	55.6	—	—	—
中学生	10	—	—	40.0	10.0	20.0	20.0	50.0	40.0	30.0	30.0	—	20.0	10.0
中学校卒業後（15～17歳）	9	—	—	—	11.1	22.2	11.1	11.1	33.3	—	44.4	11.1	33.3	—

問 11 お子さんの発達障害を受け入れるまでに、どのような支援が必要だと思いますか。

「診断後の具体的な指導やフォローアップ」の割合が 85.0%と最も多く、次いで「早期療育」の割合が 62.5%、「早期診断」の割合が 55.0%となっています。



【年齢区分別】

単位：％

区分	回答者数(人)	早期診断	早期療育	診断後の具体的な指導やフォローアップ	心理士によるカウンセリング	ピアカウンセリング	福祉サービスの情報提供サービス	一時預かり支援(レスパイト・ショートステイ等)	相談窓口の存在	周囲および家族への障害教育	ペアレントメンター	その他	無回答
全体	40	55.0	62.5	85.0	37.5	15.0	45.0	25.0	37.5	45.0	7.5	5.0	—
3歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3歳～就学前	4	25.0	25.0	100.0	25.0	25.0	25.0	25.0	—	25.0	—	—	—
小学生(1～3年)	8	87.5	100.0	75.0	50.0	25.0	62.5	50.0	37.5	62.5	12.5	12.5	—
小学生(4～6年)	9	55.6	44.4	88.9	44.4	33.3	55.6	44.4	66.7	66.7	11.1	11.1	—
中学生	10	40.0	70.0	90.0	40.0	—	40.0	10.0	40.0	20.0	10.0	—	—
中学校卒業後(15～17歳)	9	55.6	55.6	77.8	22.2	—	33.3	—	22.2	44.4	—	—	—

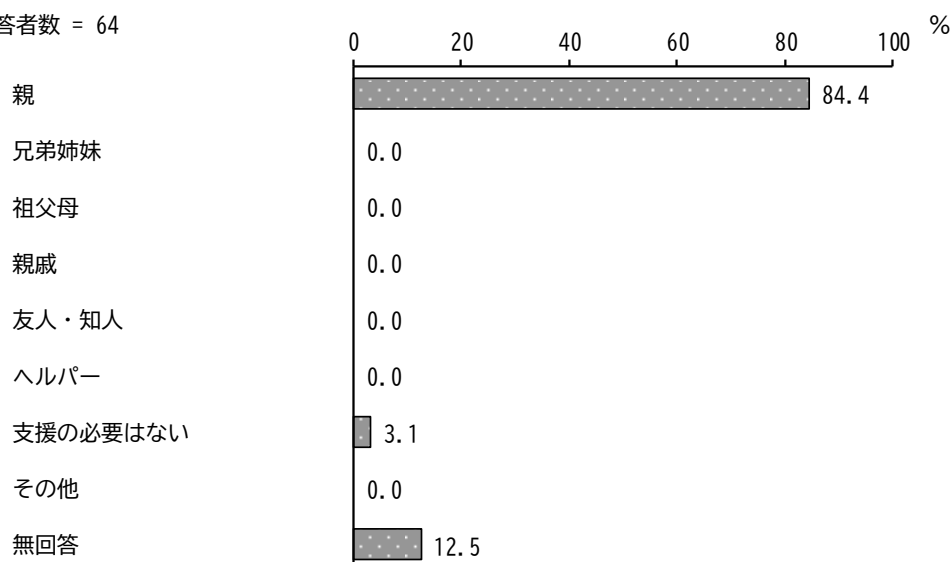


## (4) 日常生活について

問 12 お子さんの主な支援者は誰ですか。[1つに○]

「親」の割合が84.4%と最も多くなっています。

回答者数 = 64



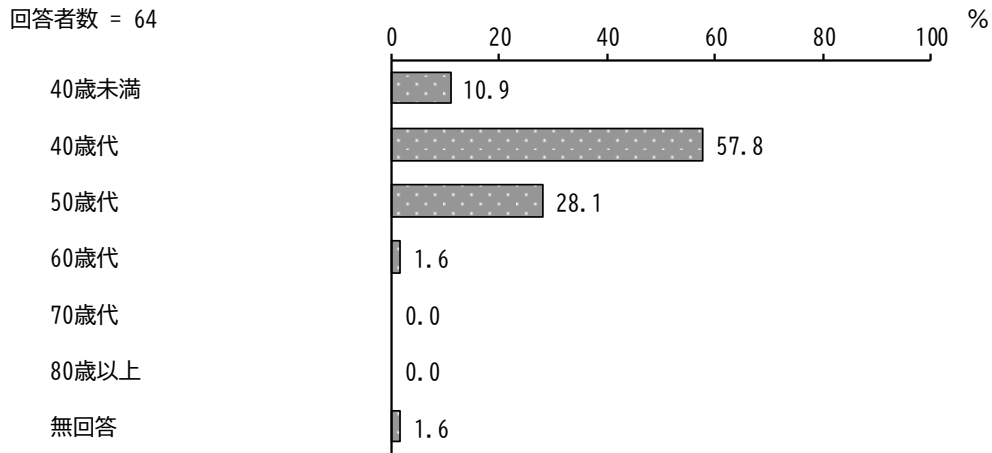
### 【障害種別】

単位：%

区分	回答者数 (人)	親	兄弟姉妹	祖父母	親戚	友人・知人	ヘルパー	支援の必要はない	その他	無回答
全体	64	84.4	—	—	—	—	—	3.1	—	12.5
身体障害者	15	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
知的障害者	49	87.8	—	—	—	—	—	4.1	—	8.2
精神障害者	8	75.0	—	—	—	—	—	—	—	25.0
難病患者	4	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—

問 13 お子さんの主な支援者の年齢はどれですか。[1つに○]

「40歳代」の割合が57.8%と最も多く、次いで「50歳代」の割合が28.1%、「40歳未満」の割合が10.9%となっています。



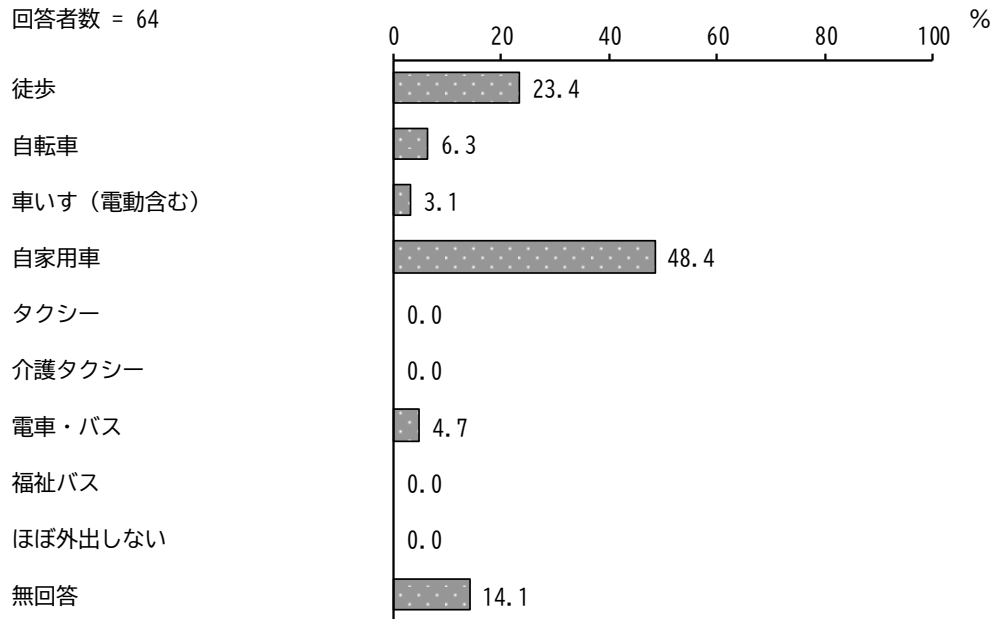
【障害種別】

単位：%

区分	回答者数(人)	40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
全体	64	10.9	57.8	28.1	1.6	—	—	1.6
身体障害者	15	26.7	46.7	26.7	—	—	—	—
知的障害者	49	6.1	57.1	34.7	2.0	—	—	—
精神障害者	8	—	87.5	12.5	—	—	—	—
難病患者	4	—	75.0	25.0	—	—	—	—

問 14 お子さんが外出する際の最も多い手段は何ですか。[1つに○]

「自家用車」の割合が48.4%と最も多く、次いで「徒歩」の割合が23.4%となっています。



【障害種別】

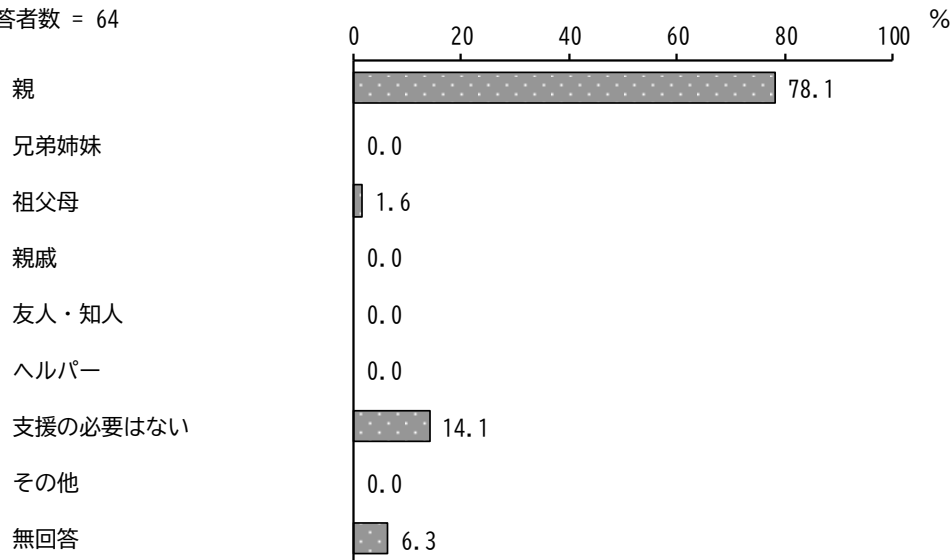
単位：%

区分	回答者数 (人)	徒歩	自転車	車いす (電動含む)	自家用車	タクシー	介護タクシー	電車・バス	福祉バス	ほぼ外出しない	無回答
全体	64	23.4	6.3	3.1	48.4	—	—	4.7	—	—	14.1
身体障害者	15	20.0	6.7	13.3	33.3	—	—	6.7	—	—	20.0
知的障害者	49	26.5	8.2	2.0	49.0	—	—	4.1	—	—	10.2
精神障害者	8	12.5	—	—	50.0	—	—	12.5	—	—	25.0
難病患者	4	50.0	25.0	—	25.0	—	—	—	—	—	—

問 15 お子さんが外出するときの主な支援者は誰ですか。[1つに〇]

「親」の割合が78.1%と最も多く、次いで「支援の必要はない」の割合が14.1%となっています。

回答者数 = 64



【障害種別】

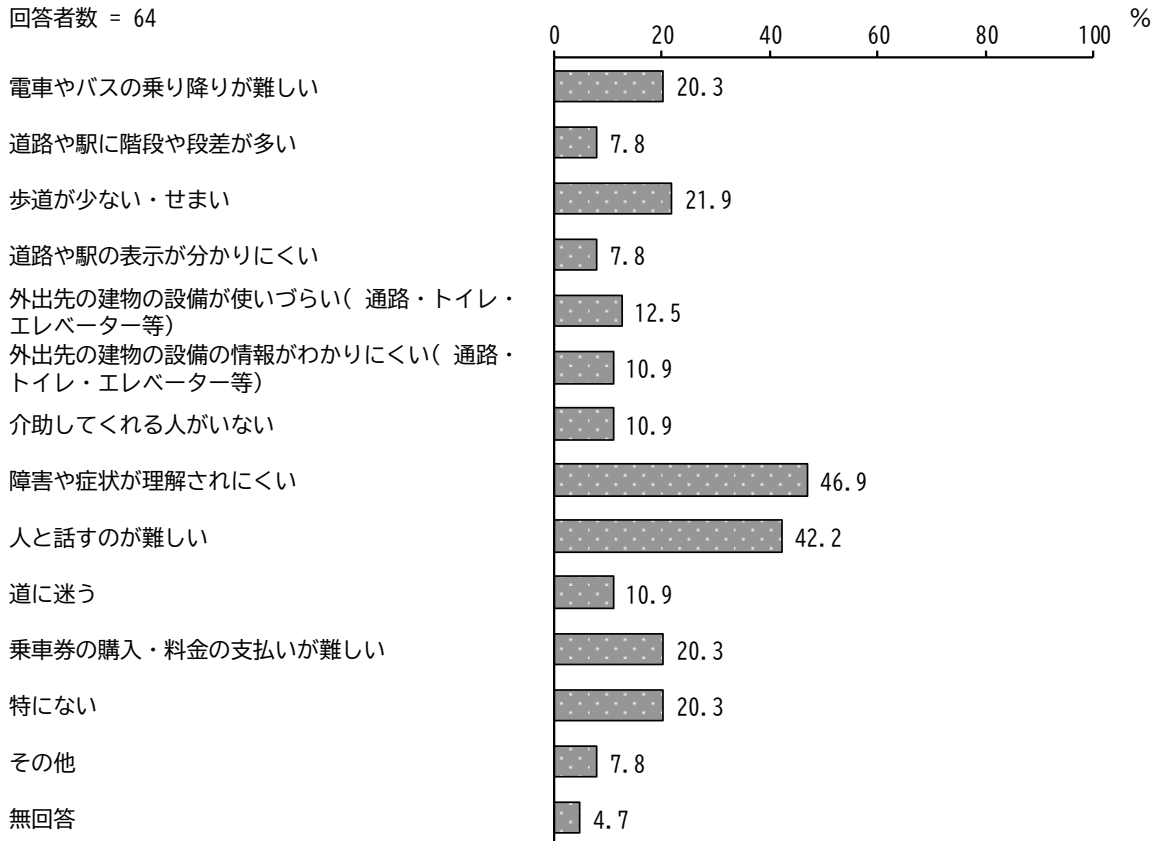
単位：%

区分	回答者数(人)	親	兄弟姉妹	祖父母	親戚	友人・知人	ヘルパー	支援の必要はない	その他	無回答
全体	64	78.1	—	1.6	—	—	—	14.1	—	6.3
身体障害者	15	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
知的障害者	49	75.5	—	2.0	—	—	—	16.3	—	6.1
精神障害者	8	75.0	—	—	—	—	—	12.5	—	12.5
難病患者	4	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—

問 16 お子さんが外出のときに、お子さんが（あなたが）困ることはありますか。（特に市内で）[いくつでも○]

「障害や症状が理解されにくい」の割合が 46.9%と最も多く、次いで「人と話すのが難しい」の割合が 42.2%、「歩道が少ない・せまい」の割合が 21.9%となっています。

回答者数 = 64



【障害種別】

おさんが外出のときに、おさんが（あなたが）困ることについては、全ての障害で「障害や症状が理解されにくい」が最も多くなっています。

単位：%

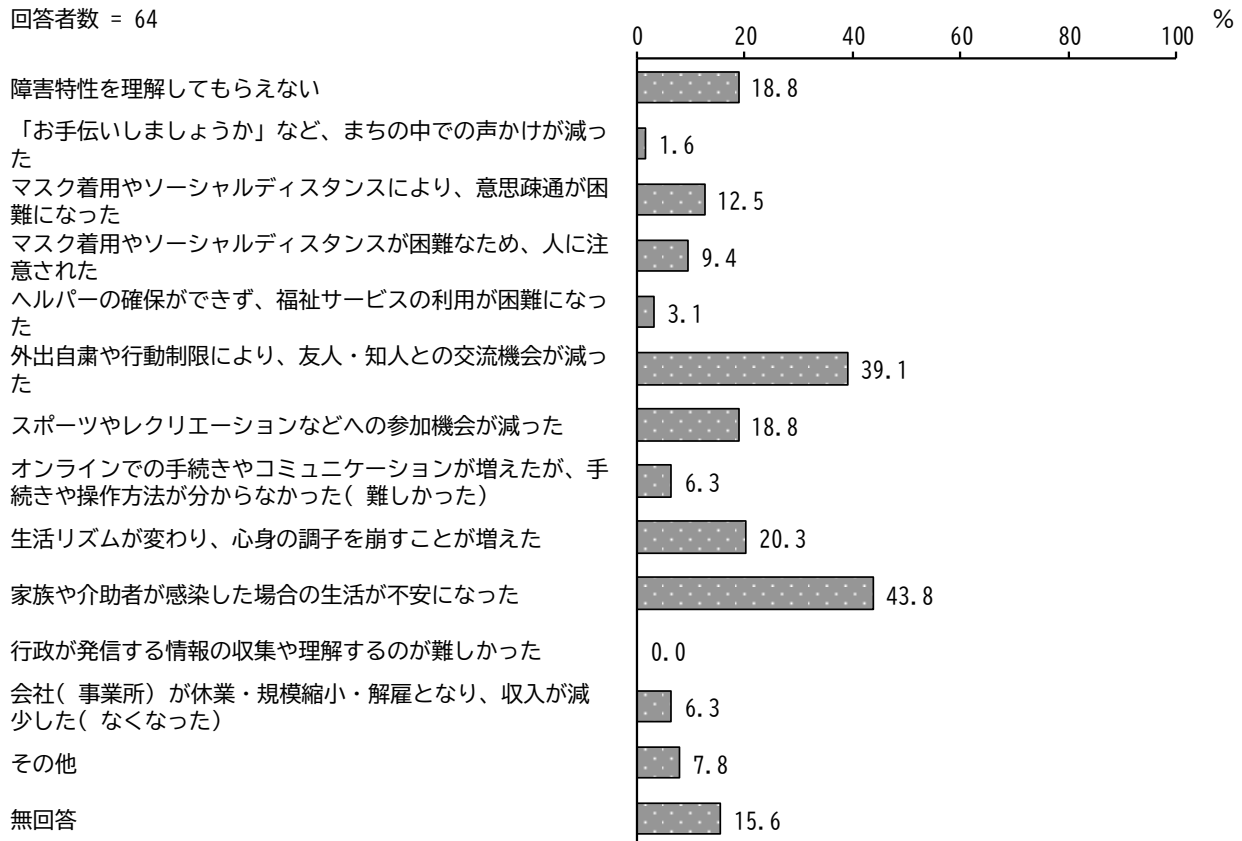
区分	回答者数（人）	電車やバスの乗り降りが難しい	道路や駅に階段や段差が多い	歩道が少ない・せまい	道路や駅の表示が分かりにくい	外出先の建物の設備が使いづらい（通路・トイレ・エレベーター等）	外出先の建物の設備の情報がわかりにくい（通路・トイレ・エレベーター等）	介助してくれる人がいない
全体	64	20.3	7.8	21.9	7.8	12.5	10.9	10.9
身体障害者	15	33.3	26.7	33.3	13.3	33.3	26.7	26.7
知的障害者	49	18.4	6.1	18.4	6.1	10.2	10.2	12.2
精神障害者	8	25.0	12.5	37.5	37.5	25.0	25.0	12.5
難病患者	4	50.0	—	—	—	25.0	—	—

区分	障害や症状が理解されにくい	人と話すのが難しい	道に迷う	乗車券の購入・料金の支払いが難しい	特にない	その他	無回答
全体	46.9	42.2	10.9	20.3	20.3	7.8	4.7
身体障害者	40.0	33.3	13.3	26.7	13.3	—	6.7
知的障害者	55.1	46.9	12.2	22.4	20.4	10.2	2.0
精神障害者	62.5	62.5	25.0	25.0	12.5	12.5	—
難病患者	75.0	50.0	25.0	50.0	—	—	—

問 17 新型コロナウイルス感染症の影響で、お子さんが（あなたが）日常生活で困ったことは何ですか。[いくつでも○]

「家族や介助者が感染した場合の生活が不安になった」の割合が 43.8%と最も多く、次いで「外出自粛や行動制限により、友人・知人との交流機会が減った」の割合が 39.1%、「生活リズムが変わり、心身の調子を崩すことが増えた」の割合が 20.3%となっています。

回答者数 = 64



【障害種別】

新型コロナウイルス感染症の影響については、身体障害者、知的障害者、難病患者は「家族や介助者が感染した場合の生活が不安になった」（順に 60.0%、49.0%、100%）、精神障害者は、「外出自粛や行動制限により、友人・知人との交流機会が減った」（50.0%）が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数（人）	障害特性を理解してもらえない	「お手伝いしましょうか」など、ま ちの中での声かけが減った	マスク着用やソーシャルディスタン スにより、意思疎通が困難になった	マスク着用やソーシャルディスタン スが困難なため、人に注意された	ヘルパーの確保ができず、福祉サ ビスの利用が困難になった	外出自粛や行動制限により、友人・ 知人との交流機会が減った	スポーツやレクリエーションなどハ の参加機会が減った
全体	64	18.8	1.6	12.5	9.4	3.1	39.1	18.8
身体障害者	15	6.7	—	26.7	13.3	6.7	40.0	20.0
知的障害者	49	22.4	2.0	10.2	12.2	4.1	44.9	22.4
精神障害者	8	12.5	—	25.0	25.0	12.5	50.0	12.5
難病患者	4	25.0	—	25.0	25.0	—	50.0	25.0

区分	オンラインでの手続きやコミュニテ ーションが増えたが、手続きや操作 方法が分からなかった（難しかった）	生活リズムが変わり、心身の調子を 崩すことが増えた	家族や介助者が感染した場合の生活 が不安になった	行政が発信する情報の収集や理解す るのが難しかった	会社（事業所）が休業・規模縮小・解 雇となり、収入が減少した（なくなっ た）	その他	無回答
全体	6.3	20.3	43.8	—	6.3	7.8	15.6
身体障害者	6.7	20.0	60.0	—	6.7	13.3	13.3
知的障害者	8.2	26.5	49.0	—	4.1	6.1	8.2
精神障害者	—	25.0	37.5	—	25.0	—	25.0
難病患者	—	75.0	100.0	—	—	—	—

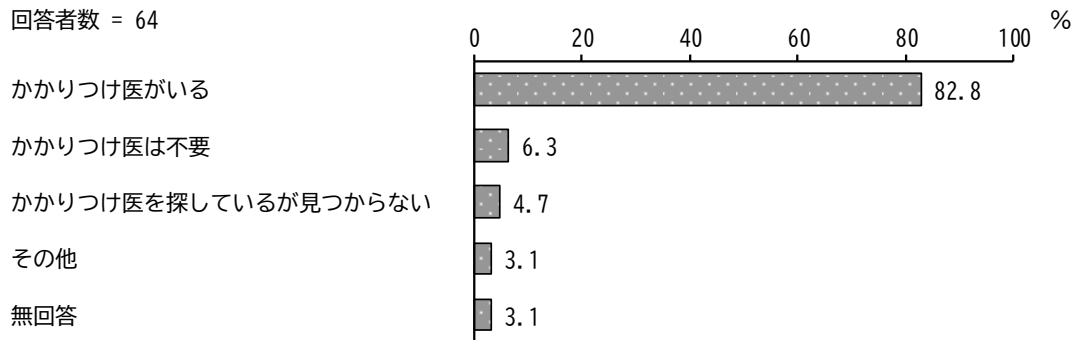


## (5) 健康・医療について

問 18 お子さんに、かかりつけ医はいますか。[1つに〇]

「かかりつけ医がいる」の割合が 82.8%と最も多くなっています。

回答者数 = 64



### 【障害種別】

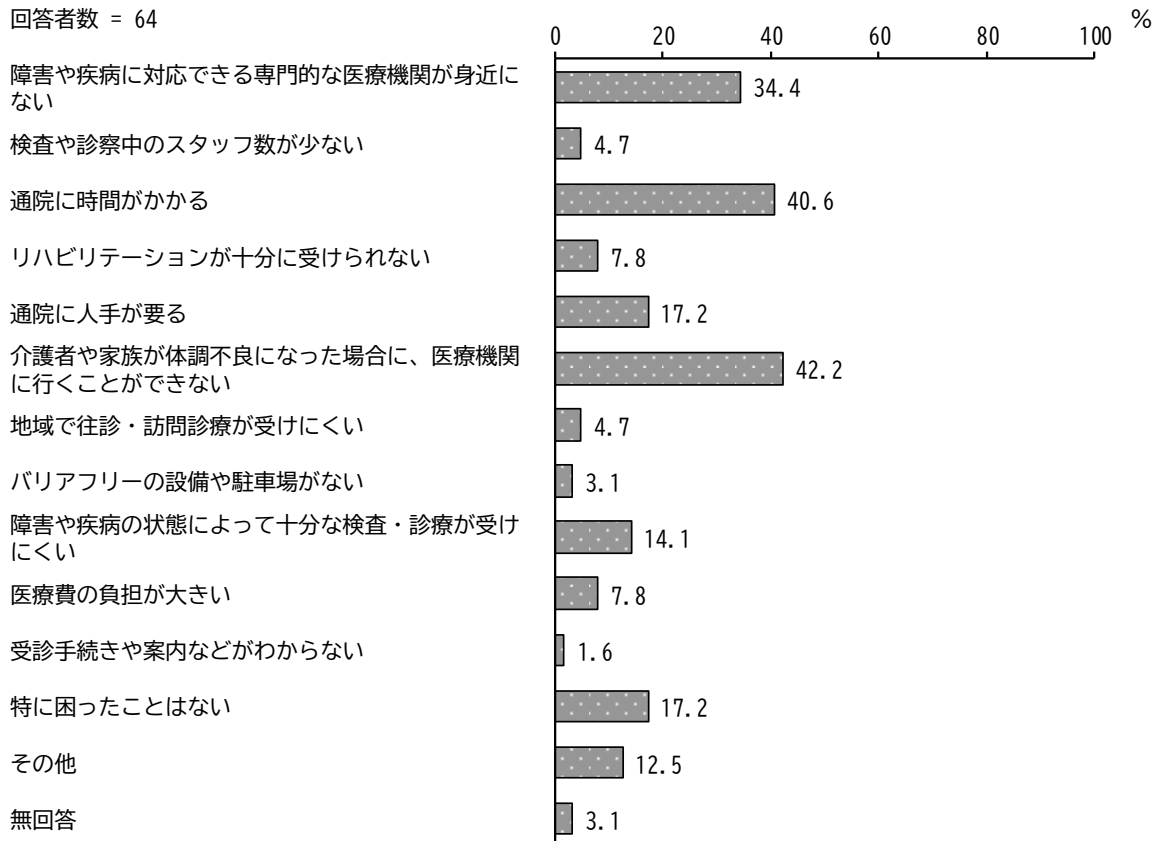
単位：%

区分	回答者数(人)	る か か り つ け 医 が い	要 か か り つ け 医 は 不	ら し て い る が 見 つ か ら ない	か か り つ け 医 を 探 し て い る が 見 つ か ら ない	そ の 他	無 回 答
全体	64	82.8	6.3	4.7	3.1	3.1	
身体障害者	15	100.0	—	—	—	—	
知的障害者	49	81.6	6.1	6.1	4.1	2.0	
精神障害者	8	100.0	—	—	—	—	
難病患者	4	100.0	—	—	—	—	

問 19 お子さんの健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。  
 [いくつかでも○]

「介護者や家族が体調不良になった場合に、医療機関に行くことができない」の割合が 42.2%と最も多く、次いで「通院に時間がかかる」の割合が 40.6%、「障害や疾病に対応できる専門的な医療機関が身近にない」の割合が 34.4%となっています。

回答者数 = 64



【障害種別】

お子さんの健康管理や医療について、困ったり不便に思うことについては、身体障害者は「通院に時間がかかる」(53.3%)、知的障害者、精神障害者、難病患者は「介護者や家族が体調不良になった場合に、医療機関に行くことができない」(順に 46.9%、50.0%、75.0%) が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数(人)	障害や疾病に対応できる専門的な医療機関が身近にない	検査や診察中のスタッフ数が少ない	通院に時間がかかる	リハビリテーションが十分に受けられない	通院に人手が要る	介護者や家族が体調不良になった場合に、医療機関に行くことができない	地域で往診・訪問診療が受けにくい
全体	64	34.4	4.7	40.6	7.8	17.2	42.2	4.7
身体障害者	15	46.7	—	53.3	13.3	20.0	46.7	6.7
知的障害者	49	36.7	6.1	42.9	8.2	16.3	46.9	4.1
精神障害者	8	25.0	—	37.5	—	37.5	50.0	12.5
難病患者	4	75.0	—	50.0	—	—	75.0	—

区分	バリアフリーの設備や駐車場がない	障害や疾病の状態によって十分な検査・診療が受けにくい	医療費の負担が大きい	受診手続きや案内などがわからない	特に困ったことはない	その他	無回答
全体	3.1	14.1	7.8	1.6	17.2	12.5	3.1
身体障害者	13.3	20.0	13.3	6.7	6.7	13.3	6.7
知的障害者	2.0	16.3	10.2	2.0	18.4	8.2	—
精神障害者	—	25.0	12.5	—	12.5	37.5	—
難病患者	—	—	25.0	—	—	25.0	—

【障害の種類または病名別】

単位：％

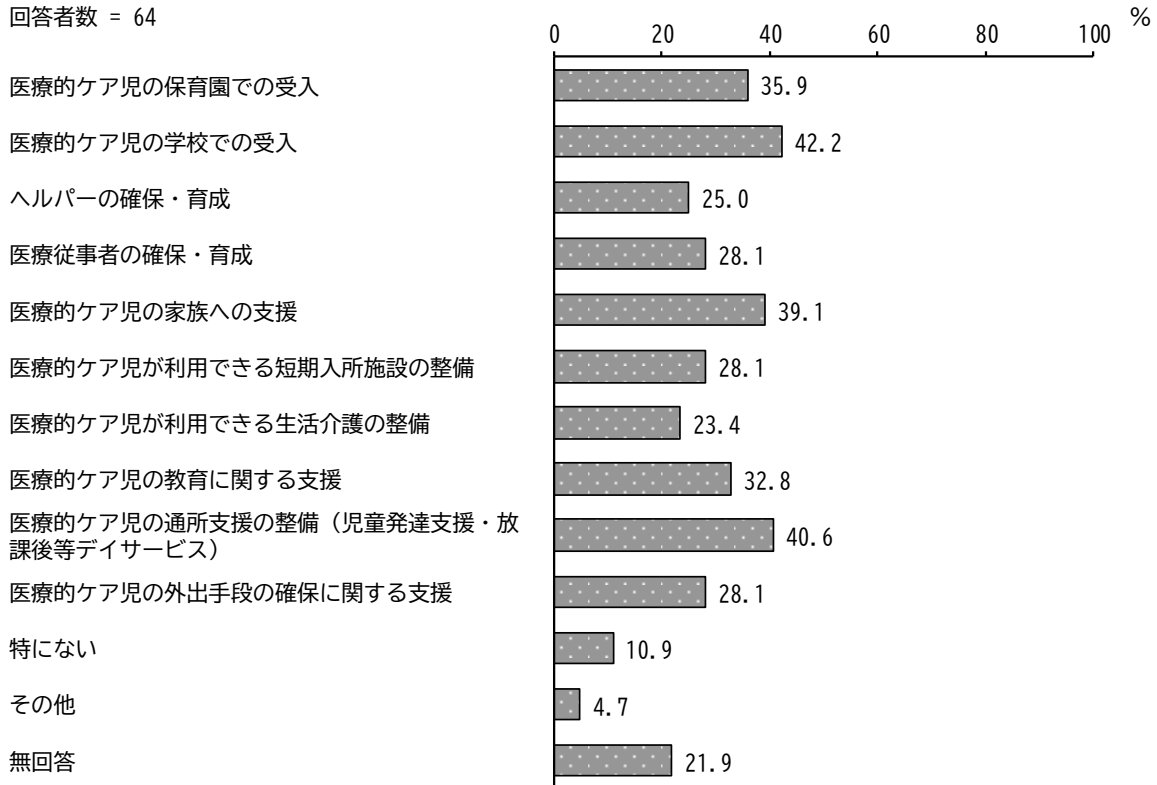
区分	回答者数（人）	障害や疾病に対応できる専門的な医療機関が身近にない	検査や診察中のスタッフ数が少ない	通院に時間がかかる	リハビリテーションが十分に受けられない	通院に人手が要る	介護者や家族が体調不良になった場合に、医療機関に行くことができない	地域で往診・訪問診療が受けにくい
全体	64	34.4	4.7	40.6	7.8	17.2	42.2	4.7
肢体不自由	9	55.6	—	33.3	22.2	11.1	55.6	11.1
視覚障害	1	100.0	—	100.0	—	—	100.0	—
聴覚障害	2	50.0	—	100.0	—	—	50.0	—
音声・言語障害	1	—	—	—	—	—	—	—
内部障害	2	—	—	50.0	—	—	50.0	—
知的障害	39	38.5	5.1	43.6	7.7	20.5	53.8	5.1
統合失調症	1	100.0	—	100.0	—	—	100.0	—
うつ病	—	—	—	—	—	—	—	—
双極性障害	—	—	—	—	—	—	—	—
神経症	—	—	—	—	—	—	—	—
てんかん	3	100.0	—	33.3	—	33.3	100.0	66.7
睡眠障害	1	—	—	100.0	—	—	100.0	—
発達障害	40	35.0	7.5	32.5	7.5	20.0	37.5	5.0
高次脳機能障害	—	—	—	—	—	—	—	—
難病	8	87.5	—	62.5	12.5	12.5	62.5	12.5

区分	バリアフリーの設備や駐車場がない	障害や疾病の状態によって十分な検査・診療が受けにくい	医療費の負担が大きい	受診手続きや案内などがわからない	特に困ったことはない	その他	無回答
全体	3.1	14.1	7.8	1.6	17.2	12.5	3.1
肢体不自由	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1	—	11.1
視覚障害	—	—	—	—	—	—	—
聴覚障害	—	—	—	—	—	50.0	—
音声・言語障害	—	—	—	—	100.0	—	—
内部障害	—	—	—	—	—	50.0	—
知的障害	2.6	20.5	12.8	2.6	10.3	10.3	—
統合失調症	—	—	—	—	—	—	—
うつ病	—	—	—	—	—	—	—
双極性障害	—	—	—	—	—	—	—
神経症	—	—	—	—	—	—	—
てんかん	33.3	66.7	66.7	—	—	—	—
睡眠障害	—	100.0	—	—	—	—	—
発達障害	—	15.0	7.5	—	22.5	12.5	—
高次脳機能障害	—	—	—	—	—	—	—
難病	12.5	12.5	12.5	—	—	—	—

問 20 医療的ケアが必要な児童に関して、どのような支援の充実が必要だと思いますか。[いくつかでも○]

「医療的ケア児の学校での受入」の割合が 42.2%と最も多く、次いで「医療的ケア児の通所支援の整備（児童発達支援・放課後等デイサービス）」の割合が 40.6%、「医療的ケア児の家族への支援」の割合が 39.1%となっています。

回答者数 = 64



【障害種別】

医療的ケアが必要な児童に関して、どのような支援の充実が必要かについては、身体障害者、精神障害者は「医療的ケア児の通所支援の整備（児童発達支援・放課後等デイサービス）」（順に60.0%、62.5%）、知的障害者は「医療的ケア児の家族への支援」（38.8%）が最も多くなっています。

単位：％

区分	回答者数（人）	医療的ケア児の保育園での受入	医療的ケア児の学校での受入	ヘルパーの確保・育成	医療従事者の確保・育成	医療的ケア児の家族への支援	医療的ケア児が利用できる短期入所施設の整備	医療的ケア児が利用できる生活介護の整備	医療的ケア児の教育に関する支援	医療的ケア児の発達支援・放課後等デイサービス	医療的ケア児の通所支援の整備（児童発達支援・放課後等デイサービス）	医療的ケア児の外出手段の確保に関する支援	特になし	その他	無回答
全体	64	35.9	42.2	25.0	28.1	39.1	28.1	23.4	32.8	40.6	28.1	10.9	4.7	21.9	
身体障害者	15	46.7	53.3	13.3	33.3	53.3	53.3	40.0	40.0	60.0	40.0	13.3	—	6.7	
知的障害者	49	30.6	36.7	28.6	28.6	38.8	22.4	20.4	30.6	34.7	24.5	12.2	6.1	20.4	
精神障害者	8	25.0	50.0	25.0	50.0	50.0	37.5	25.0	50.0	62.5	25.0	—	—	37.5	
難病患者	4	50.0	75.0	25.0	50.0	75.0	75.0	50.0	75.0	50.0	50.0	—	—	—	

【障害の種類または病名別】

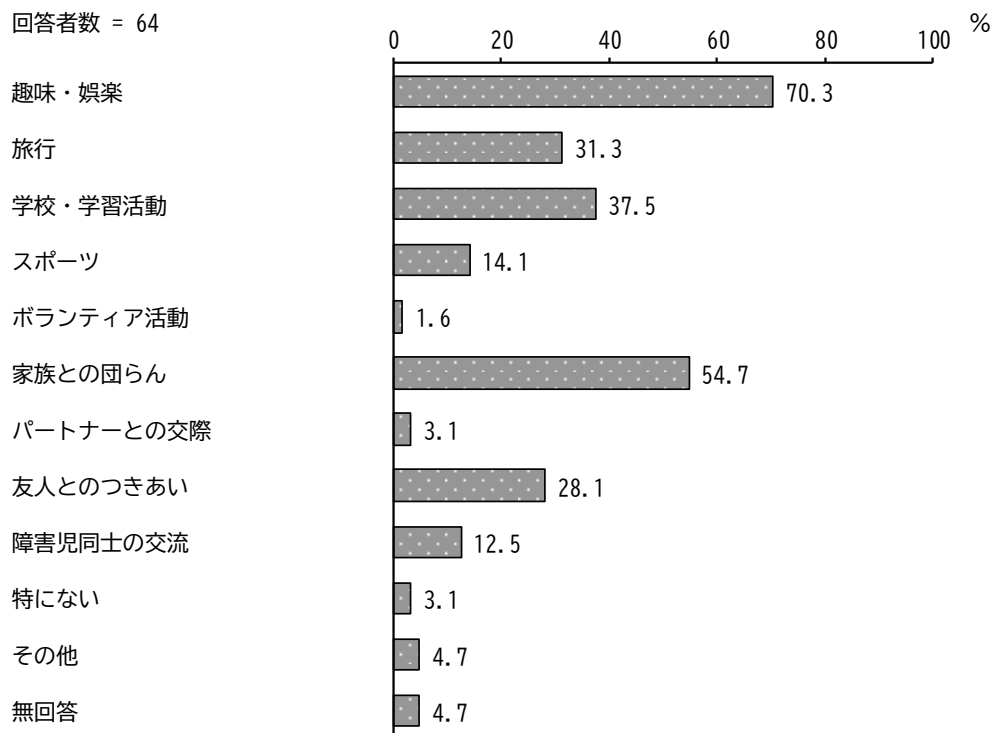
単位：％

区分	回答者数(人)	医療的ケア児の保育園での受入	医療的ケア児の学校での受入	ヘルパーの確保・育成	医療従事者の確保・育成	医療的ケア児の家族への支援	医療的ケア児が利用できる短期入所施設の整備	医療的ケア児が利用できる生活介護の整備	医療的ケア児の教育に関する支援	医療的ケア児の通所支援の整備(児童発達支援・放課後等デイサービス)	医療的ケア児の外出手段の確保に関する支援	特になし	その他	無回答
全体	64	35.9	42.2	25.0	28.1	39.1	28.1	23.4	32.8	40.6	28.1	10.9	4.7	21.9
肢体不自由	9	66.7	55.6	22.2	44.4	66.7	66.7	55.6	33.3	66.7	66.7	—	—	11.1
視覚障害	1	100.0	100.0	—	—	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	—	—
聴覚障害	2	50.0	50.0	—	—	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	—	—
音声・言語障害	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0
内部障害	2	—	50.0	—	50.0	—	—	—	50.0	—	—	50.0	—	—
知的障害	39	25.6	35.9	25.6	25.6	38.5	20.5	15.4	28.2	33.3	23.1	10.3	7.7	20.5
統合失調症	1	—	100.0	—	—	100.0	—	—	100.0	100.0	—	—	—	—
うつ病	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
双極性障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
神経症	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
てんかん	3	66.7	33.3	33.3	66.7	100.0	100.0	66.7	33.3	66.7	66.7	—	—	—
睡眠障害	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0
発達障害	40	37.5	42.5	27.5	27.5	32.5	25.0	20.0	32.5	37.5	25.0	12.5	5.0	22.5
高次脳機能障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
難病	8	75.0	62.5	25.0	50.0	87.5	87.5	62.5	50.0	75.0	62.5	—	—	—

## (6) 日頃の活動について

### 問 21 お子さんの楽しみや生きがいは何ですか。[いくつでも○]

「趣味・娯楽」の割合が70.3%と最も多く、次いで「家族との団らん」の割合が54.7%、「学校・学習活動」の割合が37.5%となっています。



#### 【障害種別】

お子さんの楽しみや生きがいについて、身体障害者は「家族との団らん」(73.3%)、知的障害者、精神障害者、難病患者は「趣味・娯楽」(順に 69.4%、62.5%、75.0%) が最も多くなっています。

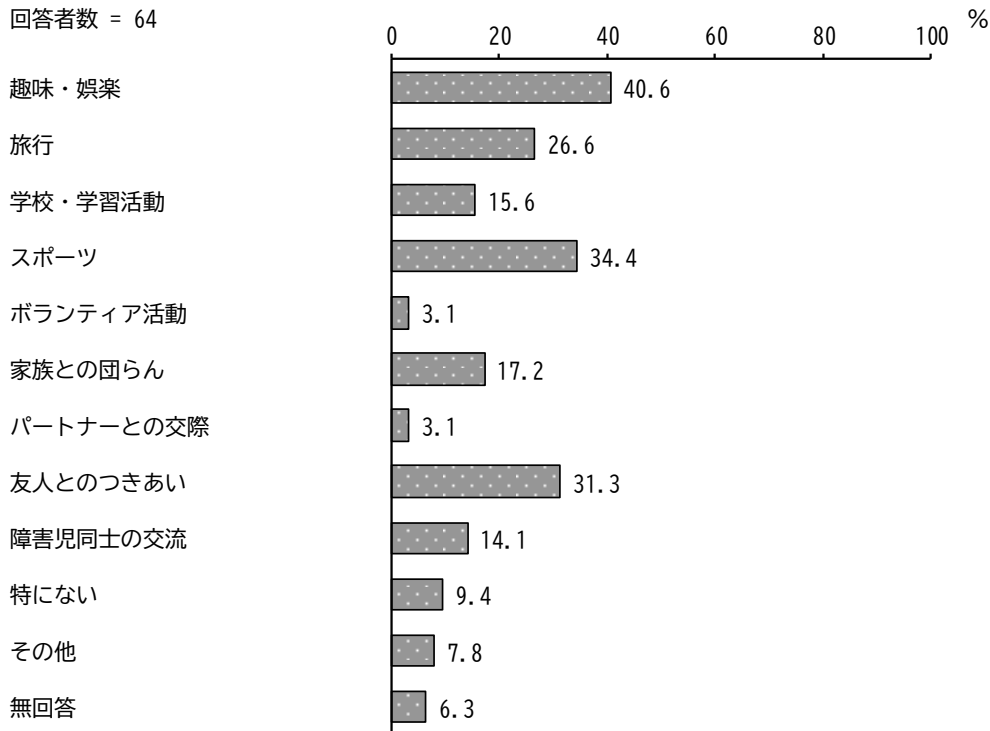
単位：%

区分	回答者数(人)	趣味・娯楽	旅行	学校・学習活動	スポーツ	ボランティア活動	家族との団らん	パートナーとの交際	友人とのつきあい	障害児同士の交流	特にない	その他	無回答
全体	64	70.3	31.3	37.5	14.1	1.6	54.7	3.1	28.1	12.5	3.1	4.7	4.7
身体障害者	15	60.0	46.7	53.3	20.0	—	73.3	—	46.7	13.3	—	6.7	—
知的障害者	49	69.4	24.5	38.8	12.2	2.0	55.1	4.1	22.4	12.2	4.1	6.1	4.1
精神障害者	8	62.5	37.5	12.5	12.5	—	37.5	—	25.0	12.5	—	12.5	—
難病患者	4	75.0	25.0	50.0	25.0	—	75.0	—	50.0	25.0	—	—	—



問 22 お子さんが今後やってみたいことはありますか。[いくつでも○]

「趣味・娯楽」の割合が 40.6%と最も多く、次いで「スポーツ」の割合が 34.4%、「友人とのつきあい」の割合が 31.3%となっています。



【障害種別】

お子さんが今後やってみたいことについては、身体障害者は「スポーツ」(順に 40.0%、62.5%、75.0%)、知的障害者は「趣味・娯楽」(42.9%) が最も多くなっています。

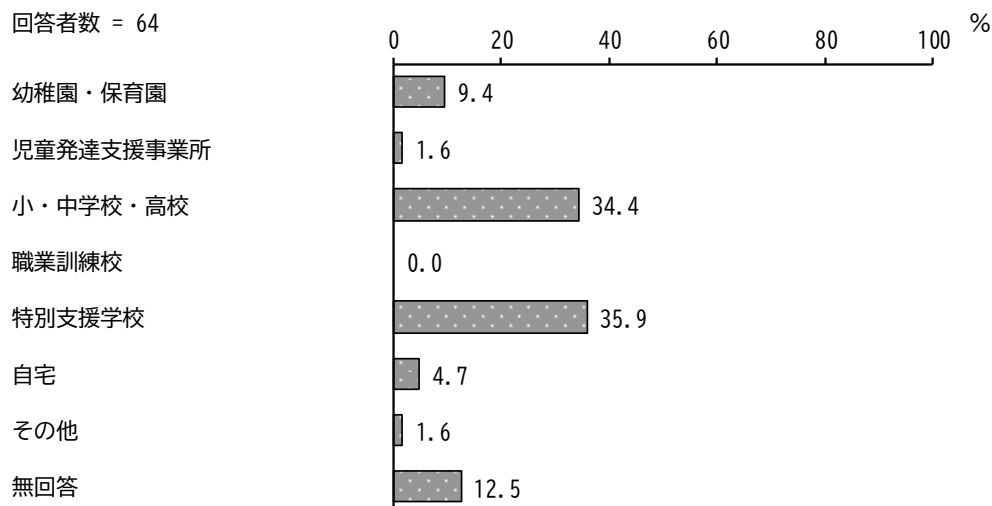
単位：%

区分	回答者数(人)	趣味・娯楽	旅行	学校・学習活動	スポーツ	ボランティア活動	家族との団らん	パートナーとの交際	友人とのつきあい	障害児同士の交流	特にない	その他	無回答
全体	64	40.6	26.6	15.6	34.4	3.1	17.2	3.1	31.3	14.1	9.4	7.8	6.3
身体障害者	15	33.3	26.7	26.7	40.0	—	33.3	—	13.3	26.7	13.3	13.3	6.7
知的障害者	49	42.9	26.5	12.2	30.6	2.0	20.4	4.1	32.7	12.2	10.2	8.2	4.1
精神障害者	8	25.0	50.0	12.5	62.5	12.5	—	—	50.0	12.5	—	12.5	—
難病患者	4	50.0	50.0	50.0	75.0	—	50.0	—	50.0	25.0	—	—	—

問 23 お子さんは日中は主にどこで過ごしていますか。[1つに〇]

「特別支援学校」の割合が 35.9%と最も多く、次いで「小・中学校・高校」の割合が 34.4%となっています。

回答者数 = 64



【障害種別】

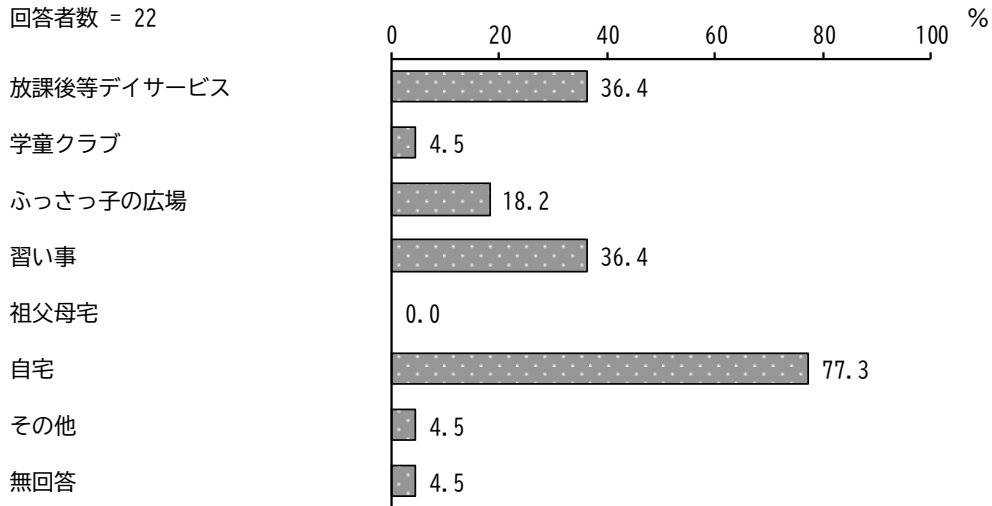
単位：%

区分	回答者数(人)	幼稚園・保育園	児童発達支援事業所	小・中学校・高校	職業訓練校	特別支援学校	自宅	その他	無回答
全体	64	9.4	1.6	34.4	—	35.9	4.7	1.6	12.5
身体障害者	15	13.3	—	20.0	—	40.0	6.7	—	20.0
知的障害者	49	8.2	2.0	30.6	—	42.9	4.1	—	12.2
精神障害者	8	—	—	50.0	—	37.5	—	12.5	—
難病患者	4	—	—	25.0	—	50.0	—	—	25.0

問 24 問 23 で 3（小・中学校・高校）又は 4（職業訓練校）を選択した方は放課後や休日をどこで過ごしますか。[いくつでも○]

「自宅」の割合が 77.3%と最も多く、次いで「放課後等デイサービス」、「習い事」の割合が 36.4%となっています。

回答者数 = 22



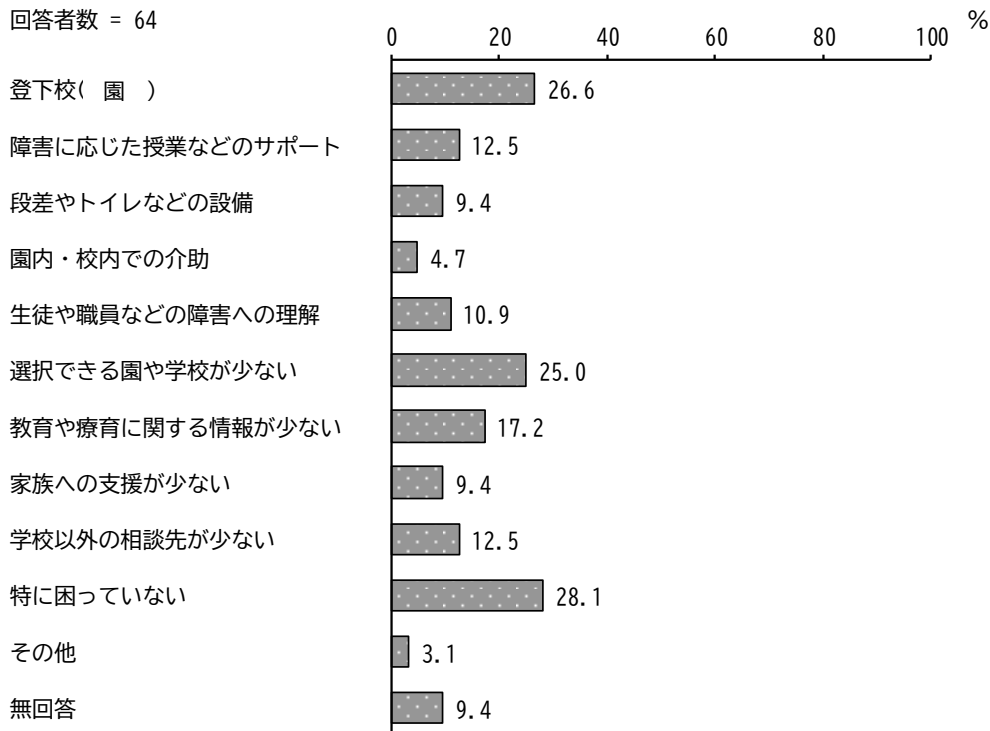
【障害種別】

単位：%

区分	回答者数 (人)	放課後等デイサービス	学童クラブ	ふっさっ子の広場	習い事	祖父母宅	自宅	その他	無回答
全体	22	36.4	4.5	18.2	36.4	—	77.3	4.5	4.5
身体障害者	3	33.3	—	—	33.3	—	100.0	—	—
知的障害者	15	53.3	—	13.3	20.0	—	73.3	—	6.7
精神障害者	4	—	25.0	50.0	75.0	—	75.0	25.0	—
難病患者	1	—	—	—	100.0	—	100.0	—	—

問 25 通園・通学する上で困っていることは、ありますか。[いくつでも○]

「特に困っていない」の割合が 28.1%と最も多く、次いで「登下校(園)」の割合が 26.6%、「選択できる園や学校が少ない」の割合が 25.0%となっています。



【障害種別】

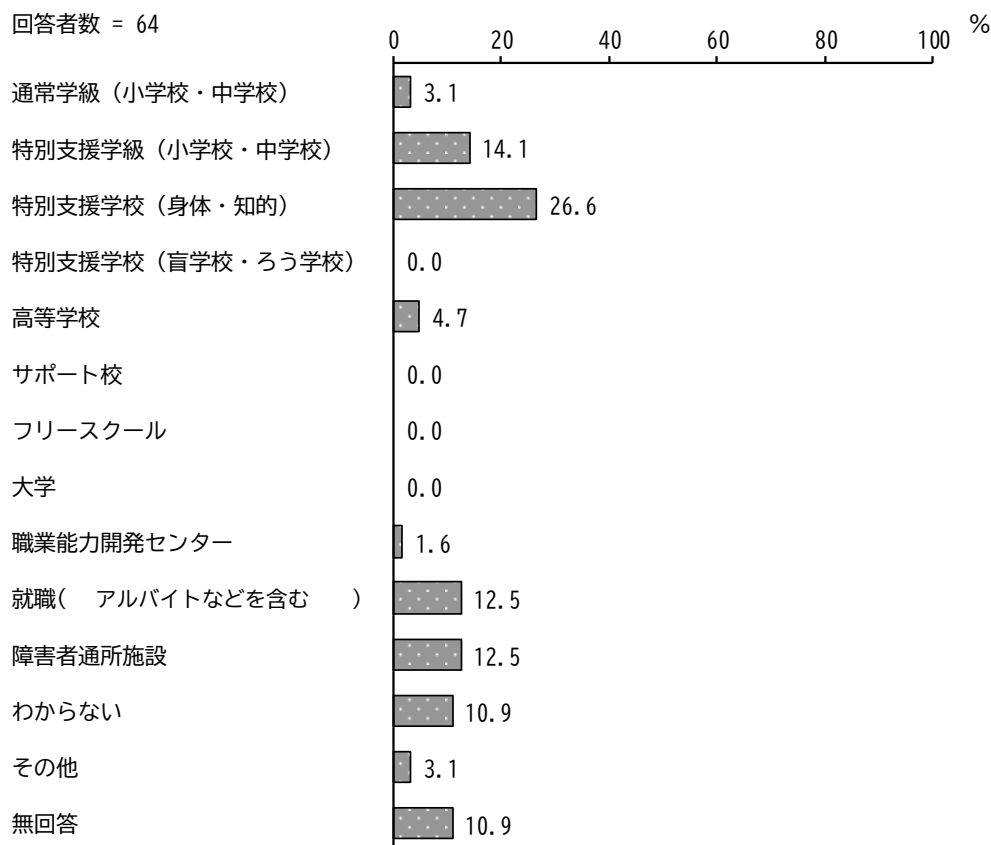
通園・通学する上で困っていることについて、身体障害者は「生徒や職員などの障害への理解」(40.0%)、知的障害者は「特に困っていない」(32.7%)、精神障害者は「登下校(園)」(50.0%)、難病患者は「教育や療育に関する情報が少ない」(75.0%)が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数(人)	登下校(園)	障害に応じた授業などのサポート	段差やトイレなどの設備	園内・校内での介助	生徒や職員などの障害への理解	選択できる園や学校が少ない	教育や療育に関する情報が少ない	家族への支援が少ない	学校以外の相談先が少ない	特に困っていない	その他	無回答
全体	64	26.6	12.5	9.4	4.7	10.9	25.0	17.2	9.4	12.5	28.1	3.1	9.4
身体障害者	15	26.7	26.7	26.7	20.0	40.0	26.7	26.7	20.0	6.7	13.3	6.7	13.3
知的障害者	49	28.6	12.2	6.1	2.0	6.1	22.4	16.3	12.2	16.3	32.7	4.1	4.1
精神障害者	8	50.0	—	12.5	—	—	37.5	25.0	12.5	—	12.5	—	12.5
難病患者	4	50.0	50.0	—	—	50.0	50.0	75.0	25.0	25.0	—	25.0	—

問 26 現在の通園・通学先を卒業した後、どのような進路を希望しますか。[1つに○]

「特別支援学校（身体・知的）」の割合が26.6%と最も多く、次いで「特別支援学級（小学校・中学校）」の割合が14.1%、「就職(アルバイトなどを含む)」、「障害者通所施設」の割合が12.5%となっています。



【障害種別】

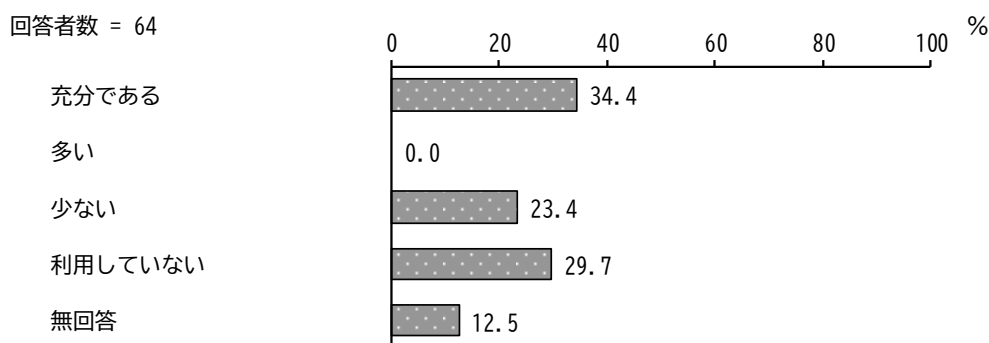
単位：%

区分	回答者数(人)	通常学級(小学校・中学校)	特別支援学級(小学校・中学校)	特別支援学校(身体・知的)	特別支援学校(盲学校・ろう学校)	高等学校	サポート校	フリースクール	大学	職業能力開発センター	就職(アルバイトなどを含む)	障害者通所施設	わからない	その他	無回答
全体	64	3.1	14.1	26.6	—	4.7	—	—	—	1.6	12.5	12.5	10.9	3.1	10.9
身体障害者	15	6.7	—	20.0	—	6.7	—	—	—	—	—	20.0	26.7	—	20.0
知的障害者	49	2.0	12.2	32.7	—	2.0	—	—	—	2.0	16.3	14.3	8.2	4.1	6.1
精神障害者	8	—	37.5	—	—	12.5	—	—	—	—	—	12.5	—	12.5	25.0
難病患者	4	—	—	25.0	—	25.0	—	—	—	—	—	25.0	25.0	—	—

## (7) 福祉サービスについて

問 27 現在、利用しているサービス量は充分だと思いますか。[1つに○]

「充分である」の割合が 34.4%と最も多く、次いで「利用していない」の割合が 29.7%、「少ない」の割合が 23.4%となっています。



### 【障害種別】

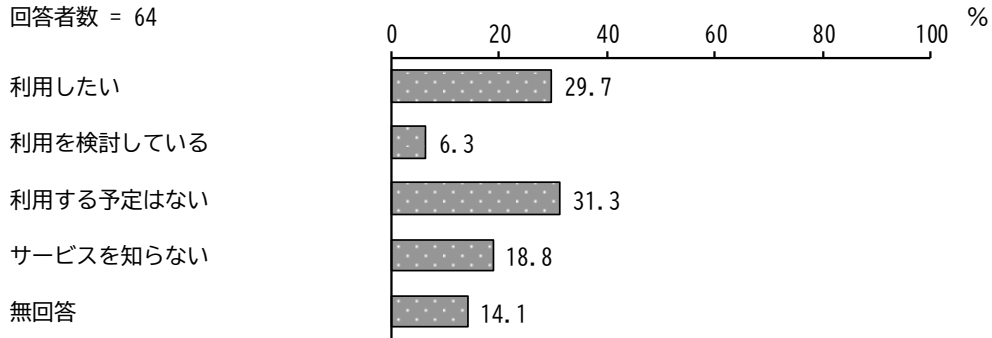
単位：%

区分	回答者数 (人)	充分である	多い	少ない	利用していない	無回答
全体	64	34.4	—	23.4	29.7	12.5
身体障害者	15	33.3	—	33.3	26.7	6.7
知的障害者	49	42.9	—	20.4	24.5	12.2
精神障害者	8	25.0	—	25.0	37.5	12.5
難病患者	4	50.0	—	25.0	25.0	—

問 28 次のサービスを、今後（新たに、または引き続き）利用したいと思いますか。[それぞれ1つに○]

①児童発達支援

「利用する予定はない」の割合が 31.3%と最も多く、次いで「利用したい」の割合が 29.7%、「サービスを知らない」の割合が 18.8%となっています。



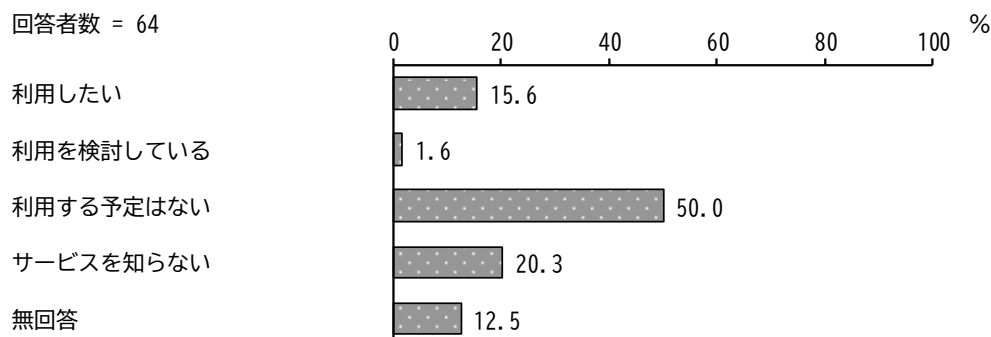
【障害種別】

単位：%

区分	回答者数(人)	利用したい	利用を検討している	利用する予定はない	サービスを知らない	無回答
全体	64	29.7	6.3	31.3	18.8	14.1
身体障害者	15	13.3	6.7	33.3	20.0	26.7
知的障害者	49	36.7	6.1	26.5	18.4	12.2
精神障害者	8	—	—	50.0	37.5	12.5
難病患者	4	50.0	—	—	25.0	25.0

## ②医療型児童発達支援

「利用する予定はない」の割合が50.0%と最も多く、次いで「サービスを知らない」の割合が20.3%、「利用したい」の割合が15.6%となっています。



### 【障害種別】

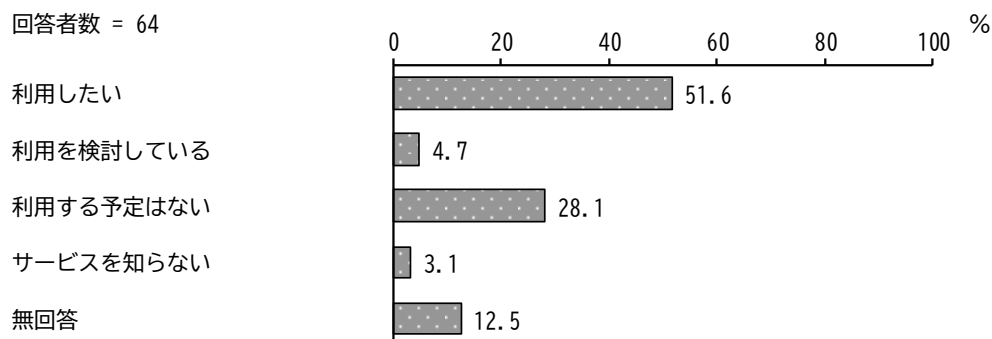
単位：%

区分	回答者数 (人)	利用したい	利用を検討している	利用する予定はない	サービスを知らない	無回答
全体	64	15.6	1.6	50.0	20.3	12.5
身体障害者	15	13.3	6.7	40.0	13.3	26.7
知的障害者	49	16.3	—	49.0	22.4	12.2
精神障害者	8	12.5	—	62.5	25.0	—
難病患者	4	50.0	—	—	25.0	25.0



### ③放課後等デイサービス

「利用したい」の割合が51.6%と最も多く、次いで「利用する予定はない」の割合が28.1%となっています。



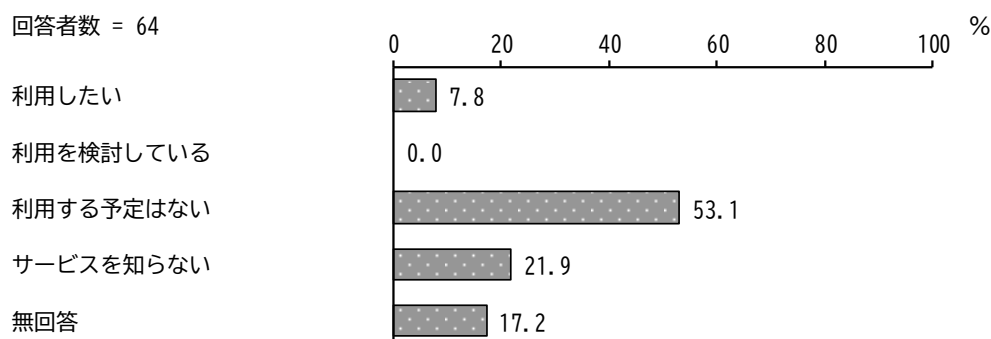
### 【障害種別】

単位：%

区分	回答者数(人)	利用したい	利用を検討している	利用する予定はない	サービスを知らない	無回答
全体	64	51.6	4.7	28.1	3.1	12.5
身体障害者	15	60.0	—	6.7	6.7	26.7
知的障害者	49	57.1	4.1	26.5	2.0	10.2
精神障害者	8	37.5	12.5	37.5	—	12.5
難病患者	4	50.0	—	25.0	—	25.0

#### ④保育所等訪問支援

「利用する予定はない」の割合が53.1%と最も多く、次いで「サービスを知らない」の割合が21.9%となっています。



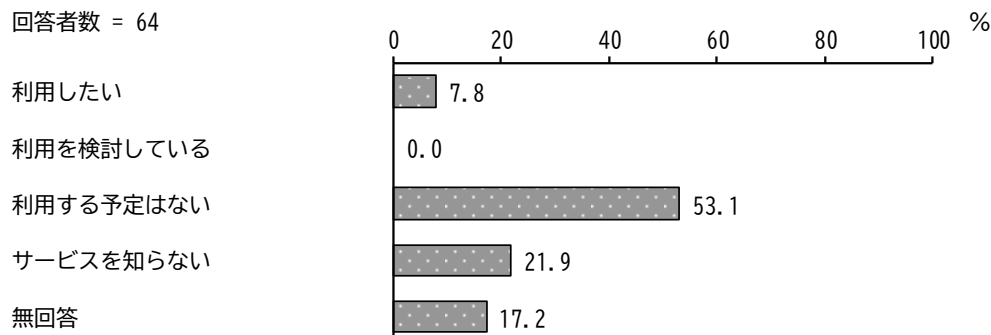
#### 【障害種別】

単位：%

区分	回答者数 (人)	利用したい	利用を検討している	利用する予定はない	サービスを知らない	無回答
全体	64	7.8	—	53.1	21.9	17.2
身体障害者	15	13.3	—	33.3	13.3	40.0
知的障害者	49	6.1	—	55.1	24.5	14.3
精神障害者	8	—	—	62.5	25.0	12.5
難病患者	4	—	—	—	50.0	50.0

⑤居宅訪問型児童発達支援

「利用する予定はない」の割合が53.1%と最も多く、次いで「サービスを知らない」の割合が21.9%となっています。



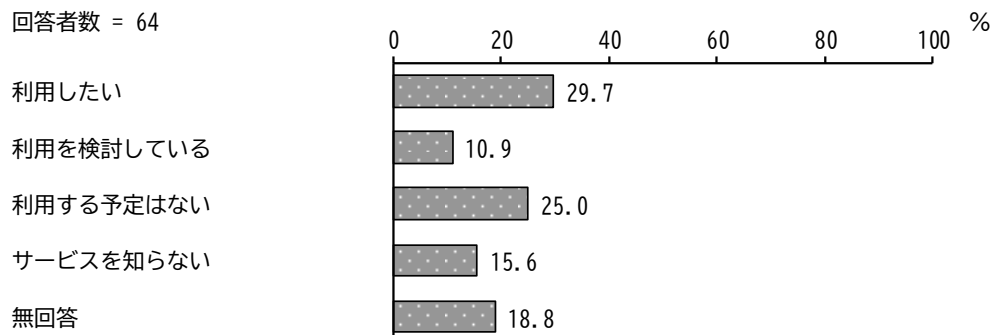
【障害種別】

単位：%

区分	回答者数(人)	利用したい	利用を検討している	利用する予定はない	サービスを知らない	無回答
全体	64	7.8	—	53.1	21.9	17.2
身体障害者	15	13.3	—	40.0	13.3	33.3
知的障害者	49	8.2	—	53.1	24.5	14.3
精神障害者	8	—	—	62.5	25.0	12.5
難病患者	4	25.0	—	—	50.0	25.0

⑥障害児相談支援

「利用したい」の割合が29.7%と最も多く、次いで「利用する予定はない」の割合が25.0%、「サービスを知らない」の割合が15.6%となっています。



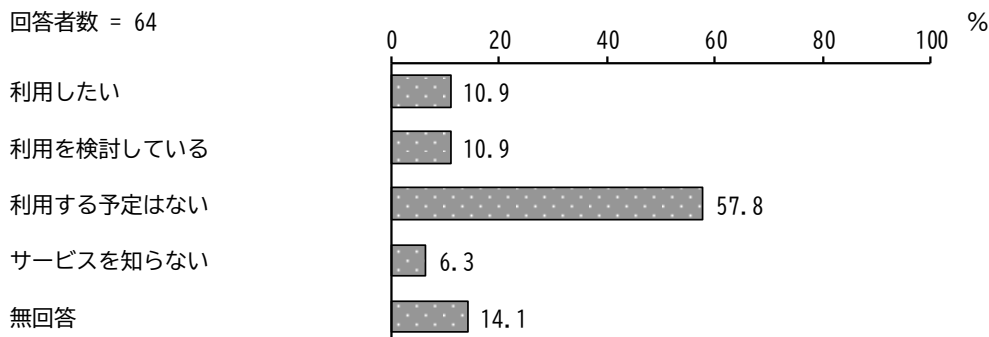
【障害種別】

単位：%

区分	回答者数(人)	利用したい	利用を検討している	利用する予定はない	サービスを知らない	無回答
全体	64	29.7	10.9	25.0	15.6	18.8
身体障害者	15	26.7	6.7	20.0	13.3	33.3
知的障害者	49	36.7	10.2	22.4	14.3	16.3
精神障害者	8	25.0	25.0	25.0	12.5	12.5
難病患者	4	25.0	—	—	50.0	25.0

⑦施設入所

「利用する予定はない」の割合が57.8%と最も多く、次いで「利用したい」、「利用を検討している」の割合が10.9%となっています。



【障害種別】

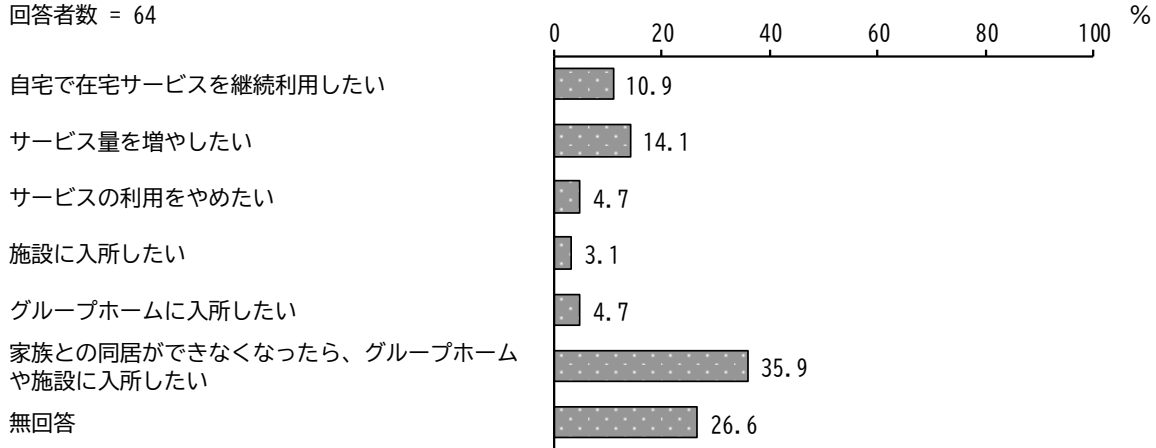
単位：%

区分	回答者数 (人)	利用したい	利用を検討している	利用する予定はない	サービスを知らない	無回答
全体	64	10.9	10.9	57.8	6.3	14.1
身体障害者	15	—	13.3	60.0	—	26.7
知的障害者	49	14.3	12.2	55.1	6.1	12.2
精神障害者	8	12.5	—	50.0	25.0	12.5
難病患者	4	—	25.0	25.0	25.0	25.0

問 29 今後、サービスをどのように利用したいですか。[1つに○]

「家族との同居ができなくなったら、グループホームや施設に入所したい」の割合が 35.9%と最も多く、次いで「サービス量を増やしたい」の割合が 14.1%、「自宅で在宅サービスを継続利用したい」の割合が 10.9%となっています。

回答者数 = 64



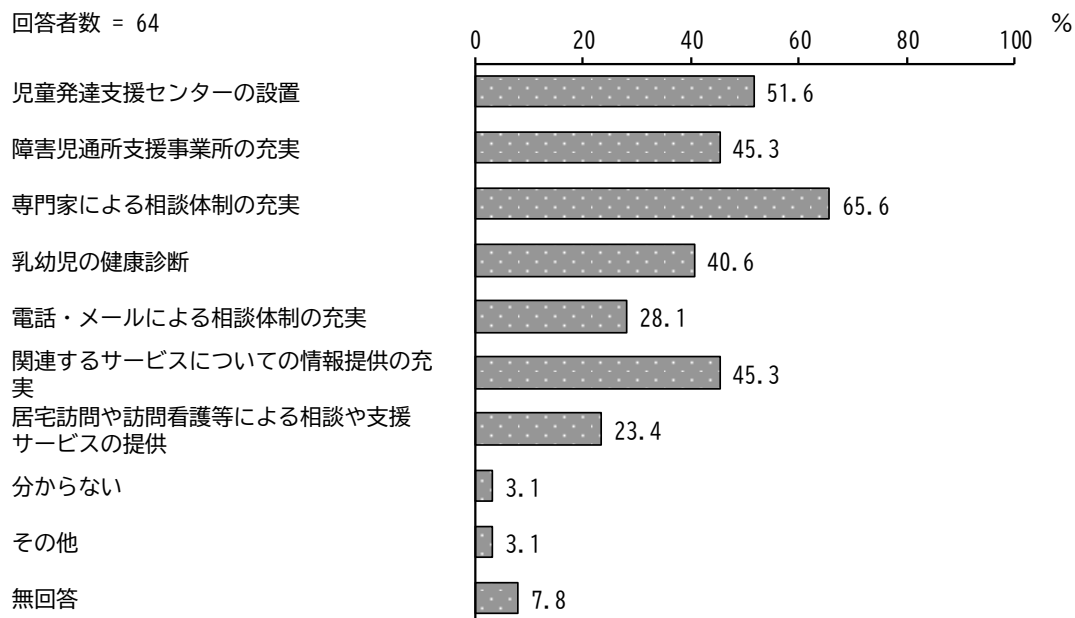
【障害種別】

単位：%

区分	回答者数 (人)	自宅で在宅サービスを利用したい	サービス量を増やしたい	サービスの利用をやめたい	施設に入所したい	グループホームに入所したい	家族との同居ができなくなったら、グループホームや施設に入所したい	無回答
全体	64	10.9	14.1	4.7	3.1	4.7	35.9	26.6
身体障害者	15	6.7	13.3	6.7	6.7	—	26.7	40.0
知的障害者	49	10.2	18.4	4.1	2.0	4.1	42.9	18.4
精神障害者	8	12.5	12.5	—	—	25.0	25.0	25.0
難病患者	4	—	25.0	—	—	—	75.0	—

問 30 発達に関する不安や障害のあるお子さんが、早期に適切な支援を受けるために必要なことは何だと思えますか。 [いくつでも○]

「専門家による相談体制の充実」の割合が 65.6%と最も多く、次いで「児童発達支援センターの設置」の割合が 51.6%、「障害児通所支援事業所の充実」、「関連するサービスについての情報提供の充実」の割合が 45.3%となっています。



【障害種別】

発達に関する不安や障害のあるお子さんが、早期に適切な支援を受けるために必要なことについては、全ての障害で「専門家による相談体制の充実」が最も多くなっています。

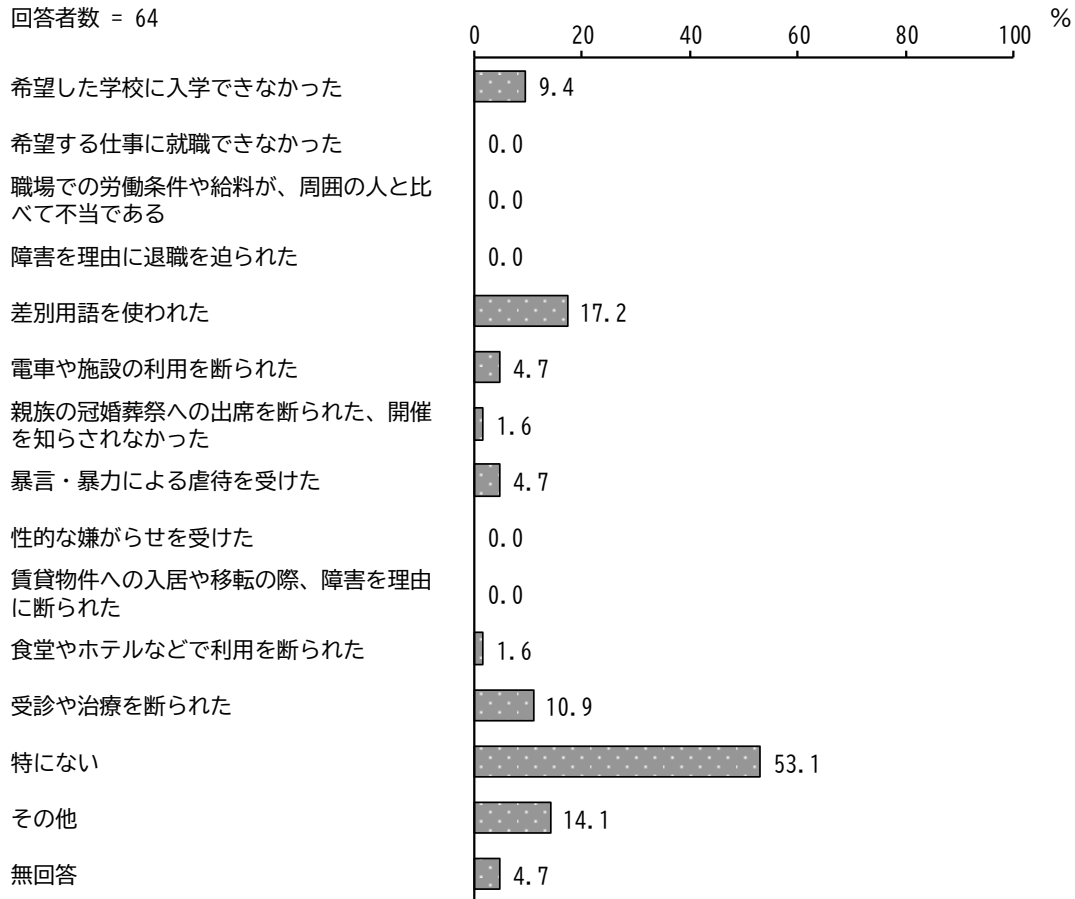
単位：%

区分	回答者数 (人)	児童発達支援センターの設置	障害児通所支援事業所の充実	専門家による相談体制の充実	乳幼児の健康診断	電話・メールによる相談体制の充実	関連するサービスについての情報提供の充実	居宅訪問や訪問看護等による相談や支援サービスの提供	分からない	その他	無回答
全体	64	51.6	45.3	65.6	40.6	28.1	45.3	23.4	3.1	3.1	7.8
身体障害者	15	26.7	33.3	46.7	33.3	13.3	26.7	33.3	—	6.7	20.0
知的障害者	49	59.2	49.0	71.4	38.8	32.7	44.9	20.4	4.1	4.1	4.1
精神障害者	8	50.0	50.0	87.5	62.5	25.0	62.5	25.0	—	—	—
難病患者	4	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	50.0	50.0	—	25.0	—

問 31 お子さんは障害又は難病が原因で人権を損なう扱いを受けた経験がありますか。  
[いくつかでも○]

「特にない」の割合が 53.1%と最も多く、次いで「差別用語が使われた」の割合が 17.2%、「受診や治療を断られた」の割合が 10.9%となっています。

回答者数 = 64



【障害種別】

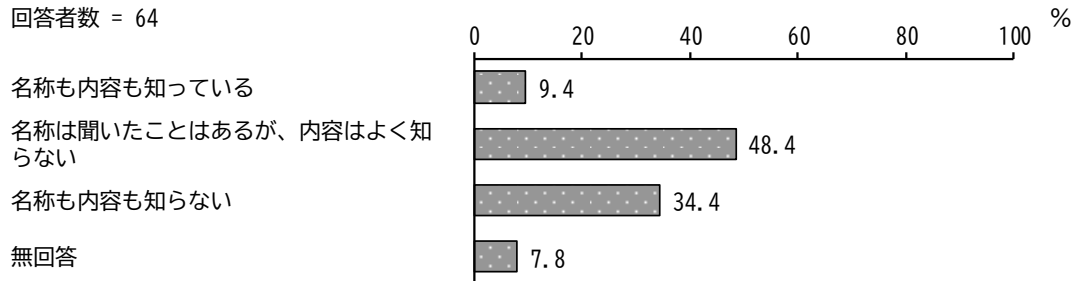
単位：%

区分	回答者数 (人)	希望した学校に入学できなかった	希望する仕事に就職できなかった	職場での労働条件や給料が、周囲の人と比べて不当である	障害を理由に退職を迫られた	差別用語が使われた	電車や施設の利用を断られた	親族の冠婚葬祭への出席を断られた、開催を知らされなかった	暴言・暴力による虐待を受けた	性的な嫌がらせを受けた	賃貸物件への入居や移転の際、障害を理由に断られた	食堂やホテルなどで利用を断られた	受診や治療を断られた	特にない	その他	無回答
全体	64	9.4	—	—	—	17.2	4.7	1.6	4.7	—	—	1.6	10.9	53.1	14.1	4.7
身体障害者	15	6.7	—	—	—	13.3	13.3	6.7	6.7	—	—	6.7	26.7	40.0	13.3	6.7
知的障害者	49	10.2	—	—	—	14.3	4.1	2.0	6.1	—	—	2.0	12.2	55.1	12.2	4.1
精神障害者	8	—	—	—	—	37.5	12.5	—	—	—	—	—	—	62.5	25.0	—
難病患者	4	50.0	—	—	—	25.0	25.0	—	25.0	—	—	—	50.0	—	—	—



問 32 判断能力が十分でない方の権利を守る事業として、「地域福祉権利擁護事業」や「成年後見制度」がありますが、ご存知でしたか。[1つに○]

「名称は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」の割合が48.4%と最も多く、次いで「名称も内容も知らない」の割合が34.4%となっています。



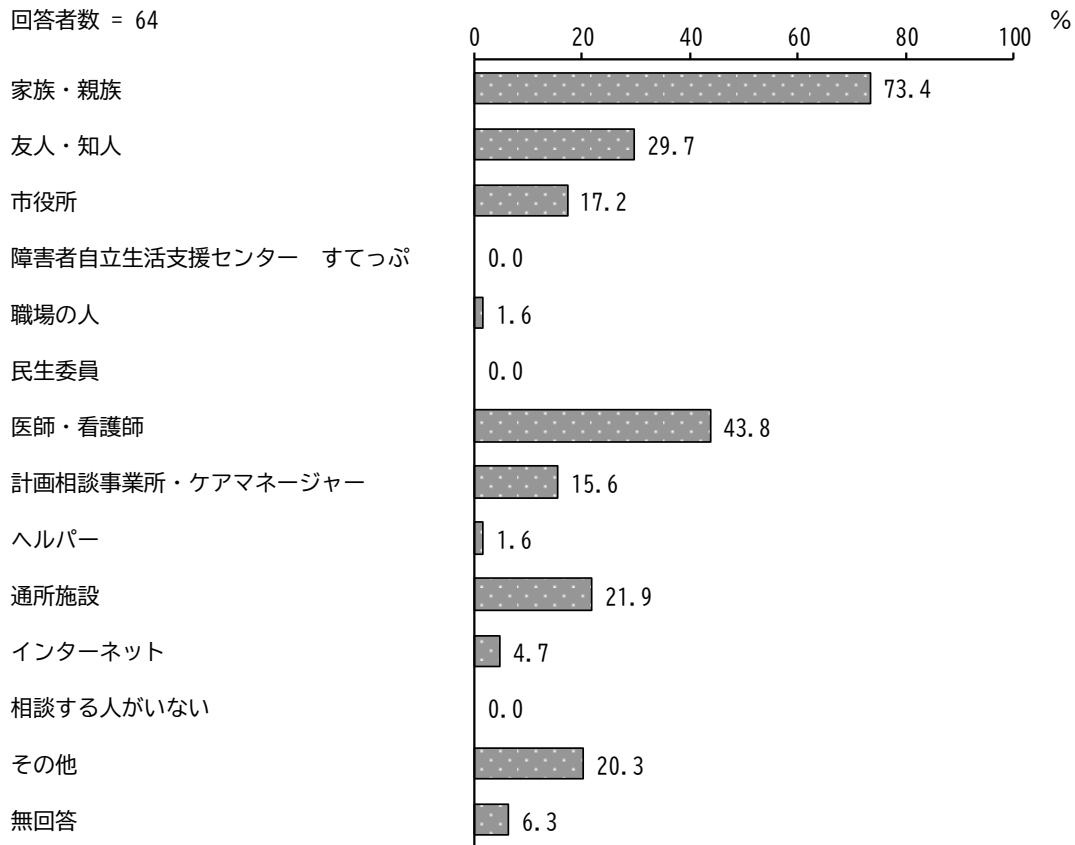
【障害種別】

単位：%

区分	回答者数(人)	名称も内容も知っている	名称は聞いたことはあるが、内容はよく知らない	名称も内容も知らない	無回答
全体	64	9.4	48.4	34.4	7.8
身体障害者	15	13.3	33.3	40.0	13.3
知的障害者	49	10.2	51.0	32.7	6.1
精神障害者	8	—	75.0	25.0	—
難病患者	4	—	50.0	50.0	—

問 33 あなたや支援者が、子どものことでの悩みや困ったことを相談するのは誰（どこ）ですか。[いくつでも○]

「家族・親族」の割合が73.4%と最も多く、次いで「医師・看護師」の割合が43.8%、「友人・知人」の割合が29.7%となっています。



【障害種別】

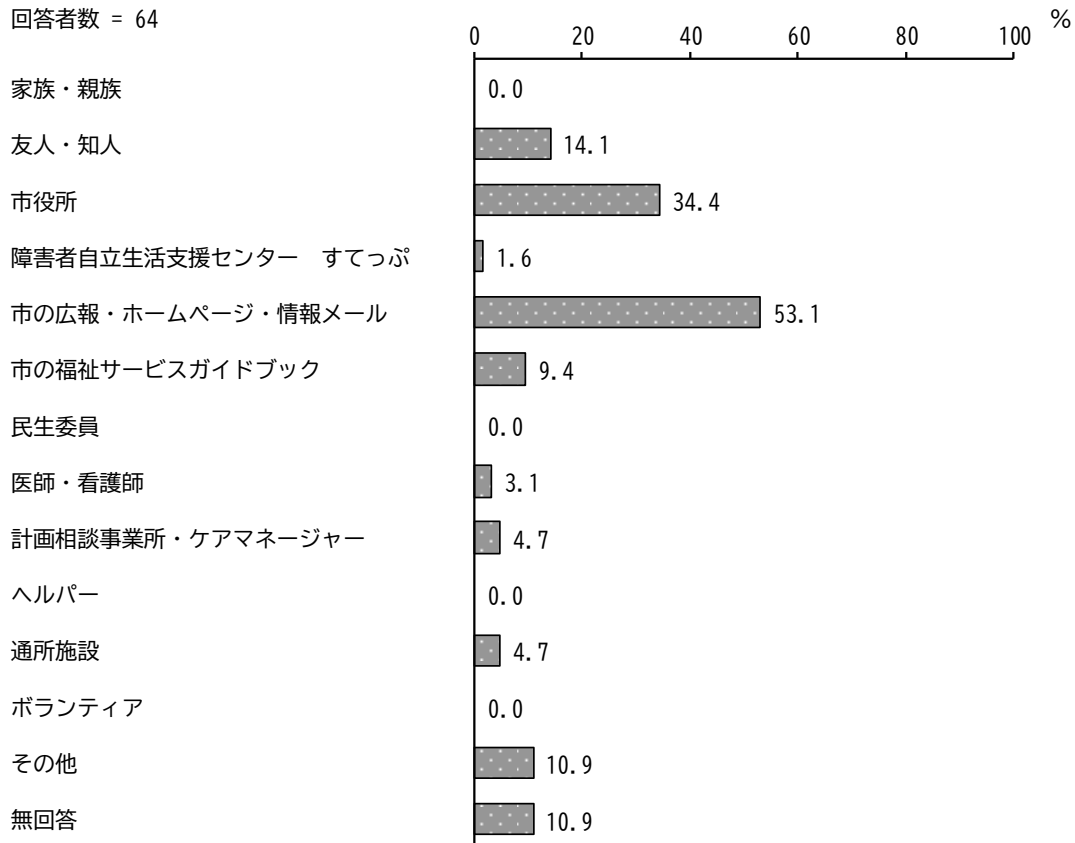
子どものことでの悩みや困ったことを相談する人については、全ての障害で「家族・親族」が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数(人)	家族・親族	友人・知人	市役所	障害者自立生活支援センター すてっぴ	職場の人	民生委員	医師・看護師	計画相談事業所・ケアマネージャー	ヘルパー	通所施設	インターネット	相談する人がいない	その他	無回答
全体	64	73.4	29.7	17.2	—	1.6	—	43.8	15.6	1.6	21.9	4.7	—	20.3	6.3
身体障害者	15	73.3	6.7	13.3	—	—	—	46.7	6.7	—	20.0	6.7	—	26.7	6.7
知的障害者	49	73.5	32.7	20.4	—	2.0	—	51.0	18.4	2.0	26.5	4.1	—	18.4	4.1
精神障害者	8	87.5	37.5	25.0	—	12.5	—	50.0	25.0	12.5	12.5	—	—	37.5	—
難病患者	4	75.0	25.0	25.0	—	—	—	75.0	25.0	—	—	25.0	—	25.0	—

問 34 市の行事、福祉、保健に関することは、主に何で知りましたか。[いくつでも○]

「市の広報・ホームページ・情報メール」の割合が 53.1%と最も多く、次いで「市役所」の割合が 34.4%、「友人・知人」の割合が 14.1%となっています。



【障害種別】

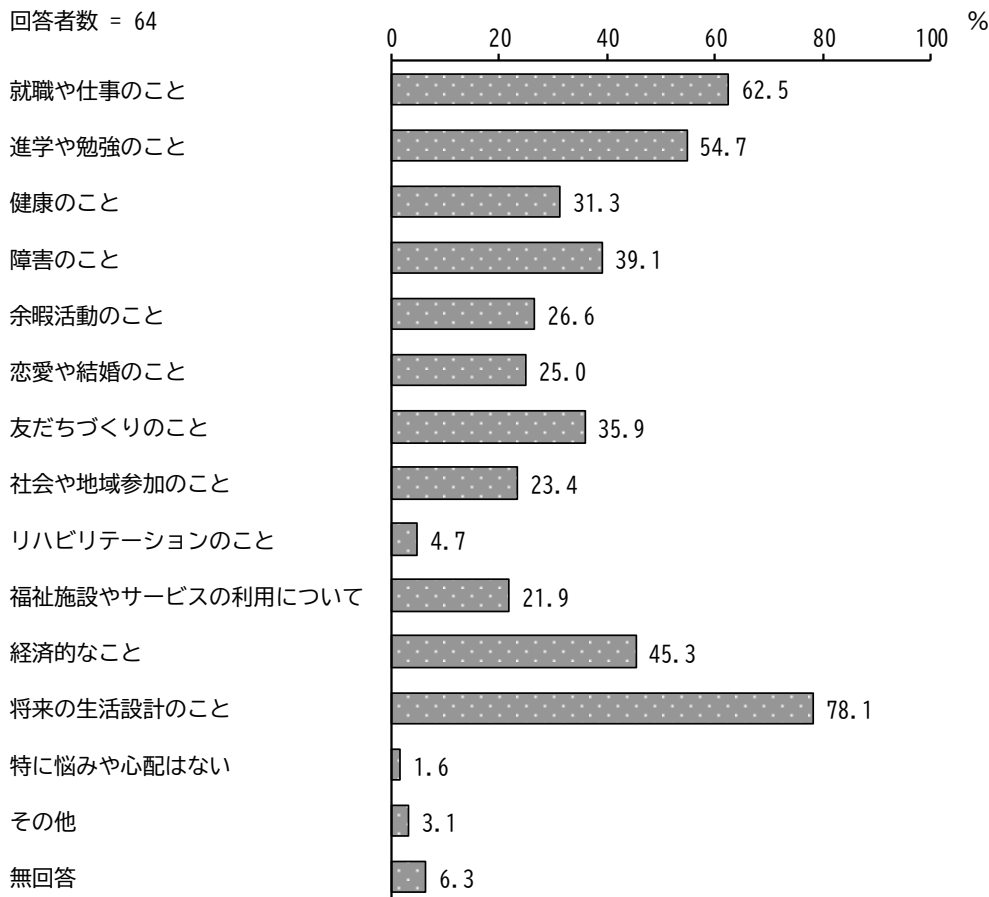
単位：%

区分	回答者数(人)	家族・親族	友人・知人	市役所	障害者自立生活支援センター すてっぴ	市の広報・ホームページ・情報メール	市の福祉サービスガイドブック	民生委員	医師・看護師	計画相談事業所・ケアマネージャー	ヘルパー	通所施設	ボランティア	その他	無回答
全体	64	—	14.1	34.4	1.6	53.1	9.4	—	3.1	4.7	—	4.7	—	10.9	10.9
身体障害者	15	—	6.7	20.0	—	53.3	—	—	13.3	—	—	—	—	6.7	20.0
知的障害者	49	—	16.3	42.9	2.0	53.1	12.2	—	2.0	6.1	—	6.1	—	10.2	6.1
精神障害者	8	—	12.5	12.5	—	87.5	12.5	—	—	—	—	—	—	12.5	—
難病患者	4	—	50.0	25.0	—	75.0	—	—	25.0	—	—	—	—	25.0	—

問 35 お子さん（宛名の方）のことであなたが悩んでいること、心配に思うことはありますか。[いくつでも○]

「将来の生活設計のこと」の割合が 78.1%と最も多く、次いで「就職や仕事のこと」の割合が 62.5%、「進学や勉強のこと」の割合が 54.7%となっています。

回答者数 = 64



【障害種別】

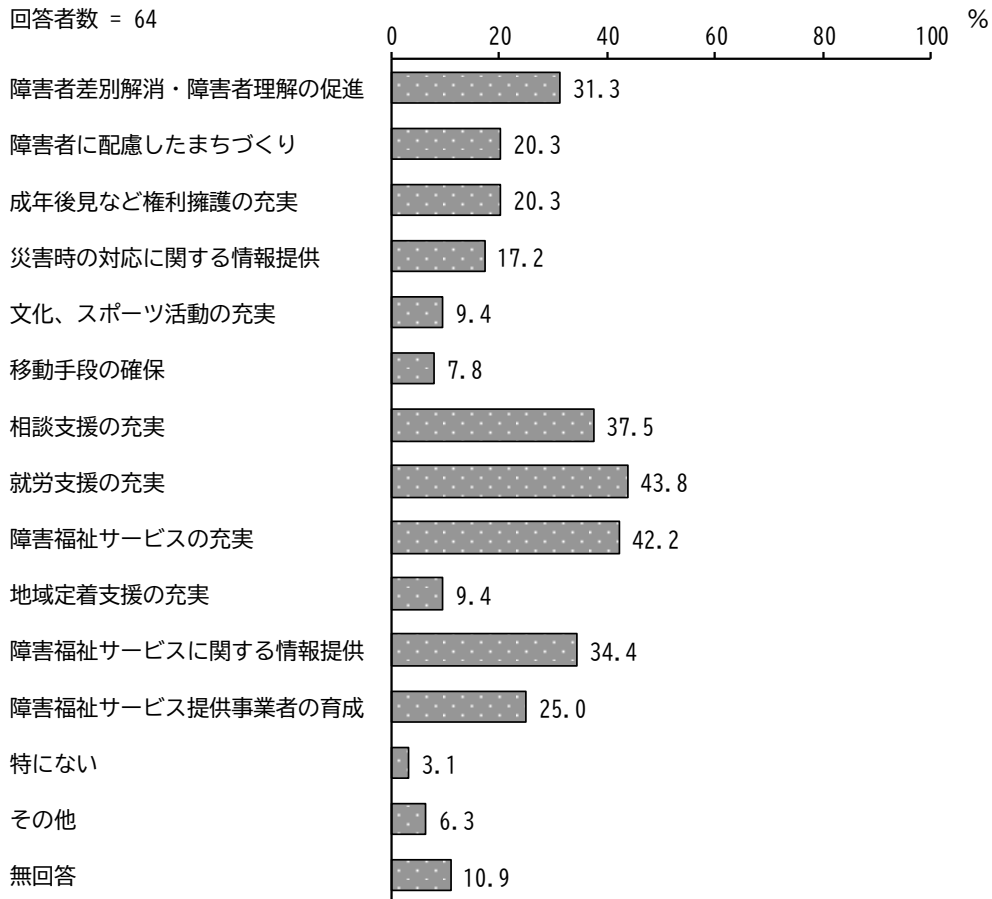
お子さんのことで悩んでいること、心配に思うことについては、身体障害者、知的障害者、精神障害者は「将来の生活設計のこと」(順に 73.3%、83.7%、87.5%) が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数(人)	就職や仕事のこと	進学や勉強のこと	健康のこと	障害のこと	余暇活動のこと	恋愛や結婚のこと	友だちづくりのこと	社会や地域参加のこと	リハビリテーションのこと	福祉施設やサービスの利用について	経済的なこと	将来の生活設計のこと	特に悩みや心配はない	その他	無回答
全体	64	62.5	54.7	31.3	39.1	26.6	25.0	35.9	23.4	4.7	21.9	45.3	78.1	1.6	3.1	6.3
身体障害者	15	53.3	40.0	46.7	46.7	26.7	13.3	26.7	13.3	13.3	20.0	33.3	73.3	—	6.7	13.3
知的障害者	49	65.3	53.1	36.7	42.9	28.6	26.5	30.6	24.5	4.1	26.5	46.9	83.7	2.0	4.1	2.0
精神障害者	8	62.5	62.5	25.0	37.5	50.0	25.0	75.0	50.0	12.5	12.5	62.5	87.5	—	—	—
難病患者	4	100.0	75.0	75.0	100.0	25.0	25.0	25.0	25.0	—	50.0	50.0	75.0	—	—	—

問 36 今後、市に何を期待しますか。[5つ以内に○]

「就労支援の充実」の割合が43.8%と最も多く、次いで「障害福祉サービスの充実」の割合が42.2%、「相談支援の充実」の割合が37.5%となっています。



【障害種別】

今後、市に何を期待するかについては、身体障害者は「障害者差別解消・障害者理解の促進」、  
「障害福祉サービスの充実」(共に 46.7%)、知的障害者は「障害福祉サービスの充実」(46.9%)、  
精神障害者は「就労支援の充実」(87.5%)、難病患者は「障害者差別解消・障害者理解の促進」  
(75.0%) が最も多くなっています。

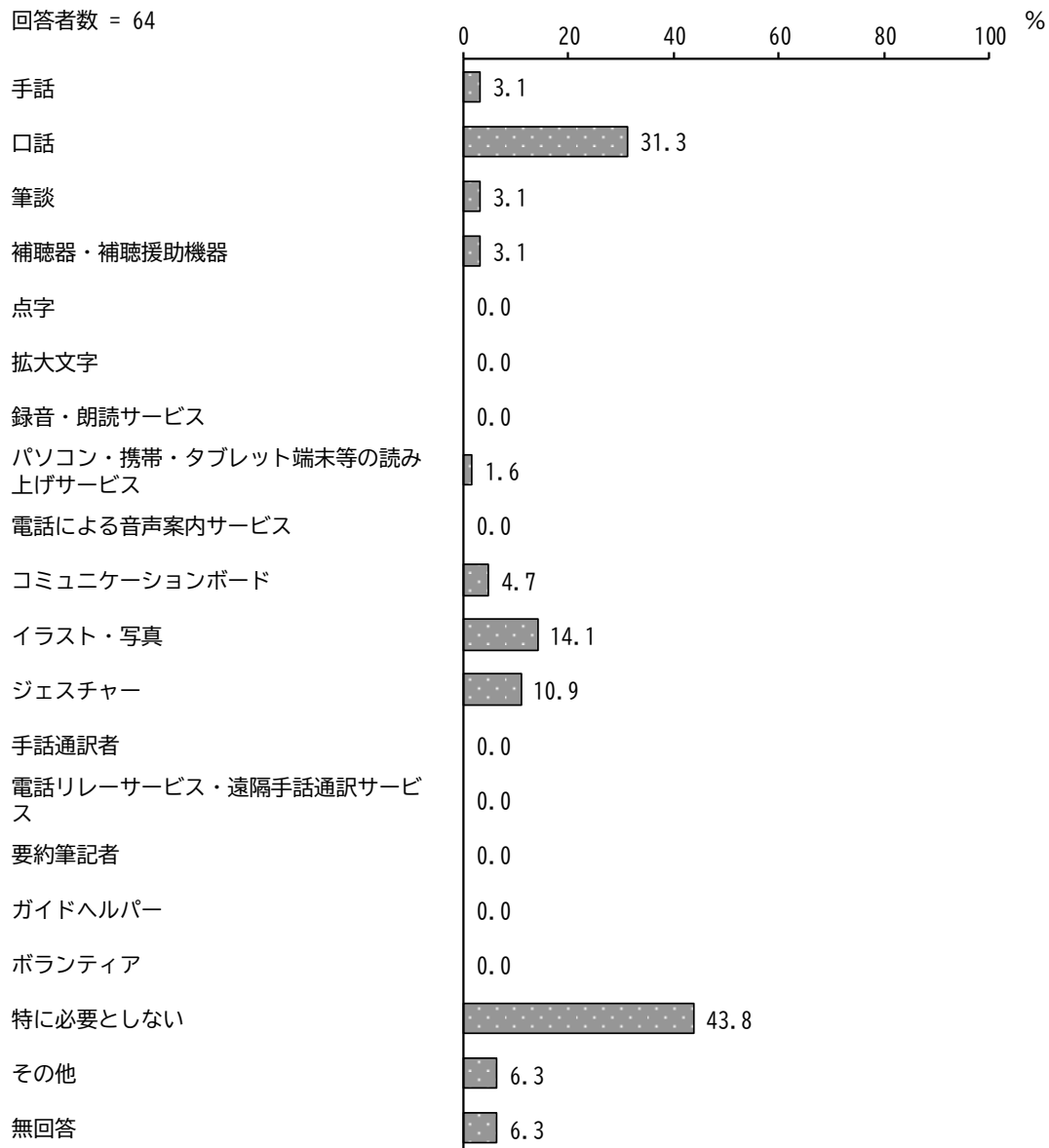
単位：%

区分	回答者数(人)	障害者差別解消・障害者理解の促進	障害者に配慮したまちづくり	障害者の擁護の充実	成年後見など権利擁護の充実	災害時の対応に関する情報提供	文化、スポーツ活動の充実	移動手段の確保	相談支援の充実	就労支援の充実	障害福祉サービスの充実	地域定着支援の充実	障害福祉サービスに関する情報提供	障害福祉サービスの育成	特になし	その他	無回答
全体	64	31.3	20.3	20.3	17.2	9.4	7.8	37.5	43.8	42.2	9.4	34.4	25.0	3.1	6.3	10.9	
身体障害者	15	46.7	20.0	13.3	40.0	6.7	6.7	26.7	13.3	46.7	20.0	33.3	26.7	—	6.7	13.3	
知的障害者	49	30.6	18.4	26.5	14.3	8.2	6.1	42.9	44.9	46.9	10.2	36.7	26.5	4.1	8.2	8.2	
精神障害者	8	37.5	25.0	12.5	12.5	25.0	12.5	37.5	87.5	25.0	—	25.0	25.0	—	12.5	—	
難病患者	4	75.0	50.0	25.0	50.0	—	—	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	—	25.0	—	

## (8) 情報の入手やコミュニケーションについて

問 37 お子さんは、家族、親族、知人、支援者とコミュニケーションをとるときに、どのような意思疎通手段、支援を利用していますか。[いくつでも○]

「特に必要としない」の割合が 43.8%と最も多く、次いで「口話」の割合が 31.3%、「イラスト・写真」の割合が 14.1%となっています。



【障害種別】

単位：％

区分	回答者数(人)	手話	口話	筆談	補聴器・補聴援助機器	点字	拡大文字	録音・朗読サービス	パソコン・携帯・タブレット端末等の読み上げサービス	電話による音声案内サービス	コミュニケーションボード
全体	64	3.1	31.3	3.1	3.1	－	－	－	1.6	－	4.7
身体障害者	15	6.7	40.0	13.3	13.3	－	－	－	6.7	－	－
知的障害者	49	2.0	30.6	－	－	－	－	－	2.0	－	6.1
精神障害者	8	－	37.5	－	－	－	－	－	－	－	－
難病患者	4	25.0	25.0	25.0	25.0	－	－	－	25.0	－	－

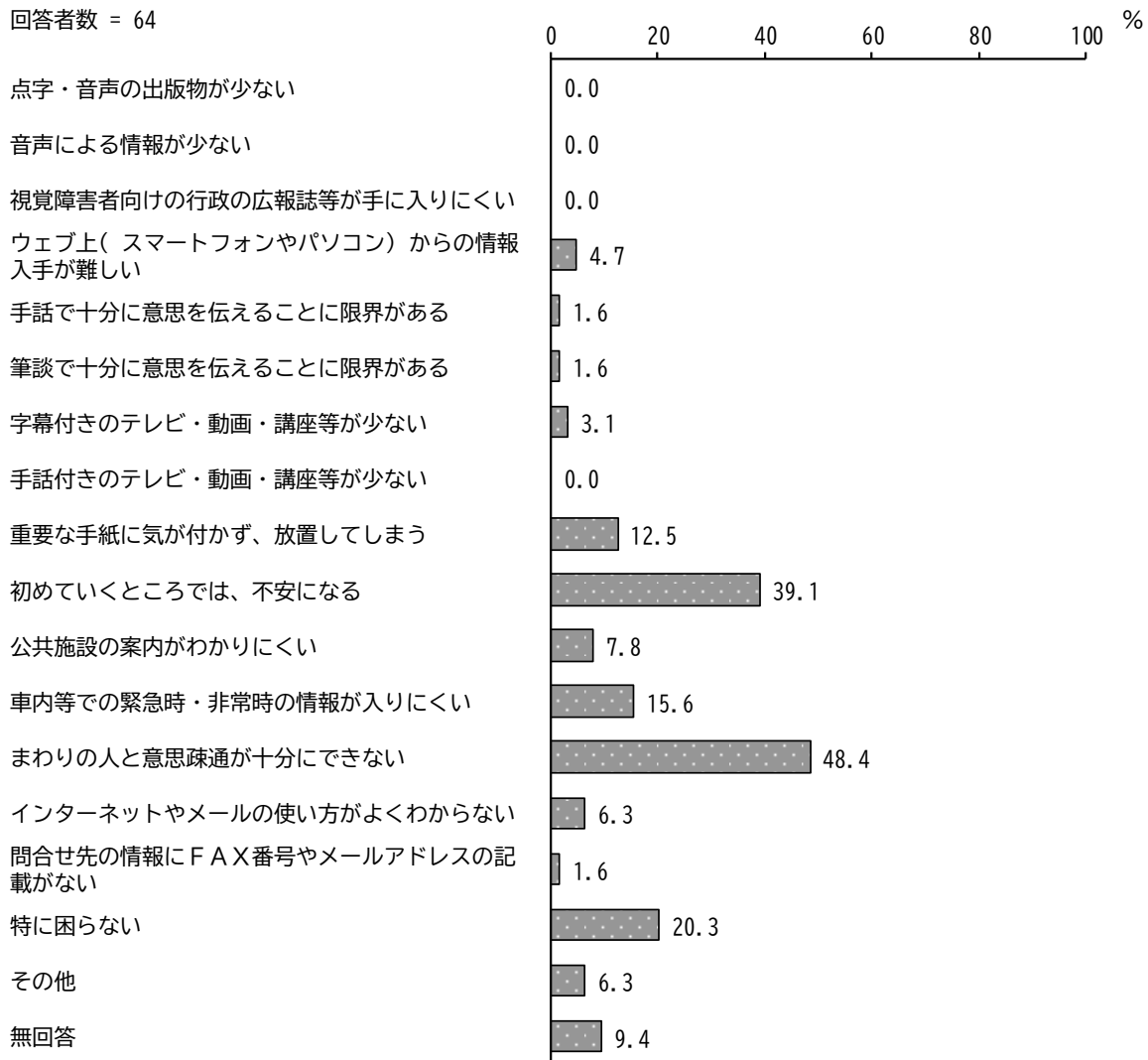
区分	イラスト・写真	ジェスチャー	手話通訳者	電話リレーサービス・遠隔手話通訳サービス	要約筆記者	ガイドヘルパー	ボランティア	特に必要としない	その他	無回答
全体	14.1	10.9	－	－	－	－	－	43.8	6.3	6.3
身体障害者	6.7	13.3	－	－	－	－	－	33.3	13.3	6.7
知的障害者	16.3	12.2	－	－	－	－	－	42.9	8.2	4.1
精神障害者	12.5	12.5	－	－	－	－	－	50.0	－	－
難病患者	25.0	25.0	－	－	－	－	－	50.0	－	－



問 38 お子さんが情報を入手する際や、コミュニケーションをとる際に困ることについてお答えください。[いくつでも○]

「まわりの人と意思疎通が十分にできない」の割合が 48.4%と最も多く、次いで「初めていくところでは、不安になる」の割合が 39.1%、「特に困らない」の割合が 20.3%となっています。

回答者数 = 64



【障害種別】

お子さんが情報を入手する際や、コミュニケーションをとる際に困ることについては、身体障害者、知的障害者、難病患者は「まわりの人と意思疎通が十分にできない」（順に 46.7%、57.1%、75.0%）、精神障害者は「初めていくところでは、不安になる」（62.5%）が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数（人）	点字・音声の出版物が少ない	音声による情報が少ない	視覚障害者向けの行政の広報誌等が手に入りにくい	ウェブ上（スマートフォンやパソコン）からの情報入手が難しい	手話で十分に意思を伝えることに限界がある	筆談で十分に意思を伝えることに限界がある	字幕付きのテレビ・動画・講座等が少ない	手話付きのテレビ・動画・講座等が少ない	重要な手紙に気が付かず、放置してしまう
全体	64	—	—	—	4.7	1.6	1.6	3.1	—	12.5
身体障害者	15	—	—	—	13.3	6.7	6.7	6.7	—	6.7
知的障害者	49	—	—	—	6.1	—	2.0	4.1	—	14.3
精神障害者	8	—	—	—	12.5	—	—	—	—	12.5
難病患者	4	—	—	—	25.0	25.0	25.0	—	—	25.0

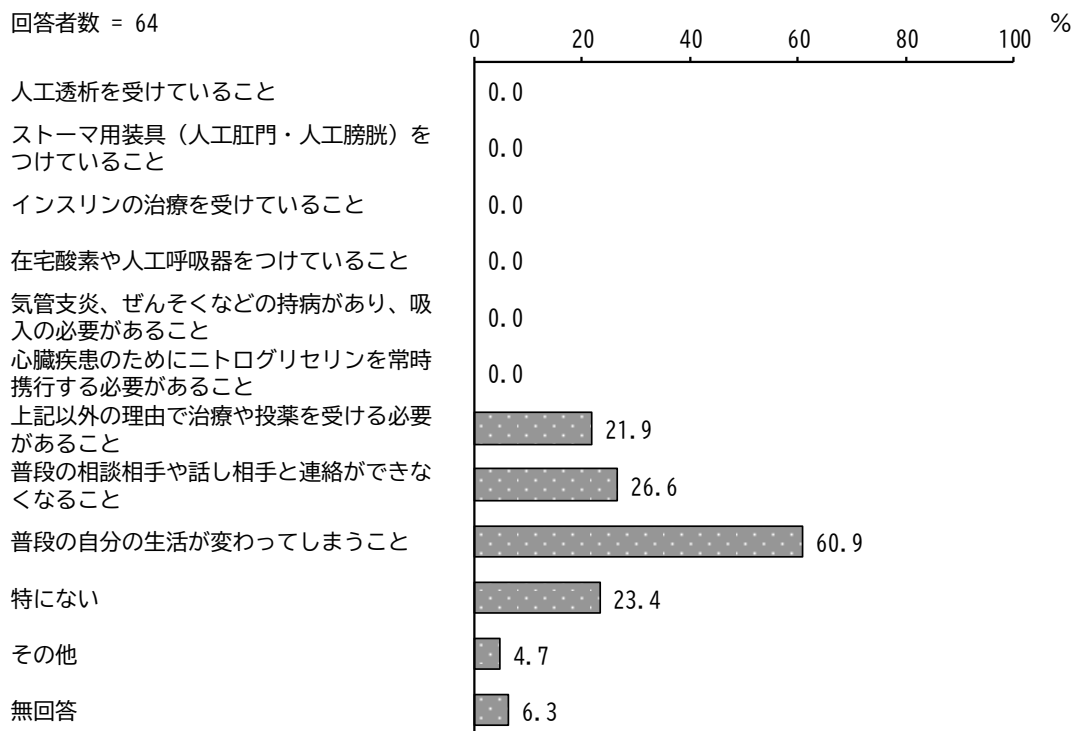
区分	初めていくところでは、不安になる	公共施設の案内がわかりにくい	車内等での緊急時・非常時の情報が入りにくい	まわりの人と意思疎通が十分にできない	インターネットやメールの使い方がよくわからない	問合せ先の情報にFAX番号やメールアドレスの記載がない	特に困らない	その他	無回答
全体	39.1	7.8	15.6	48.4	6.3	1.6	20.3	6.3	9.4
身体障害者	20.0	13.3	20.0	46.7	13.3	—	26.7	6.7	13.3
知的障害者	42.9	10.2	16.3	57.1	8.2	2.0	18.4	6.1	4.1
精神障害者	62.5	—	12.5	37.5	—	—	—	12.5	12.5
難病患者	75.0	25.0	25.0	75.0	25.0	—	—	25.0	—

## (9) 災害時の対応について

問 39 災害発生時、数日間医療機関や福祉サービス等を利用できないことが想定されますが、お子さんの心身の健康面や生活面で困ることについて、どのようなことがありますか。[いくつでも○]

「普段の自分の生活が変わってしまうこと」の割合が 60.9%と最も多く、次いで「普段の相談相手や話し相手と連絡ができなくなること」の割合が 26.6%、「特にない」の割合が 23.4%となっています。

回答者数 = 64



【障害種別】

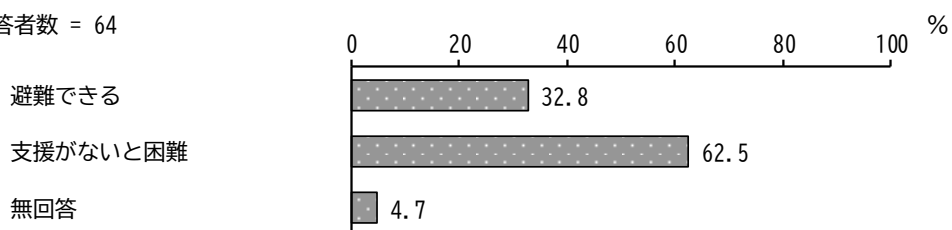
単位：％

区分	回答者数（人）	人工透析を受けていること	ストーマ用装具（人工肛門・人工膀胱）をつけていること	インスリンの治療を受けていること	在宅酸素や人工呼吸器をつけていること	在宅酸素や人工呼吸器をつけていること	在宅酸素や人工呼吸器をつけていること	在宅酸素や人工呼吸器をつけていること	在宅酸素や人工呼吸器をつけていること	在宅酸素や人工呼吸器をつけていること	在宅酸素や人工呼吸器をつけていること	在宅酸素や人工呼吸器をつけていること	在宅酸素や人工呼吸器をつけていること	
全体	64	－	－	－	－	－	－	－	21.9	26.6	60.9	23.4	4.7	6.3
身体障害者	15	－	－	－	－	－	－	－	20.0	26.7	53.3	20.0	20.0	6.7
知的障害者	49	－	－	－	－	－	－	－	20.4	26.5	65.3	22.4	2.0	4.1
精神障害者	8	－	－	－	－	－	－	－	50.0	37.5	100.0	－	－	－
難病患者	4	－	－	－	－	－	－	－	50.0	50.0	50.0	－	25.0	－

問 40 お子さんは災害発生時に自力で避難することができますか。[1つに○]

「避難できる」の割合が 32.8%、「支援がないと困難」の割合が 62.5%となっています。

回答者数 = 64



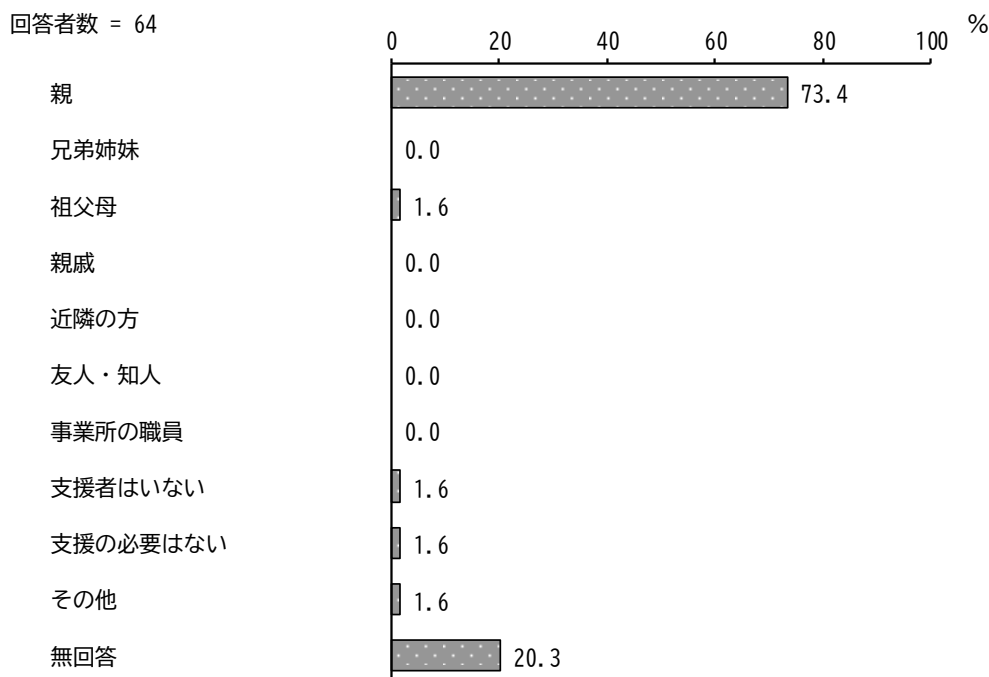
【障害種別】

単位：%

区分	回答者数 (人)	避難できる	支援がないと困難	無回答
全体	64	32.8	62.5	4.7
身体障害者	15	20.0	80.0	—
知的障害者	49	30.6	65.3	4.1
精神障害者	8	50.0	50.0	—
難病患者	4	25.0	75.0	—

問 41 災害発生に伴う避難時に、お子さんを身近に支援してくれる人は誰ですか。[1  
つに〇]

「親」の割合が73.4%と最も多くなっています。



【障害種別】

単位：%

区分	回答者数 (人)	親	兄弟姉妹	祖父母	親戚	近隣の方	友人・知人	事業所の職員	支援者はいない	支援の必要はない	その他	無回答
全 体	64	73.4	—	1.6	—	—	—	—	1.6	1.6	1.6	20.3
身体障害者	15	80.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20.0
知的障害者	49	79.6	—	2.0	—	—	—	—	2.0	2.0	2.0	12.2
精神障害者	8	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0
難病患者	4	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

自由意見

現在作成中のため、地域福祉推進委員会当日資料として提出させていただきます。

自由意見

現在作成中のため、地域福祉推進委員会当日資料として提出させていただきます。





福生市障害者生活実態調査  
令和5年3月

発行：福生市福祉保健部障害福祉課障害福祉係  
〒197-8501 東京都福生市本町 5  
TEL 042-551-1511（代表）  
FAX 042-552-5150